

編注一

本報告書は、昭和二年八月十日付在パリ佐藤（尚武）国際連盟帝国事務局長より田中（義一）外務大臣宛公信普通連本公第四〇六号によって本件会議の報告書として送付されたものである。

編注二

本報告書の末尾に昭和二年八月二十日付在パリ佐藤国際連盟帝国事務局長より田中外務大臣宛公信普通連本公第四二五号によって送付された志立（鐵次郎）代表起草の「国際經濟會議報告補遺」を収録した。

編注三

以下原本一頁脱。本件脱頁の内容については、本巻所収「国際經濟會議報告書」(Final Report)の当該箇所（259頁以下）参照

一 ジュネーヴ經濟會議

3 「国際經濟會議報告書」(Final Report)

昭和二年十一月

國際經濟會議報告書

外務省

凡 例

- 一、本書ハ國際經濟會議ノ報告 The World Economic Conference, Geneva, May, 1927 (Final Report) ヲ翻譯シタルモノナリ
- 二、報告原文(英文及佛文)ノ本文中細目ノ見出ヲ記載セルモノト然ラサルモノトアリ此ノ翻譯ハ成ルヘク詳細ナル見出ヲ附スルコトトセリ
- 三、本書閱覽ノ便宜ニ資セムカ爲冒頭ニ簡單ナル説明ヲ加ヘタリ

國際經濟會議概要 一

國際經濟會議報告書(譯文) 一五

國際經濟會議經過概要

國際經濟會議ハ千九百二十五年ノ第六回聯盟總會ニ於テ佛國代表「ルーシュール」氏ヨリ發議セラレ千九百二十六年十二月ノ聯盟理事會ノ決議ニ依リ千九百二十七年五月四日「ジュネーヴ」ニ開催セラレタルモノナルカ本會議ノ目的ハ世界ノ經濟狀況ヲ調査シ一方現在ニ於ケル商工業不均衡ノ經濟的原因ヲ研究シテ之カ除去ニ努ムルト共ニ他方世界ノ平和ニ影響スヘキ經濟上ノ諸傾向ヲ探查シテ經濟的諸方面ヨリ世界ノ平和ヲ招來セントスルニ在リキ

聯盟理事會ハ經濟會議開催ノ爲メニハ先ツ十分ニ其ノ準備ヲ爲スノ要アリト爲シ國際經濟會議準備委員會ナルモノヲ構成シテ千九百二十六年四月及十一月ノ兩回ニ互リ之ヲ「ジュネーヴ」ニ開催シ本會議開催期日、會議ノ構成、本會議ニ於テ討議スヘキ事項ノ範圍及調査資料等ニ關スル研究ヲ爲サシメタリ

理事會ハ右研究ノ結果ニ基キ千九百二十六年十二月ノ會議ニ於テ千九百二十七年五月國際經濟會議ヲ「ジュネーヴ」ニ開催シ聯盟國ノ外米國、「ソヴィエト」聯邦、土耳其、「メキシコ」、「エクスドル」及埃及ヲ招請スルニ決シ聯盟事務總長ヲシテ夫々招請狀ヲ發セシメタリ
斯クテ國際經濟會議ハ豫定ノ通り本年五月「ジュネーヴ」ニ招集セラレ參加國五十箇國、其ノ委員百九十四名専門家百五十七名ニ及ヘリ

本會議ハ最初ノ數日ヲ一般問題ノ討議ニ費シタル後議題ノ順序ニ從ヒテ商業、工業及農業ノ三委員會ヲ設ケ之ヲシテ各其ノ擔任ノ問題ニ關シ報告書ヲ提出セシメ、更ニ整理委員會ヲ設ケテ右報告書ヲ整理統一スルト共ニ何レノ委員會ニモ屬セサル問題ヲ審議セシメ之ヲ前記委員會ノ報告書ニ附加シテ經濟會議全體トシテノ報告書ヲ作成セシメタリ

此ノ報告書ハ「ソヴィエト」聯邦及土耳其委員ヲ除クノ外經濟會議本會議ニ於テ全會一致ヲ以テ採擇セラレタリ、以下ニ譯出シタルハ即チ是ナリ

右報告書ハ頗ル廣汎多岐ニ互レルモ其ノ概要ハ報告書冒頭ノ議長「テュニス」氏ノ閉會演說ニ依リテ知ルヲ得ヘク、尙竝ニ本會議ノ經過大要ヲ表示シ報告書閱覽ノ便宜ニ資セントス

國際經濟會議一覽

第一、國際會議開催迄ノ準備措置

一、國際經濟會議開催ノ提唱

一九二五年ノ第六回聯盟總會決議、即チ同總會ハ佛國代表「ルーシュール」氏ノ提議ニ基キ世界經濟上ノ障礙ヲ除去シ以テ經濟的方面ヨリ世界ノ平和ヲ招來スル目的ヲ以テ國際經濟會議ヲ開催スヘク先ツ其ノ準備の研究ヲ爲サシムル爲メ一ノ委員會ヲ構成スヘキコトヲ聯盟理事會ニ勸告シタリ

一九二五年十二月ノ第三十七回聯盟理事會ハ右總會ノ決議ニ基キ聯盟ノ經濟財政委員會及交通委員會ノ各代表者、商工農業者、經濟學者、勞働者代表及消費者代表等三十名ノ

二、準備委員會ノ設立

三、第一回準備委員會

委員ヨリ成ル準備委員會ヲ構成スヘキコトヲ決定シ經濟會議開催ノ期日及其ノ議題等ヲ審議セシムルコトトセリ

一九二六年四月二十六日ヨリ五月一日迄「ジュネーヴ」ニ開

催、一般討議ヲ經タル後(一)金融、財政農業、人口、(二)生産、

(三)通商ノ三委員會ニ分チ廣汎ナル調査ノ基礎項目ヲ作成セリ

四、第二回準備委員會

一九二六年十一月十五日ヨリ十九日迄「ジュネーヴ」ニ開

催、經濟會議開催期日、其ノ議題及會議ノ性質等ヲ決定シ之ヲ理事會ニ報告セリ、議題ハ第一附屬書ノ通

五、經濟會議開催ノ確定

一九二六年十二月ノ第四十三回理事會ハ右第二回準備委員會ノ報告ニ基キ一九二七年五月四日國際經濟會議ヲ「ジュネーヴ」ニ招集シ聯盟國ノ外米國、「ソヴィエト」聯邦、土耳其、

「メキシコ」、「エクアドル」及埃及ヲモ招請スルコトセリ、本會議ハ官邊、實業家、勞働者代表等各種方面ノ者ヨリ成リ一部分ハ理事會自ラ之ヲ任命スルモ大部分ハ各國政府ノ任命スルモノトセリ（各國五人宛）、尤モ政府ノ任命スル委員モ皆個人ノ資格ニテ列席シ政府ノ代辦者ニ非サルモノトシタリ

第二、國際經濟會議ノ經過

一、期日及場所

二、出席委員

一九二七年五月四日ヨリ二十三日迄「ジュネーヴ」ニ開催日、英、米、佛、伊、獨、「ソヴィエト」聯邦等五十箇國ノ委員百九十四人、専門家百五十七人、附屬書第四ノ通り

三、議題

第一部 世界經濟狀勢

四、議長、副議長

第二部 商業、工業及農業ニ關スル諸問題右詳細附屬書第一ノ通
議長ハ一九二六年十二月ノ聯盟理事會ノ決議ニ依リ既ニ白耳義ノ「テュニス」氏ニ決定シ居タルカ會議當初ニ於テ我志立代表其ノ他英、佛、伊、獨、米、「ソヴィエト」聯邦、伯蘭、波蘭、丁抹及奧地利ノ委員ヲ副議長ニ選任セリ其ノ氏名附屬書第三ノ通

五、三委員會及整理委員會ノ構成

各専門ノ問題ヲ審議セシムル爲メ商業、工業及農業ノ三委員會ヲ設ケ（其ノ議長、副議長及報告者附屬書第三ノ通）、更ニ何レノ委員會ニモ專屬セサル事項ヲ處理シ併セテ三委員會ノ事業ヲ統一整理スル爲メ整理委員會ヲ設ケタリ

六、議事要綱

八

概要ハ報告書冒頭議長「テュニス」氏ノ閉會演說中ニ説明シアルヲ以テ重複ヲ避ケ茲ニハ主要議事項目ノミヲ掲ク

一、議題第一部

(本表末段四「一般的決議」ノ趣旨ニ同シ)

二、議題第二部

1 商業

(イ) 通商自由ノ確保及促進ノ必要、即チ輸出入ノ禁止及制限等撤廢等ノ必要

(ロ) 關稅稅目分類排列ノ簡易化、關稅々率ノ安定及低減ノ必要

(ハ) 關稅率ト通商條約トノ關係、過當ナル關稅ハ通商

上ニ甚大ナル障礙ヲ與フルカ故ニ各國ハ個別的又ハ數國間ニ或ハ一般諸國間ニ協同シテ斯カル障礙ノ除去ヲ期スヘキコト

(ニ) 通商政策上ノ其ノ他ノ問題

(a) 輸出入貨物ニ對スル課稅上ノ差別撤廢止

(b) 有効期間ノ長キ通商條約ノ締結——最惠國待遇ノ無條件附與

(c) 通商條約ノ一般形式竝ニ最惠國條款ノ解釋及範圍ニ關スル劃一的原則確立ノ能否ヲ研究スヘキコト

(d) 通商條約中ニ其ノ解釋又ハ適用ニ關スル爭議ヲ

九

仲裁々判又ハ司法裁判ニ依リ解決スヘキ趣旨ノ條
項ヲ設クルノ可否ヲ研究スヘキコト

(e) 自國通商航海保護ノ間接手段即チ補助金ノ交付
「ダンピング」及輸送制度上ノ差別待遇ノ通商上ニ
及ホス影響ノ除去

2 工業、消費者又ハ勞働者ニ不利益ヲ與フルコトナク
シテ生産費ヲ減少シ得ヘキ方法ノ研究ヲ根本トシ之カ
爲ニハ左記諸項ノ必要ナルヲ認ム

- (イ) 生産ノ合理化
- (ロ) 國際工業協定ノ巧ナル運用
- (ハ) 正確ナル工業統計及情報ノ迅速ナル蒐集及交換

3 農 業

(イ) 有效ナル農業組織及専門の生産方法ヲ一般のニ採
用スルノ必要

(ロ) 動植物病害ノ國際的防壓方法ヲ講スヘキコト

(ハ) 農業資金乏シキ國ニ於ケル農業金融機關設立及改
善ノ必要、尙國際的金融機關ノ實際上有効ナリヤ否
ヤヲ研究スヘキコト

(ニ) 通商保護政策ヲ採ルカ爲ニ生スル農産物ノ自由ナ
ル移動ヲ妨クル障礙ヲ除去スルノ必要

(ホ) 農業統計改善ノ必要

三、經濟會議勸告ノ實行機關問題

經濟會議ハ本件實行機關問題ニ關シ何等具體的提議ハ爲サス、之ヲ聯盟理事會ノ決定ニ委スルモ經濟會議準備委員會カ各方面ノ代表者ヲ網羅シ其ノ構成宜シキヲ得會議ノ準備事業ヲ完全ニ遂行シ得タル事實ヲ指摘シ理事會ニ於テ實行機關問題ヲ研究スルニ當ツテハ右準備委員會ノ構成ヲ參考スヘキコトヲ勸告ス

四、一般的決議

1 世界ノ平和ト經濟問題、各國政府及國民ニ對シ各國經濟政策ノ世界平和ニ及ホス影響ノ大ナル點ニ留意シ平和的協力ニ依リ各國間ニ於ケル不和誤解ノ原因ヲ除去スヘキコトヲ勸告ス

2 輿論ノ啓發及教育、經濟會議決議實效ノ如何ハ各國政府ノ誠意ニ依ルノミナラス世界全般ノ輿論ニ依ルモノナルヲ以テ國際協力ノ増進ト輿論ノ教育及啓發ヲ必要トス

3 軍事費ノ輕減、軍事費ノ増大ハ一方商工農業資金ノ缺乏ヲ來シ他方國民ニ重稅ヲ課シテ全經濟生活ヲ脅スノ結果トナルカ故ニ軍備ノ制限及縮少ヲ期スヘキコト

4 各國間ニ於ケル通商上ノ平和的協力ノ必要、各國ハ本會議ノ決議ニ基キテ通商上相互ニ協ルスヘク經濟制度ノ異ナル諸國カ經濟會議ニ參加シタルハ右協力上ノ吉兆ナリ、尤モ「ソヴェト」聯邦ハ一部ノ決議ニノミ

贊成ナル旨宣言シタルニ依リ他ノ決議ハ同國ニ適用ナ
キモノトス

5 經濟會議決議實行問題ヲ研究スヘキ國際聯盟ノ經濟
機關問題、前記三參照

國際經濟會議報告書

目次

經濟會議ノ準備及構成	一七
議長「テュニス」氏ノ閉會演說及會議經過概要説明	二一
會議ノ報告(千九百二十七年五月二十三日ニ採擇セラレタルモノ)	四九
第一、緒言	四九
經濟情勢	五〇
戰後ノ問題	五五
第二、商業	六二
序言	六三
通商ノ自由	六六
關稅	七三
商業政策及條約	八四
自國貿易及自國航海保護ノ間接手段	一〇二

第三、工業	一一三
工業情勢	一一三
一般的考察	一一七
工業ノ合理化	一一八
國際工業協定	一二三
工業ニ關スル情報	一二八
第四、農業	一三三
序言	一三三
一般決議	一三五
特別決議	一三八
第五、一般決議	一四七
附屬	
一、會議ノ議題	一五三
二、會議ニ提出セラレタル書類ノ目錄	一五七
三、會議及其ノ委員會ノ議長、副議長及報告者	一六九
四、會議ニ出席シタル委員及專門家名	一七二

經濟會議ノ準備及構成

國際經濟會議ハ千九百二十五年九月ノ國際聯盟總會ノ決議ニ依リ發議セラレタリ、同年十二月聯盟理事會ハ本會議ノ準備委員會ヲ設ケタルカ其ノ任務ハ經濟會議ノ構成、議題及期日ニ關シ意見ヲ具申シ且會議ニ必要ナル資料ノ準備ヲ爲スニ在リテ經濟會議ニ於テ審議ノ爲選定シタル問題ノ實質ニ關スル審議ハ會議其ノモノニ讓レリ

準備委員會ハ「テュニス」氏（白耳義）議長ノ下ニ二十一箇國ノ委員三十五名ヨリ成リ、工業者、商業者、農業者、財政家及商業政策ノ經驗アル官吏經濟學者竝ニ勞働者及消費者團體ノ代表者ヲ網羅セリ、準備委員會ハ千九百二十六年四月及十一月ニ二回會合セリ

準備委員會ノ起草シタル會議ノ議題ハ（附屬書第一）千九百二十五年三月ノ理事會ニ依リ承認セラレタル後聯盟國タルト非聯盟國タルトヲ問ハス會議ニ招請セラレタル諸國ニ送付セラレタリ、

準備委員會ヨリ本會議ニ提出セラレタル書類及準備委員會カ發表ヲ承認シタル書類ノ目錄ハ第二
 附屬書ニ掲ケタリ

* * *

經濟會議ハ是亦「デュニス」氏議長トナリ千九百二十七年五月四日ヨリ二十三日迄「ジュネーヴ」
 ニ開催セラレタリ

會議ハ諸國政府ノ任命シタル委員、理事會又ハ理事會ノ招請ヲ受ケタル一定ノ國際團體ノ任命セ
 ル委員竝ニ委員ニ隨伴シ又ハ議長ノ招請シタル専門家ヨリ成レリ、(附屬書第四) 其ノ數聯盟國及
 非聯盟國五十箇國ノ委員百九十四名、専門家百五十七名ナリキ

會議ハ最初ノ四日ヲ總會議ニ於ケル一般討議ニ當テ次テ議題ノ區分ニ從ヒ商業、工業及農業ノ三
 委員會ニ分レタリ

商業委員會ハ「コリン」氏(和蘭)議長トナリ同委員會擔當ノ議題ニ關シ一般討議ヲ爲シタル後三

箇ノ分科會ニ分レテ討議セリ、第一分科會ハ「通商ノ自由」、第二分科會ハ「關稅及通商條約」、第
 三分科會ハ「一國商業及航海ヲ保護スヘキ間接手段」ヲ擔任セリ

工業委員會ハ「ホダック」氏(チェコスロヴァキア)議長トナリ其ノ研究範圍ニ屬スル問題ヲ委員
 會總會ニ於テ審議セリ其ノ研究ハ工業狀勢、一般的審査、合理化竝ニ工業協定及資料ノ順序ニ於
 テ爲サレタリ

農業委員會ハ「フランゲッシュ」氏(セルブ、クロアート、スロヴェニア)議長ト爲リ商業委員會
 ト同一ノ手續ニ依レリ、即チ同委員會ハ一般討議ノ後三箇ノ分科會ヲ設ケ其ノ第一ハ「一般問題」
 ヲ、第二ハ「農業上ノ協力」ヲ、第三ハ「農業金融問題」ヲ取扱ヒタリ

右三委員會ノ採擇シタル報告及決議ハ之ヲ本會議ニ提出シテ其ノ承認ヲ得ルニ先タチ本會議ノ議
 長及副議長竝ニ三委員會ノ議長、副議長及報告者ヨリ成ル整理委員會(第三附屬書)ニ提出セラ
 レタリ、整理委員會ノ任務ハ三委員會ノ事業ヲ統一、整理スルニ在リシカ尙本報告書ノ緒論及何

レノ委員會ニモ屬セサル一般決議(本報告書ノ末段ヲ成ス)ノ豫備的審議ヲモ委託セラレタリ、本報告書ハ「ソヴィエト」共和國聯邦及土耳其古委員ノ棄權セル外全會一致ヲ以テ採擇セラレタリ

* * *

會議報告書並總會議及委員會ノ議事錄全部ハ本年秋「會議ノ記錄」ナル名稱ヲ以テ出版セラルヘシ

議長「テュニス」氏ノ閉會演說及會議經過概要說明

本會議ノ審議ハ今茲ニ終了セリ、余ハ今閉會ノ演說ニ於テ過去三週間ノ事業ヲ一瞥シ我等ノ研究ヲ命セラレタル廣汎且複雜ナル問題ニ關シ如何ナル程度迄審議ヲ遂ケタルカヲ示サント欲ス、余カ茲ニ「我等ノ審議ヲ遂ケタル程度」ト稱スルハ本會議準備委員會カ其ノ報告書中ニ於テ云ヘルカ如ク「經濟會議ハ孤立シタル事實ニハ非スシテ國際會議カ企圖セラルル以前ヨリ始マリ且本會議後更ニ繼續スヘキ經濟的方面ニ於ケル國際協力ノ繼續的事業ノ一階段ト看做サレサルヘカラサルモノナルコト」ヲ當初ヨリ念頭ニ置クヲ必要ト思惟スルカ故ナリ

本會議ハ滿一年ヲ超ユル長キ且周到ナル準備ノ後ニ開催セラレ全世界ノ著名ナル專門家及公私ノ團體ノ協力ノ結果ニ成リ又其ノ頗ル廣汎ニシテ豊富且權威アル資料ヲ審議ノ基礎ニ供セリ、余ハ特ニ國際商業會議所カ豫メ諸國ノ國內委員會ニ諮問セル所ニ基キ或ハ書類ニ依リ或ハ口頭ヲ以テ

爲シタル貢獻ハ最モ有益ナリシコトヲ特ニ茲ニ指摘セントス、尙又吾人ハ隨時國際勞働事務局、國際農事協會及其ノ他ノ團體ノ援助ヲ仰クコトヲ得タリ

本會議ノ構成ハ最モ顯著ナルモノナリ、即チ聯盟國タルト非聯盟國タルトヲ問ハス世界各地方ノ五十箇國ヨリ來レル百九十四名ノ委員ハ百五十七名ノ専門家ノ補助ヲ得、最モ重要ナル勸告及決議ヲ採決セリ、諸君ノ大多數ハ各其政府ニ依リ選定セラレタルモ公ノ政策ノ代辦者ニ非ス、諸君ハ夫々各方面ノ特別ナル才能ヲ有セラルルカ故ニ諸君全體トシテ人類活動ノ殆ト總テノ方面ノ智識ヲ網羅ス、本會議ノ特色ハ公ノ性質ヲ有セサルモ充分ナル責任ヲ負ヒ「アカデミック」ノ討議ニ墮セスシテ専門的ノ事業ヲ遂行スルノ點ニ在リ、余ハ各種ノ才能ト各種ノ國籍トヲ最モ良ク代表セル會議カ全會一致ヲ以テ採擇シタル決議ハ將來ノ世界經濟政策ニ深甚ナル影響ヲ及ホスモノナルコトヲ確信スルモノナリ

吾人ハ過去三週間勤勉ニ研究及討議ヲ爲シ今茲ニ之ヲ終了セリ、吾人ハ其ノ結果ニ付テハ吾人ノ

良心ニ對シ將又一般輿論ニ對シ責任ヲ有スルモノナリ、吾人ハ果シテ吾人ニ委囑セラレタル事業ヲ完成シタリヤ？余ハ諸君カ當初ニ於ケル其ノ期待ヨリモ遙ニ進ミテ極メテ眞摯且深遠ナル恒久的事業ヲ完成シタリト稱スルコトヲ得ト思惟ス

多少ナリトモ興味ヲ以テ我等ノ事業ヲ「フオー」シタルモノ（…夫ハ極メテ多數ナリ…）又不完全ナカラム吾人ノ遭遇シタル多大ナル困難ヲ知レル者ハ全テ此ノ事業ヲ歡迎シ之ヲ遂行シタル吾人ノ熱心ト好意トヲ深ク感謝スルコトナルヘシ

國際聯盟ノ經濟會議提唱ハ審口大膽ニ過キタルヲ以テ非常ナル困難ニ遭遇スルノ虞アリシモ今ヤ吾人ハ吾人ノ事業ノ第一階段ニ達スルコトヲ得タリ

世界諸國民ノ進歩ヲ妨ケタル複雜混沌タル諸問題ヲ解決シ又各種利益團體及各種運動ノ複雜ナル政策及希望ヲ調和スルノ必要アリキ

我等ハ「ジュネーヴ」ニ會合シタル代表者カ其ノ常トシテ力メテ公平ニシテ且妥協的ナル態度ニ出

ツヘシトハ余期待シタルモ他方又各其ノ系統及専門的資格ヲ異ニスルカ爲メ甚大ニシテ堪エ得ヘカラサル齟齬及不調和ヲ生セサルヤヲ虞レタリ

然ルニ多クノ悲觀論者カ生スヘシト恐レタル混亂及紛議ノ危險ハ妥協的努力ニ依リ之ヲ除去スルコトヲ得タリ、乃チ余ハ數週間前共同連帶ノ必要ヲ訴ヘタルヲ思ヒ今茲ニ諸君ニ對シ衷心感謝ノ意ヲ表スルモノナリ

諸君ハ生産者、使用者、勞働者、農業者、商業者、財政家、經濟家及消費者各方面ヲ代表セラルモノナルカ其ノ代表シ且保護スル利益ヲ忽ニスルコトナク而モ苦樂ヲ共ニシテ共同ノ目的ニ向テ努力スル同一團體ニ屬スル一員ナルコトヲ常ニ念頭ニ置カレタリキ

本會議ハ商業、工業及農業ノ三大委員會ニ分レテ其ノ事業ヲ進メタルカ各委員會モ亦各々夫自身眞ノ國際會議ナリキ、三委員會ハ各種ノ問題ヲ充分ニ研究セリ、其ノ結論ハ別々ニ採擇セラレタルモノナレトモ頗ル價值アルモノニシテ第一ニハ世界現在不況ノ重ナル原因ヲ探查シ、第二ニ實際

之ヲ救済スヘキ方法ヲ示セリ

右三委員會ハ公開ノ討議ニ依リ本會議ニ提出シタル報告及特殊問題研究ノ爲其ノ内部ニ設ケタル小委員會ニ依リ最モ有益且完全ナル事業ヲ完成セリ、其ノ事業ノ各部分ハ互ニ他ノ部分ヲ明ニシ且之ヲ理解セシムルニ足ルモノナリ

余カ本會議ノ最モ顯著ナル特色ヲ一言ニシテ要約セントセハ商業委員會報告ノ一節ヲ引用スルニ若カス即チ

「審議シタル問題ノ多種ニシテ議論相異リ討議ニ參加シタル各員ノ國民的感情アルニ拘ラス相共ニ事ヲ進ムルノ趨勢ヲ馴致シテ事業ノ進ムニ從ヒ益々其ノ顯著ナルヲ見タリ、右ノ趨勢ハ本經濟會議ヲシテ何等カノ方法ニ依リ新時代ノ端緒ヲ劃セシメントスル全委員ノ一致セル希望ナリ、右新時代ニ於テハ不當ニ國際通商ヲ阻害スル障礙漸次ニ除去セラレ以テ同時ニ世界經濟ノ健全ナル象徵タリ且文明進歩ノ必要ナル條件タル向上の趨勢ヲ招クニ至ルヘシ」

會議ノ決議ヲ説明スルニ先チ尙一點注意スヘキ事項アリ

本會議ハ世界各地ノ相異ル利益及政策ヲ代表スル者ヲ以テ構成セラレタルモノナルカ故ニ國際的方面ヨリ經濟問題ヲ審議シ且國際的見地ニ立脚シタリ、或場合ニ於テハ寧ロ各國獨自ノ立場(内ニハ經濟的性質ト云ハンヨリハ寧ロ政治的且社會的性質ノモノアリ)ヨリ研究スルノ必要ヲ認メタリ、從テ世界全體トシテ最大ナル繁榮ヲ齎ラサントスル見地ノミヨリ一定ノ政策又ハ制度ヲ採用スヘシト爲スコトハ不可能ナルヲ認メタリ、例ヘハ或國ハ世界全體又ハ一定ノ利害關係國トシテ純經濟的見地ヨリ寧ロ同一貨物ヲ輸入スル方利益ナルヤ否ヤヲ考ヘスシテ自國領土内ニ於テ一定ノ貨物ヲ生産センコトヲ期スルモノアリ、而シ會議ノ出發點ヨリスルモ將又本會議ニ於ケル諸種ノ問題ヲ處理スルノ方法トシテモ本會議ハ一般國際會議ニ於ケルカ如ク國際通商ナルモノハ夫自身希望スヘキモノニシテ同一又ハ相異ル國ニ屬スル者ノ間ニ於ケル生産物及役務ノ交換ハ普通ニ其ノ兩者ノ利益トナルモノナルコトヲ承認スルノ必要アリト思惟セリ、本會議ハ一般的經濟上

ノ利益ハ其ノ資源及能力アルニ依リ貨物ノ生産ニ最モ適當ナル國々ノ間ニ於ケル貨物交換ノ數量ニ比例シテ増加スルモノニシテ從テ最モ健全ニシテ且最モ經濟的狀態ニ於テ生産セラレタル貨物ノ國際的交換ヲ以テ最正當ナルモノト看做ササルヘカラスト思惟セリ

此ノ主義ヲ實際政策上ニ適用セントスルトキハ事實上ノ制限アリ、然レトモ國際通商ハ本來又ハ一般的ニ勝敗ノ問題ニモ非ス又他ニ不利益ヲ與ヘテ自己カ利益ヲ得ントスル問題ニモ非スシテ相互ニ利益ヲ享受スルモノナリトノ事實カ必然本國際會議ノ基礎ヲ成スモノナリ

*

*

*

報告概要

以下議題ノ順序ニ從ヒ決議ヲ一瞥セムトス

報告ノ第一部ハ世界經濟狀態ノ一般的研究ヲ爲セルモノナリ、吾人ハ先ツ各自國ノ立場ヨリ見たル主要問題ヲ記述セル二十四箇國ノ報告書ヲ見タルカ右報告書ハ更ニ會議ニ於テ爲サレタル演説

ニ依リ補足セラレタリ、次ニ吾人ハ報告第一章ニ於テ各種資料ヨリ研究セル現在經濟狀況ノ一般ヲ記述セリ

經濟的傾向ト平和

最後ニ右議題第一部ニ關シ本會議ハ世界平和ノ維持カ各國經濟政策ノ基礎タリ且右各國カ實際適用スル主義ノ如何ニ依ルコト大ナルコト、各國政府及國民ハ右經濟問題ニ關シ常ニ相互ニ協議スヘキコト茲ニ吾人ハ經濟的障礙及動搖ト誤解トノ原因ヲ除去スヘキ諸種ノ主義ノ確立ヲ期セサルヘカラストノ全會一致ノ確信ヲ表明セル重要ナル決議ヲ採擇セリ

本會議ノ目的ハ聯盟總會ノ最初ノ決議ニ依リ明カナルカ如ク二方面ニ互レリ即チ本會議ハ單ニ世界ノ繁榮ヲ圖ルニ止マラス又其ノ平和ノ促進ニモ努メサルヘカラス、比ノ點ハ單ニ議題ノ一項目タルニ止マラステ特殊ノ問題ヲ審議スルニ當リテモ常ニ念頭ニ置クヘシト總會ノ希望シタル所ナリ、世界ノ平和ヲ脅威スヘキ有ラユル危險ノ中經濟的紛爭及經濟的利益ノ相異ハ恐ラク最モ重要ナル

モノナルヘシ、平和維持ノ見地ヨリスレハ世界經濟政策ハ世界諸團體間ノ經濟的利益ノ大ナル相違ヲ齎ラスノミナラス耐ヘ得ヘカラサル誤解及不正ノ念ヲモ醸ス場合ニ於テハ吾人ハ國際紛爭處理ノ如何ナル機關ニモ頼リ得ヘカラサルヘシ、世界將來ノ平和ニ必要ナル一定ノ主義ト政策トニ關シ協定ヲ遂クルヨリモ更ニ緊急ニシテ更ニ重要ナル事業ハ有ラサルヘシ、問題ノ極メテ重要ナルモノナルニモ拘ラス各國相寄り深キ研究ヲ爲シタルコトナキコト本問題ノ如キハ有ラサルヘシ、箇々ノ會議ヲ以テシテハ斯ル事業ハ單ニ其ノ最初ノ一部分ヲ爲シ得ルニ過キスシテ終局ノ目的ハ之ヲ達成シ能ハサルヘシ

他ノ一般の問題

本會議ハ議題ノ何レニモ屬セス又ハ何レノ委員會モ研究セサリシ諸問題ニ關シ左記數箇ノ決議ヲ採擇セリ

先ツ本會議ハ千九百二十年ノ「ブラッセル」會議ニ於ケルカ如ク各國經濟生活ノ全般ニ互リ大ナ

ル障礙ヲ與フル重税ノ原因タル軍事費ノ苛酷ナル負擔ニ關シ再ヒ注意ヲ喚起セリ、會議ハ又國家間ノ協定ニ依リ軍備制限及縮少ノ企圖カ成功セムコトノ極メテ熱心ナル希望ヲ表明セリ、次ハ本會議カ絶對ニ政治的問題ニ觸ルルコトナク出席委員全部カ其經濟制度ノ異ナルニ拘ラス本會議ニ參加シタルコトハ各國間ニ於ケル通商上ノ平和的協力ノ吉兆ト見做スコトヲ宣言セル決議ナリ
次ニ本會議ハ各委員ノ協定シタル主義ヲ實際上ニ適用シテ成果ヲ得ルヤ否ヤハ「諸國ノ善意ノミナラス全世界ノ正當ニシテ好意的ナル輿論ノ如何ニ」依ルモノナリト認メタリ

*

*

*

次ニ議題第二部ハ商業、工業及農業ノ三部ニ分レ各部トモ特別委員會ニ依リ研究セラレ同委員會ノ報告及決議ハ總會議ノ承認ヲ得タリ

商 業

商業委員會ノ事業ノ基礎タリシ根本觀念ニシテ審議ノ進ムニ從ヒ益々顯著トナリシハ戰爭及其結果ト誤レル經濟思想トニ因リ益々増加セル障礙ノ爲今日迄束縛ヲ受ケタル世界ニ對シヨリ多クノ自由ヲ與フルノ必要アリト謂フニ在リ、同時ニ本會議ハ此ノ方面ニ於ケル各國民ノ密接ナル相互的信賴ノ必要ト各國ノ執リタル措置カ他國ノ政策ニ及ホセル影響ハ極メテ重大ナルコトヲ認メタリ

通商ノ自由

本會議ハ「商業」ノ第一章ニ於テ「通商ノ自由」(「自由貿易」ト同一觀念ニ非スシテ國際通商ヲ一切ノ制限及人爲的障礙ヨリ解放セムトスル一切ノ措置ヲ含ム)ナル一般的项目ノ下ニ數箇ノ勸告ヲ掲ケタリ、本會議ハ右項目中ニ於テ來ル十一月ニ國際聯盟カ「ジュネーヴ」ニ招集シタル外交會議カ輸出入ニ對スル禁止及制限ヲ實際ニ撤廢スルノ結果ニ到達セムコトノ希望ヲ表明セリ

本會議ハ私營企業ニ對シテ不正ナル競争ヲ爲シ得ヘキカ如キ特別ナル特權及免除ヲ國ノ管理スル企業ニ與フルハ不可ナリト非難シ經濟委員會カ國際通商ニ對スル數多ノ障礙ヲ除去スル爲現ニ執リツツアル措置ヲ承認シ且之ヲ獎勵セリ

最後ニ本會議ハ外國人及外國企業ノ經濟上、財政上ノ待遇ニ關スル條約ヲ準備セムコトヲ勸告ス本件ニ關シ國際商業會議所ノ報告ハ有益ナル資料ナリ

關稅——稅目配列ノ簡易化——其ノ安定——其ノ低減

次ニ委員會ハ關稅問題ヲ其ノ形式ト實質即チ輸入稅ノ實際額其ノモノトハ區別シテ研究セリ、形式問題ニ關シテハ本會議ハ關稅ヲ出來得ルタケ簡易化スルコト、組織的ナル稅目ノ配列ヲ制定スルコト、(其ノ實行ハ國家間ノ條約ニ依リテ定メラルヘシ)稅率ノ安定ヲ實現シ斯クシテ工業及商業ニ特ニ有害ナル障礙ヲ除去スルコト、最後ニ關稅適用上出來得ル限り公正ヲ期スルノ有益ナルコトヲ全會一致承認セリ

關稅率——通商條約

商業委員會ノ主要事業ハ勿論通商條約問題ト密接ノ關係アル稅率問題ナリ

本問題ニ關スル討議ヨリ得タル主要ナル結論ハ經濟會議カ「關稅增加ヲ停止シ却ツテ之ヲ減少スヘキ時期至レリ」ト宣言スルニ在リ、右目的ヲ達スル爲本會議ハ左ノ方面ノ努力ヲ勸告ス、即チ諸國各自ノ關稅ニ關スル個別的ノ措置、次ニ適當ナル通商條約ノ締結トナルヘキ双方の措置、最後ニ各國協同ノ措置是ナリ、此ノ最後ノ各國協同ノ措置ハ國際聯盟ノ經濟機關ヲシテ適當ナル關稅カ國際通商ニ及ホス障礙ノ除去又ハ緩和ニ依リ衡平ナル基礎ノ下ニ國際通商ノ擴張ヲ促進スヘキ研究ヲ爲サシムルニ在リ、本問題カ各國經濟上根本的ニ重要ナルニ拘ラス最早國內主權ノ範圍内ノミニ屬セスシテ諸國間ノ協同的行動ヲ必要トシ且右協同的行動ヲ爲シ得ヘキ域ニ達セルハ關稅思想ノ發達上顯著ナル階段ヲ劃スルモノト謂フヘシ、各國ハ他國ヨリ「コンセツション」ヲ要求セラルルト同時ニ右「コンセツション」ハ他國側ノ與フル對價ニヨリ償ハルヘキコトヲ知ルヘシ、

委員會ノ報告ニ云ヘルカ如ク各國ハ斯クシテ單ニ其ノ自國ノ地位ノミナラス本會議ノ定メタル一般の計畫ノ完成ニ依リ利益ヲ受クルコトモ考慮シテ本會議ノ提議シタル措置ニ注意ヲ拂ヒ得ルニ至ルヘシ

通商政策上ノ其ノ他ノ問題

關稅負擔ノ輕減ナル根本問題ノ外之ヲ支持シ之カ實現ヲ促進シ更ニ之ヲ補足スヘキ他ノ諸問題アリ、本會議カ各國ニ於テ輸入貨物ニ對シ差別的國內稅ヲ課スルヲ非トスルハ此ノ思想ニ基クモノナリ、本會議ハ原料品ノ自由ナル移動ハ世界通商ノ健全ナル發達ニ缺クヘカラサルモノナルカ故ニ輸出稅ハ財政上ノ必要又ハ例外的且已ムヲ得サル事情ノ許ス限り最モ低率ニシテ如何ナル場合ニ於テモ差別的ナルヘカラサルコトヲ宣言ス

更ニ本會議ハ有效期間ノ長キ通商條約ノ制度ヲ再ヒ確立スルノ必要ナルコトヲ思ヒ、又此ノ種ノ制度ノ基礎ハ最惠國待遇ヲ相互ニ且無條件ニ附與スルコトニアルコトヲ認メ、前記根本觀念ニ關

シ出來得ル限り廣ク且自由ナル解釋ヲ爲スヘキコトヲ勸告ス

國際聯盟ノ經濟機關ハ通商條約ノ共通ナル一般的形式竝ニ最惠國條款ノ解釋及範圍ニ關スル劃一の原則ヲ確立スルノ能否ヲ研究スルコトヲ要スヘシ

最後ニ本會議ハ各國ニ對シ通商條約中ニ其ノ解釋又ハ適用ニ關スル爭議ヲ仲裁々判ニ依リ又ハ國際司法裁判所ニ付記シテ解決スヘキ趣旨ノ條項ヲ規定スルノ可否ニ付テ研究セムコトヲ勸告ス
以上ノ外自國通商航海ヲ保護スル間接手段アリ、即チ、補助金ノ交付、「ダンピング」及輸送制度上ノ差別待遇ノ如キハ通商ノ發達上前記根本問題ニ比シ直接ノ影響ヲ與フルコト少シト雖モ會議ニ於テハ此等諸問題ニモ留意スル必要アリキ、此等ノ問題ニ關シ決定的解決策（意見極メテ區々ナリシ爲右解決ノ如キハ頗ル困難ナリキ）ハ示ササリシモ斯ル問題ノ真相及結果ニ關シ一般ノ意見ヲ啓發シ得ヘキ或種ノ原則ヲ定メタリ

工業

三六

工業問題ノ報告ニ於テハ本會議ハ先ツ世界ノ或ル部分ニ於テ世界のニ重要ナル工業カ遭遇シツツアル困難ノ原因ニ關シ簡單ニ説明セリ

本會議ハ消費者又ハ勞働者ヲ害セスシテ如何ニシテ生産費ヲ減少シ得ルヤヲ研究スルヲ以テ根本問題ト爲セリ、此ノ目的ノ爲メ會議ハ(一)生産ノ合理化、之ニ關聯シ(二)國際工業協定、(三)情報ノ蒐集及交換ノ三問題ヲ研究セリ

生産ノ合理化

報告ニハ合理化ノ目的ヲ詳細ニ記述シ、合理化ハ勞働者ノ正當ナル利益ヲ害セサル様注意シテ實行セラレサルヘカラサルコトヲ述フ、依テ本會議ハ各國政府、公ノ團體、商業團體及一般輿論ニ對シ小企業ヲ無視スルコトナク且社會ノ福祉ヲ増進スヘキ措置ニ對シ特ニ注意ヲ拂ヒツツ適宜生

産者ヲシテ合理化ノ最良ナル方法及結果、科學的ノ處理及標準化ヲ促進セシムル様生産者ヲ獎勵セムコトヲ勸告ス

國際工業協定

報告ハ次ニ工業協定問題ヲ記述ス、本問題ハ最近著シク世ノ注意ヲ喚起シタル問題ナルカ本會議ノ審議ニ當リテモ亦相當意見ノ相違アリキ、會議ハ本問題ニ關シ何等ノ原則ヲモ定ムルニ至ラサリシカ、工業協定ノ發達ハ同協定ノ成立又ハ實行ノ基礎タル精神ノ如何ト右協定ノ理事者カ一般ノ利益ヲ考慮スルヤ否ヤニ依リ可否何レトモ爲シ得ヘキ性質ノモノト認メタリ

工業上ノ協定ハソレ自身ニ於テハ經濟不況ノ現在ノ原因ヲ除去シ得ヘキ唯一ノ方法ト看做スコト能ハサルモ或範圍ニ於テハ生産組織ノ改善及生産費ノ減少ニ資シ得ヘシ、工業協定ハ反經濟的競争ヲ抑制シ生産上ノ動搖ヲ減少シテ以テ勞働者ノ失業ヲ少カラシメ、而カモ消費者ニ利益ヲ與フルコトヲ得ヘシ、尤右協定ハ獨占的傾向ト不健全ナル商業手段ヲ助長スルニ於テハ危險アリト云

三七

フヘシ、依テ本會議ハ右工業協定ニ依リ價格ノ人工的昇騰ヲ招クヘカラス、又一國ニ對スル原料品又ハ必要物產ノ供給ヲ制限シ消費國又ハ生産國或ハ同様ノ狀態ニ置カレタル其ノ他ノ國ノ加工の産業ニ對シ專斷的ニ不正ナル條件ヲ課スルカ如キコトアルヘカラサルモノト認ム

工業協定ノ取締ニ關シテハ何等特別ナル勸告ハ爲ササリシカ自國ニ於テ工業協定管理ノ措置ヲ執ル國ハ此ノ協定ニヨリ生スル利益ヲ害セサラムコトヲ期スルヲ可トス、各國ノ取締方法ニ差異アルハ國際的制度ノ確立ヲ妨クルモ右方法ヲ公表スルニ於テハ之カ濫用ヲ比較的有效ニ阻止シ得ヘシト認ムルカ故ニ本會議ハ國際聯盟ニ對シ工業協定ノ作用及結果ニ注意シ且有益ナル情報ヲ蒐集及公表セムコトヲ勸告ス

工業統計及情報

最後ニ本會議ハ正確ナル資料ノ組織的蒐集カ工業者ノ立場ヨリスルモ將又一般人ノ立場ヨリスルモ極メテ有益ナリト思惟ス、基礎工業ニ付テモ亦各國主要工業ニ付テモ正確ナル統計ヲ作り工業

生産ノ數量上ノ指數ヲ明カナラシムルコト必要ナルヘシ

國際聯盟ハ經濟機關ハ工業統計上ノ名稱、範圍及方法ニ付テ國際協定ノ成立ヲ促進セシムヘク且原料品、生産等ニ關シ供給セラレタル資料ヲ比照研究スルコトヲ要スヘシ、右資料ノ中國際勞働事務局ハ給與、勞働時間及勞働市場問題ニ付テ援助ヲ與フヘシ

右ノ外聯盟ノ經濟機關ハ工業ノ發達、原料品並生産及商業上ノ變化ニ關スル一般的報告ヲ作成シ特殊ノ研究ヲ爲スコトヲ要ス

農 業

農業問題ハ之ヲ世界經濟狀態ノ一般的研究範圍ノ中ニ加フル爲商業及工業問題ト共ニ本會議ニ於テ初メテ審議セラレタリ、會議ノ用ニ供セラレタル資料ニ依リ明カナルカ如ク製造品ニシテ農產物ノ價額ノ不均衡ナルコトハ世界のノ不況ヲ惹起シ之ヲ救済セサルニ於テハ農產物ノ減少ヲ招ク

ニ至ルヘシ、農業問題ニ關スル討議ヨリ得タル最重要ナル結果ハ農業カ工業及商業ト緊密ナル相關關係ニ在ルヲ確知シタルコト是ナリ、是報告書ニ云ヘルカ如ク「一カ他ト關係ナク恒久ノ繁榮ヲ得ルコトヲ期待シ得ヘカラサレハナリ」

農業組織及生産方法等

本會議ハ農業狀態改善ノ第一歩ハ成ルヘク有效ナル專門方法、成ルヘク科學的ナル組織ノ一般的採用ト動植物病害ニ對スル國際的防壓方法ノ改善及金融機關ノ組織及協力トニ依リ農業者自ラ之ヲ爲ササルヘカラサルモノト認ム、組合組織等ニ依ル協同行爲ニ關シテ本會議ハ生産者團體ト消費者團體ノ間ニ於ケル直接ノ關係ノ重要ナルヲ特ニ指摘セムトス

農業金融等

農業金融上ノ困難ハ多數ノ國ニ於テ今尙ホ特ニ甚シキモノアル處官憲ノ援助アルト否トヲ問ハス一國金融機關未タナキトキハ之ヲ設立シ既ニ存在スル場合ニ於テハ更ニ之ヲ改善スルコトニ依リ

テノミ此ノ困難ヲ除去スルヲ得ヘシ、本會議ハ農業金融ニ供シ得ヘキ資源ヲ増加シ得ヘキ國際的機關カ實際上有效ナリヤ否ヤヲ研究セムコトヲ勸告ス

前記方法ノ或モノニ付テハ政府ニ於テ私人ノ計畫ヲ援助スルコト必要ナルヘシ、立法的措置ニ關シテハ本會議ハ社會問題ニ關スル法律ヲ農業者ニモ擴張スルコトヲ勸告ス、唯此等法律ヲ農業ノ特別ナル性質ニ適合セシムルコト必要ナルハ論ヲ待タス

保護政策ヲ執ルカ爲スル障礙

本會議ハ商業ニ關スル陳述中ニ述ヘタル原則ニ從ヒ農產物ノ自由ナル移動ヲ阻害スル障礙ヲ各國又ハ勞働者ノ重大ナル利益ヲ害セサル限度ニ於テ除去スルノ必要ナルヲ力説ス、最少限度ノ保護ノ必要ナル場合ニ於テハ工業ト商業トノ間ニ於ケル均衡ヲ確保シ以テ他方ヲ害シテ一方カ利益ヲ受クルカ如キコトナキヲ期スルノ必要アリ

右ノ外本會議ハ農業統計殊ニ家畜及畜産物ニ關シ正確ナル農事報告制度ニ基ケル農業統計ノ改善ヲ勸告ス、又本會議ハ殖民地ノ土着人民ノ間ニ於ケル農業ノ發達ニ特ニ留意シテ現在ノ狀態ニ關シ又農業改善ノ可否ニ關シ一般的研究ヲ爲サムコトヲ希望ス
又工業ニ缺クヘカラサル規則正シキ供給ヲ確保スルノ必要アルニ依リ、森林ヨリ得ル資源及森林ノ開發ニ關シ特別ナル研究ヲ爲スノ必要アリ
本會議ハ農業ト商工業トノ間ニ於ケル相關々係ニ鑑ミ經濟問題研究ノ爲既ニ何等カノ機關存在スル場合又ハ將來之ヲ設立スル場合ニ於テ農業ノ經濟的及社會的ニ重要ナル程度ニ應シ、農業者側ノ代表者ヲモ適宜之ニ加フヘキコトヲ國際聯盟ニ要請ス

組 織

本會議ハ經濟委員會及聯盟事務局ノ爲シタル事業ノ頗ル價值アルコトヲ表明スル決議ヲ爲シテ其ノ審議ヲ終レリ。本會議ハ聯盟ノ經濟機關ニ關スル勸告ノ實行問題ニ付テハ常設機關ニ關スル何等ノ提議ヲモ爲サス、單ニ本會議準備委員會ノ構成宜シキヲ得充分ニ本會議ノ準備ヲ爲スコトヲ得タル事實ニ關シ聯盟理事會ノ注意ヲ喚起スルヲ以テ最モ賢明ナル策ナリト認メタリ

結 論

戰後八年ノ經驗ニ依リ明トナレル極メテ顯著ナル事實ハ、實際ニ戰爭ノ行ハレタル地方ハ別トシ、戰爭ノ爲ニ生シタル組織ノ破壊ハ現實ノ破壊ヨリモ遙カニ大ナルコト是ナリ、即チ現時ニ於ケル主ナル經濟上ノ障礙ハ天然資源ノ缺乏又ハ之カ開發ニ必要ナル人力ノ不足ニ非ス、又右障礙ハ生

産能力ノ缺乏ニ因リ生スルニ非シテ組織破壊ノ結果常ニ右能力ノ充分ナル利用ヲ妨クル幾多ノ障礙生シタルト整理統一ノ不完全ナルトニ在リ、即チ經濟復興ノ主要ナル障礙ハ勞力資本及貨物ノ自由ナル移動ヲ妨クル障礙ナリキ

右障礙ヲ除去シ以テ生産ヲ増加スルト共ニ通商ノ自由ヲ回復スルカ爲ニハ國際的ノ協力ヲ必要トス、此ノ生産増加ハ主トシテ生産者ニ於テ互ニ相協力シテ勞費ヲ減少シ得ヘキ簡易化及標準化ノ如キ科學的方法ノ促進ニ依リ達セラルヘキモノナリ、此ノ目的ノ爲ニ必要ナル基本的手段ハ生産及生産要素ニ關スル資料ヲ蒐メ之ヲ成ルヘク完全ニ規則正シク統一的ニ且最モ良ク整理シテ公表スルニ在リ、通商自由ノ回復ハ寧ロ使用者、勞働者及消費者ノ啓發セラレタル意見ニ鼓舞セラレ且之カ支持ヲ受ケテ居ル政府ノ努力ニ俟ツモノニシテ特ニ歐羅巴ニ於テ然リトス、決議ニ云ヘルカ如ク「各國ハ戰爭ノ結果惹起セラレタル一時的ノ困難ニ處スルカ爲設ケラレタル障礙ヲ始メトシ國際通商ヲ阻害スル關稅障壁ヲ即時ニ撤廢若ハ減少スル措置ヲ講シ」又最モ不經濟ナル軍備ノ

負擔ヲ緩和スヘキ安全保障ノ觀念ヲ再ヒ普及セシムルコト必要ナリ、吾人ハ自給自足ノ道ヲ達スルカ爲關稅障壁ヲ設ケタル場合ニ於ケルカ如ク經濟的復興問題ト安全保障問題トノ關係ニ關スル幾多ノ例證中茲ニ二個ノ顯著ナル事例ヲ有ス、右ハ特ニ歐羅巴ニトリテ眞實ナルカ世界全般ニトリテモ亦然リ、若シ平和カ持續スヘシトノ信念ナカリセハ戰後觀タルカ如キ生産能力ノ實際ノ進歩ニ相應スル繁榮ヲ得ルコト不可能ナルヘシ

*

*

*

本會議ノ成果及決議ノ概要ハ以上述ヘタルカ如クナルカ之ヲ充分ニ知ルカ爲ニハ其ノ全文ニ付テ研究セサルヘカラス、目次及各項目ニ依ツテ知り得ルカ如ク最モ重要ナル勸告ニ付イテハ特ニ然リトス、右勸告ノ如キハ要約スルコトヲ得サルモノニシテ其ノ全文ノ儘之ヲ讀マサルヘカラス吾人ノ決議ニ於テ經濟政策ノ基本タル原則ヲ定メタリト雖之ヲ以テ吾人ハ吾人ノ任務ヲ果シタリト云フヘカラス吾人ノ事業ハ單ニ其緒ニ就ケルニ過キストサヘ云フヲ得ヘシ

吾人ハ右原則ヲ定メテ吾人ノ事業ノ第一部ヲ達成セリ、而モ之カ完成ニ當ツテハ各國及之ヲ構成スル各團體ノ眞實ナル相互信頼ノ念ニ鼓舞セラレタリ、吾人ノ討議ノ各部分及吾人ノ報告ノ各頁ニ於テ吾人人類ノ共同連帶ノ精神カ益々明瞭ニ表ハレタリ、吾人ハ全體トシテ吾人ノ物質的從ツテ又精神的生活條件ノ改善ヲ企圖スルニ努メタルカ吾人ノ事業ハ吾人ノ勸告ニ對シテ支持ヲ與ヘラレサルニ於テハ何等成果ナカルヘシ、吾人カ其ノ爲ニ努力シ來レル人々ノ援助ナクシテハ吾人ノ努力ハ水泡ニ歸スヘシ

一般輿論ハ吾人ノ事業ノ頗ル重要ナルコトヲ諒解スルノミナラス輿論ノ力、其ノ價值及其ノ任務ノ重要ナルコトヲ充分ニ自覺セサルヘカラス

吾人ハ政治的平和ノ原因タル經濟的平和ヲ確保スル爲ニ誠實ニ努力セリ、本會議ハ互ニ眞實ヲ以テ相接觸スル人々ノ會合ニシテ議論偶々粗野ニ流レタル場合アリタリト雖モ互ニ誠實ヲ以テ相協議セリ

吾人ノ勸告ハ恐ラク吾人ノ希望スルカ如ク直ニ完全ニハ實行セラレサルヘキモ大ナル運動ハ其ノ當初ニ於テハ幾多ノ困難ニ遭遇スルモノナリ、而シテ吾人ハ其ノ事業カ吾人ノ全力ヲ盡シテ世界ノ平和ト繁榮トヲ確保セムトスル眞實ナル主義ト決意トヲ基礎トスルモノナルコトヲ確信ス、世界各國民ノ抱ケル平和進歩ノ熱心ナル希望ヲ眞實ニ理解且表現セル國際聯盟ノ招請ニ應ジテ「ジュネーヴ」ニ來リタル吾人ハ有益ナル事業ヲ爲サムコトヲ希望セルカ今日ハ既ニ其ノ第一歩ヲ完成シ其ノ成果ニ關シ自ラ誇リ得ル所アルヲ信ス、然レトモ吾人ノ成功ハ將來ニ於ケル確固不拔ノ努力ニ俟ツモノナルコトヲ忘ルヘカラス

余ハ此處ニ本會議ニ參加協力シタル各委員及專問家各位ニ對シ衷心訴フル所アラントス、即チ吾人ハ勸告ノ作成及採擇ニ努力シ吾人ノ切ニ要求セル眞實ヲ普及セシメ之ヲ擁護シ且之ヲシテ勝利ヲ得シムルノ義務ヲ負ヒタルモノナルカ眞實ハ漸次ニ且一部宛實施セラレ最後ニハ一般ニ普及スルニ至ルヘシ、吾人カ日日吾人ノ任務ニ從フトキ吾人ハ右眞實ヲ常ニ念頭ニ置キ吾人努力ノ一部

ヲ之ニ捧ケサルヘカラス

吾人ハ全世界ニ影響ヲ及シタル恐ルヘキ歐洲大戰亂ノ後ニ於テ社會ノ秩序カ魔術ニ依ルカ如ク恢復ストハ豫期セス、而シテ吾人努力ノ成果ヲ吾人自ラ得ルト將又吾人ノ後繼者カ得ルトニ論ナク吾人ハ吾人ト希望及理想ヲ同ウシ吾人ト同様ノ熱心ヲ有スルモノト相協力セムトスル確固タル決心ヲ有スルモノナリ、吾人ハ吾人努力ノ結果更ニ大ナル人類ノ幸福ヲ得ラルヘキ時機ノ來ルヘキコトヲ知レリ、而シテ其時ニ至ラハ初メテ吾人努力ノ結果ヲ誇リ得ヘシト信ス

會議ノ報告

(千九百二十七年五月二十三日ニ於テ採擇セラレタルモノ(註))

第一、緒言 第二、商業 第三、工業 第四、農業 第五、一般決議

(註) 本報告ハ決議ト共ニ「ソグワイエト」共和國聯邦及土耳其古委員ノ葉權シタル外全會一致ヲ以テ採擇セラレタリ、尤モ「ソグワイエト」共和國聯邦ノ委員ハ第五、ノ附屬書ニ掲ケラレタル決議ニ賛成ナル旨宣言セリ

第一、緒言

一、國際聯盟ハ國際經濟會議招集ニ關スル其ノ千九百二十五年九月二十四日附決議ニ於テ其ノ「世界平和樹立ノ一切ノ方法ヲ求ムル堅キ決心ナルコト」ヲ宣言シ、「經濟的平和ノ諸國民間ノ平和ニ貢獻スルコト大ナルヘキコト」ヲ確信スル旨ヲ明言シ、「一般的繁榮ノ回復ヲ妨クル經濟的障礙ヲ調査シ之ヲ征服シ且紛議ヲ豫防スル最善ノ方法ヲ確定スルノ必要」ヲ高調セリ

經濟會議ハ前記ノ一般方針ヲ斷ヘス其ノ念頭ニ置キタリ、戰後九年ヲ經過セル今日(其ノ間前古未曾有ノ災難ニ由來スル混亂ハ遺憾ナク其ノ永續的影響ヲ現ハセリ)會議ハ最善ノ努力ヲ盡シテ現今世界ノ惱メル混亂ノ根本的原因ヲ發見分解シ假令之ヲ全治シ得ストモ少クトモ文明世界ノ渴仰セル救済ノ幾分カラ與フルニ足ル救済方法ノ發見ニ努メタリ

經濟情勢

二、聯盟事務局カ豫備會議ノ指導ノ下ニ諸國ニ於ケル商業工業諸團體及多數專門家ノ協力ヲ得テ準備シタル書類ハ極メテ完全ニ世界ノ經濟的狀態ノ鳥瞰圖ヲ示シ居レルカ此處ニハ簡單ニ右書類ノ結論ニ言及スルニ止ムヘシ

戰後發生シタル變化ノ概念ヲ得ルニハ世界ノ食料品及原料品ノ生産ニ關スル統計ヲ見ルヲ可トス、統計ニ依ルニ千九百二十五年ニ於ケル世界ノ人口ハ千九百十三年ニ比シ五「パーセント」増加シ食料品(註一)及原料品ノ生産ハ十六乃至十八「パーセント」増加セリ、換言スレハ生産ト消

費ハ絶對的ニモ一人宛ニモ戰前ヨリ大ナルナリ

然ルニ此ノ食料品及原料品(註二)ノ生産増加ハ國際商業ノ之ニ相應スル増加ヲ伴ハサリキ、蓋シ千九百二十五年ニ於ケル貿易額ハ戰前ニ比シ僅々五「パーセント」ノ増加ニ過キサリシヲ以テナリ

(註一) 支那ヲ除ク

(註二) 技術ノ進歩ハ原料品ノ更ニ完全ニシテ經濟的ナル使用ヲ可能ナラシムルカ故ニ製成品ノ生産ハ此ノ數字ヨリモ一層速ニ増加シタルニ相違ナカルヘシ

三、尤モ是等ノ統計ハ世界全體ニ關スルモノニシテ各大陸ノ地位ヲ個別的ニ示スモノニ非ス、世界ノ或ル部分ハ前記統計以上ノ發達ヲ遂ケタルモ他ニ遙カニ後レタル大陸ナキニ非ス、殊ニ歐羅巴ヲ然リトス、歐羅巴(其ノ人口ハ一「パーセント」ノ増加ヲ示セリ)ノ生産ハ千九百二十五年ニ於テ千九百十三年ニ比シ約五「パーセント」ノ増加ナルニ(此ノ増加ハ戰前ヨリモ頗ル低シ)其ノ國際貿易ハ戰前ノ八十九「パーセント」ニ過キサリキ、經濟的困難カ歐羅巴ニ於テ最モ激烈

ナル事實ハ各種産業ニ關スル書類ニ明カナリ、右經濟的困難ノ最モ顯著ナル兆候ハ其ノ財政的反動カ重税及貯蓄ノ不足トナリテ現ハレツツアル一方諸國ニ異常ノ失業者アリテ而モ尙其ノ數ヲ増加シツツアルノ事實ナリトス

四、斯クノ如ク其ノ組織ヲ破壊セラレタル歐羅巴ノ經濟的狀態ハ必然的ニ他大陸ノ經濟的狀態ニ影響セサルヲ得ス、他國カ歐羅巴ノ購買力ノ減少ニ影響セラルルハ明ナリ、又世界ハ歐羅巴カ其ノ營テ把握シ居タル世界經濟上ノ數箇ノ職能ヲ餘儀ナク拋棄セルノ事實ニ依リテ影響セララルモノナルヤ疑ナキ所ナリ

五、然レトモ歐羅巴ニ於テモ其ノ他ノ大陸ニ於テモ經濟的狀態ハ劃一的ニ良好ナリ或ハ不良ナリト云フヲ得ス、經濟界ノ不況ハ明カニ數種ノ重要ナル産業ニ集中セラレ居レリ、製鐵、造船、化學工業ノ如キハ戰時ノ需要ニ應スル爲人工的ニ擴張セラレタル處戰後貯蓄減少ヨル來タル資本ノ不足カ戰前ト同様ノ規模ニ於ケル經濟的發達ヲ不能ナラシメタルノ事實ニ依リ其ノ需要ハ制限

セラルルニ至レリ、諸種ノ固定資本ヲ必要トスル製鐵業ハ特ニ右ノ事實ニ依リ影響セラレ居レリ、其ノ他ノ工業殊ニ綿工業ハ遠隔ノ諸國ニ於ケル生産能力ノ著大ナル増加ニ應シテ變化シ尙他ノ工業例ヘハ石炭業ノ如キハ（石炭ノ需要ハ他ノ動力ノ使用又ハ燃料ノ經濟ニ依リ大ニ減少セリ）石油業及電氣業ノ繁榮セルニ拘ラス其ノ業績甚タ振ハサルモノアリ、産業ノ不況前述ノ如シト雖モ恐ラク混亂ノ最甚タシキハ船舶業ナラン、蓋シ世界船舶總噸數ハ三十八「パーセント」ノ増加ヲ見タルニ反シ運送貨物ノ容積ハ殆ト増加ヲ示シ居ラサレハナリ、上記ノ諸産業ノ狀態ハ自動車製造業、人造絹絲業、護謄品製造業ノ如キ直接消費ニ供セラルルモノ又ハ贅澤品ヲ供給スル數多ノ工業ノ狀況ト著シキ對照ヲ爲スモノナリ

戰爭ノ惡影響ハ少數ノ特殊産業ニ集中セラレタリト雖モ其ノ結果タル不景氣ハ他ノ方面ニ於テ見ルヲ得ヘカリシ發達ヲ妨ケタリ、蓋シ右不景氣ハ全部的又ハ部分的ノ失業者ヲ生セシメ多數ノ勞働者ノ購買力ヲ減少セシメタレハナリ

六、加之工業ノ混亂ハ更ニ大ナル影響ヲ及ホスモノナリ、蓋シ工業ノ混亂ハ同シク全世界ノ農業ニ影響スルカ故ナリ、農業ハ現今其ノ耕作方法ニ於テ日日工業化シツツアルカ或國ニ於ケル工業品ノ價格ハ此處數ケ年間比較的高價ナルニ拘ラス農產品ノ價格ハ比較的二低廉ナルノ事實ニ依リ直接惱マサレツツアリ、農業家ハ其ノ必要トスル製造品ヲ高價ニ購ヒナカラ其ノ生産物ヲ廉價ニ賣ラサルヲ得サル事情ニ付其ノ苦衷ヲ訴フルヲ常トス、會議ノ書類ハ若シ農產品ノ價格低廉ニシテ多數諸國ニ於ケル農村カ疲弊セリトセハソハ食料品ノ生産ニ異常ノ増加アリシ爲ニ非スシテ歐羅巴ニ於ケル工業地帶ヨリノ需要ノ減退セルカ爲ニ外ナラサルコトヲ示セリ

七、斯クノ如ク會議ノ書類ハ一面ニ於テ現状ノ最暗黒面ヲ摘發スルニ資スルトコロアルト共ニ他面ニ於テ諸國民、諸產業、諸階級ノ相互依屬ヲ強調スルトコロアルナリ、大戰中諸國民ハ周圍ノ事情上一時變態ト云フヘキ迄自己ノ資源ニ依リテ生活スルニ至レリ、此ノ自給自足ハ其ノ代償トシテ多大ノ苦惱ヲ伴ヘルモノニシテ其ノ苦惱ハヤカテ殆ト堪エ得ヘカラサルモノト爲リタ

リ、戰後經濟的孤立政策ニ依リ經濟的繁榮ヲ求メントノ計畫ハ略九年間ノ實驗ノ後失敗ニ歸セルモノト斷スルヲ得ヘシ、世界ノ輿論ハ繁榮ナルモノハ限ラレタル少部局ニ於テ享有シ得ラルルモノニ非サルコトヲ諒解シツツアリ

戰後ノ問題

八、戰爭直後多數ノ國民ハ戰爭而モ戰爭ノミヲ以テ個人、國民、大陸ノ經濟的關係ニ付發生シタル混亂ノ理由ト爲セリ、斯クノ如キ事情ノ下ニ於テ戰前ノ狀況ヘノ單純ナル復歸ヲ以テ現在ノ困難ヲ醫スルニ足ル經濟政策ノ目的ト爲スハ怪シムニ足ラサルナリ、抑々將來ヨリモ過去ニ眼ヲ轉シ舊來ノ秩序カ新規ノ秩序ニ依リ取ツテ代ハラレツツアル時代ニ當ツテ前期ノ思想ニ立チ歸リ傳統的事態ヲ回復セントスルハ人ノ性ナリ、然レトモ經驗ハ戰後ノ問題ハ斯クノ如キ簡單ナル方法ニ依リテ解決セラルヘキモノニ非サルコトヲ示セリ

戰前ノ狀態ニ復歸セントノ希望ハ最初ハ賢明ニシテ且自然ノ本能ナリキ、蓋シ戰後ノ最重要ナ

ル事業ハ急激ニ中止セラレ居タル世界ノ經濟的生活ヲ再ヒ活動セシムルニアリタレハナリ、從テ經濟政策ハ戰爭ノ一時的影響ヲ取扱ヒ戰爭ノ殘シタル生産並ニ貿易ニ對スル障礙ヲ除去スルニ努メサルヲ得サリシナリ

九、經濟的困難ノ中最廣ク傳播シ最重大ナル結果ヲ招致スヘキモノハ財政組織ノ破壊ト通貨ノ下落ナリトス、武府會議當時ニハ歐羅巴諸國中僅ニ四國ノミカ其ノ歲出歲入ノ平衡ヲ保タシムルニ成功シ居タルカ今ヤ殆ト總テノ國ハ其ノ豫算平衡ノ實現ニ成功シタリ

假令此ノ財政立直ノ第一歩ハ今日未タ完全ナラストスルモ又各國ニ於テ既ニ財政的安定保證セラレタリト云フハ過キタリトスルモ一般ニ財政ノ混亂狀態及爲替相場ノ不安定カ最早貿易及生産ノ不況ノ第一義的ノ原因ニ非サルハ事實ナリトス

一〇、近年重大ナル影響ヲ及ホシタル他ノ一ノ困難ハ資本ノ不足ナリ、戰後ニ於ケル生産率ノ低減ハ兎ニ角貯蓄ノ餘地ヲ剩ササリキ、其ノ後此ノ狀態ハ漸次變化シ歐羅巴ニ於ケル生産ノ恢復

ハ安全ノ觀念ノ増大スルト共ニ貯蓄心ヲ再生セシメ資本ノ國際的移動ヲ刺戟セリ、是等ノ發達ハ尙不充分ナラ常規的ノ資本供給ヲ復舊シタリ、コハ金利カ或國殊ニ中央歐羅巴ニ於テ一時示シタル過度ノ高率ヨリ低下シテ更ニ常規ノ利率ニ近ツケル事實ニ依リ證明セラルル所ナリ、金利低下ノ速ナリシハ或ル程度迄ハ漸次増大シツツアル資本移動ノ自由ノ反映ナリ

一一、同様ニ國際商業ニ付テモ戰爭直後ノ狀態ハ常規ノ貿易關係ノ回復ヲ許ササリキ、從テ諸國ハ通商ニ對シテ極端ナル制限ヲ課シタルモ爾來其ノ多クハ實質的ニ除去セラレテ（第十九節ニ於テ論スヘキ關稅並ニ其ノ他ノ障壁ヲ除外シテ考察スレハ）今日通商ノ自由ハ大ニ回復セラレタリ

一二、然レトモ戰後ノ歐羅巴ノ新經濟狀態ハ幸ニモ一時的性質ヲ有スル數種ノ特徵ヲ有スルト共ニ又將來相當ノ期間變更セサルヘキ特徵及永久的ト看做スヘキ特徵ヲ有ス、從來公衆ノ注意ヲ殆獨占シタル財政上及經濟上ノ一時的困難ノ消滅シタル爲今ヤ吾人ハ世界ノ經濟狀態ニ於ケル

更ニ根本的ノ變化ヲ識別研究スルコトヲ得ルナリ、千九百十三年ノ狀態ヲ徒ニ追フコトニ依リテ斯クノ如キ問題ヲ解決セント試ムルハ徒勞ニ終ラン、新狀態ニ面シテハ新救濟方法ヲ發見セサルヘカラス

一三、永久的變化ニハ前述ノ如ク戰爭ノ直接ノ結果タルモノアリ、例ヘハ戰後歐羅巴ノ交戰國ニハ財政的困難アリ、此ノ財政的困難ハ他ノ多數ノ國ニモ及ヒ之ヲ除去スルニハ數十年ヲ必要トスヘシ、多數ノ國ニ於テハ戰時債務ニ對スル毎年ノ莫大ナル負擔ニ加フルニ交戰國ハ何レモ多年ノ間戰爭恩給ニ對スル財源ヲ發見セサルヘカラス、是等ノ負擔ハ現今世界諸國ノ財政ノ一大負擔タル軍費ニ加算セラルルモノナルコトヲ忘ルヘカラス、從テ歐羅巴ニ於テハ租稅負擔率ハ恐ラク尙多年ノ間千九百十三年ヨリモ大ナルモノアルヘシ

一四、尙戰爭ヨリ生スル對外債務ハ國際經濟上ノ意義ヲ有ス、此ノ對外債務ハ或ル國家ノ蒙リタル對外投資ノ喪失竝ニ其ノ多數カ外國ニ於テ起シタル新募債ト共ニ戰前ノ諸國間ノ公私ノ債務

關係ヲ變化シ結局國際貿易ノ分配及方向ノ變更ヲ招來スル一要因ト爲ルモノナリ、何トナレハ一國ノ他國ニ對スル貸借關係ノ最終決算ハ物品及勤勞ヲ以テ爲サルルモノナレハナリ、但シ右ハ債務者ノ物品及勤勞カ必然債權者ニ直接移轉セラルヘシト云フ意味ニハ非ス

一五、産業分配、商業政策及通商ニ影響ヲ及ホス他ノ一ノ變化ハ移民ノ衰頹トス、此ノ事實ハ諸國民ノ自然的増殖ニ大差アルノ事實ト結合シテ民族ノ相互間ノ運命ニ變化ヲ齎シツアルカ如シ、領域及天然資源ニ比シ過度ニ増殖スル人口ヲ有スル國ハ其ノ産業上ノ活動ヲ熾烈ニシ又他國ヲシテ原料品ニ付テ自由政策ヲ採用セシメント欲スルモノナリ、歐羅巴ニ關スル限リ移民問題ハ大陸諸國間ノ變態の出稼ニ依リ部分的且一時的ニ解決セラレ居レリ

一六、然レトモ會議ノ調査ニ依リ明ト爲レル變化ノ中ニハ必シモ全然戰爭ノ結果ノミニ歸スルヲ得サルモノアリ、歐羅巴ノ輿論ハ戰爭カ二十世紀ノ初頭ニ開始セラレ居タル世界ノ變化ヲ促進シタルノ事實ヲ諒解シツツアリ、他ノ諸大陸カ歐羅巴ノミカ製造シ得タル製造品ニ代ヘテ喜ン

テ原料品ヲ供給シタル一世紀(第十九世紀)後注意深キ觀察者ハ千九百五年若ハ千九百六年ニ於テ(亞米利加國ニ於テハ恐ラク二十年早ク)前記諸大陸ノ歴史ニ一新章(其ノ主ナル特徴ハ自國ノ製造工業ヲ設定セントノ努力ニアリ)ノ將ニ開カレントシツツアリシコトヲ認ムルヲ得タリシナラン、戰爭ハ歐羅巴ト他ノ諸大陸間ノ外國貿易ヲ制限シ其ノ方向ヲ轉セシメ依ツテ此ノ發達ヲ大ニ刺戟シタリ

一七、此ノ新事態ニ直面スルニ當リ歐羅巴ハ頗ル不利ノ條件ヲ附セラレ居レリ、其ノ一時的困難ニ付テハ既ニ述ヘタリ、他ニ諸國ノ國內經濟ニ大ナリ小ナリ影響ヲ及ホス困難アリ、通貨ノ混亂ハ殆一切ノ國ニ於テ各種生業ニ於ケル賃金、各種商品ノ價格及賃金ト物價トノ關係ノ不平衡ヲ來シ同時ニ是等事態ノ調整ハ勞働爭議ヲ時ニ依リテハ社會的大變化ヲ招來シタリ、是等ノ事項ハ會議ノ範圍外ニアリト雖モ現今ノ經濟界ノ混亂ノ原因ヲ説明セントスルニ當リテハ看過スルヲ得サルナリ

一八、尙歐羅巴ハ國際的問題ニ依リテモ不利ノ條件ヲ附セラル、其ノ經濟的地位ヲ回復セントスル努力ハ產業ノ合理化及諸國ノ經濟的努力ノ調整ヲ必要トスルモノナリ、今日歐羅巴カノ經濟的單位トシテ組織セラルルノ可能性ハ戰前ヨリ少キコトヲ認メサルヘカラス、之一面、戰爭ノ自然ノ結果ニシテ今日ニ至ツテ漸ク消滅シツツアル過度ノ經濟的國家主義ニ基キ他面、或ル種ノ國境變更ノ經濟的結果ニ基クモノナリ、此ノ國家主義及國境ノ變更ハ其ノ結果產業計畫ノ重複ト歐羅巴諸國間ニ於ケル勞働分配主義適用ノ失敗ト爲リテ現レタリ、新歐羅巴ヲ構成スル多數國間ノ通商ノ常規的運行ハ甚タシク阻止セラレタリ、戰前ノ市場ニシテ今ハ喪失セラレタルモノアリ且到ル所新ナル捌口ヲ求ムルヲ必要トシタリ

其ノ他大陸トノ通商關係ニ於テモ其ノ内部的通商關係ニ於テモ歐羅巴ハ現狀ノ下ニ於テ今日以上ノ通商貿易ノ自由ヲ必要トス、現狀ニ於テハ此ノ自由ハ今尙實際上戰前ヨリ小ナリト云フヘキカ如シ

一九、會議ノ書類ハ世界ノ關稅狀態ヲ示シ居レリ、戰爭直後課セラレ其後大部分除去セラレタル極端ナル障礙ニ付テハ前ニ述フル所アリタリ、然レトモ今日歐羅巴ハ依然トシテ千九百十三年ヨリモ高率、ヨリ復雜、ヨリ不安定、ヨリ多數ナル關稅率ヲ有ス、加之歐羅巴ハ通商條約ノ舊型ヲ恢復スルニ成功セス交渉開始前ニ掛引ノ爲ニ立案セラレタル關稅率ヲ實施スルノ慣習ヲ發達セシメタリ、若シ屢々發生シタル如ク是等ノ關稅率ニ付何等カノ協定ヲ遂クルコト能ハサル場合ニハ關稅障壁ハ以前ヨリモ高キ儘殘サルナラン、最近三年間ノ傾向ハ關稅率ノ増加ノ趨勢ヲ示シ且引上ケラレタル稅率ハ締結セラレタル通商條約ニ依リ平均セラレサリキ

二〇、之會議カ討議スルコトヲ要求セラレ且之ニ對シ各種委員會ノ報告書ニ含マルル勸告ヲ呈出セル事態ノ主要ナル特徵ナリ

第二、商 業

一 序 言

會議討議項目ノ定ムル商業ニ關スル「プログラム」ハ國際貿易ノ最重要ナル方面ニ關スル多數ノ問題ヲ包含ス

何レノ問題ニ付テモ會議ニ呈出セラレタル事實及證據ヨリ見テ各國ノ商業ハ今日他國ノ設定セル障壁ニ依リ妨害セラレ其ノ結果一般安全ニ甚タ不利ナル事態ヲ生シツアルコト（歐羅巴ニ於テ殊ニ然リ）明ナリ

問題ノ多岐ニ互リ、理論ノ相異シ討論參加國ノ適法ナル國家的感情アリシニ拘ラス一ノ重要ニシテ極メテ意ヲ強フスルニ足ル事實明ト爲リ而シテ其ノ後會議ノ事業ノ進行スルニ從ヒ其ノ事實ハ益々明白ト爲レリ、此ノ事實トハ本會議ヲシテ何等カノ方法ニ依リ新時代（此ノ時代ニ於テ國際貿易ハ不當ニ其ノ途上ニ横ハル一切ノ障礙ヲ打破シ同時ニ世界經濟ノ健康ノ兆ニシテ且文明發達ノ必要條件タル彼ノ一般向上的傾向ヲ再ヒ取ルヘシ）ヲ確然ト劃セシメントノ滿場一致ノ希望ナリ

トス、之ニ劣ラス重要ナル第二ノ事實ハ各國カ其ノ國家的經濟利益ノ爲ニ執リシ手段ノ間ニ發生スル相互的反動ナリトス、諸國ニ於ケル關稅保護率ヲ均等ニセントスル傾向、通商條約交渉中其ノ地位ヲ改善セントノ各國ノ希望、特ニ有害ナル關稅手段ニ對シ報復手段ヲ執ラントスル衝動、產出國ニ於テ制限セラレタル結果品不足ト爲リシ物品ヲ自國ノ消費ノ爲ニ留保セントスル傾向、運輸及信用ニ關スル競争ニ付衡平ナル條件ヲ保持セントスル焦慮、時アツテハ實例ノ單純ナル感染等總テ是等ノ事情ハ或ル一國カ執レル一切ノ經濟的手段ヲシテ殆ト必然的ニ他ノ總テノ國家ノ政策ニ反應セシメタリ

抑々嚴格ナル意義ニ於ケル國家主義的政策ハ唯ニ之レヲ行フ國民ニ有害ナルノミナラス尙其ノ他ノ國民ニモ有害ニシテ其ノ目的ヲ達スルコト能ハサルモノナリ、從テ會議ノ闡明シタル新心理狀態カ速ニ實際的效果ヲ齎スカ爲ニハ其ノ實行案ハ何レモ諸國民ノ平行的若ハ協調的行動ヲ要素トセサルヲ得ス、然ル時ハ各國ハ其ノ讓歩ヲ要求セラルル場合ニハ他ノ諸國ニ於テモ之ニ應スル犧

牲ヲ提供スルモノニシテ從ツテ其ノ間ノ衡平ノ保タルルコトヲ曉リ其ノ個人的立場ニ顧ミ且會議ノ立案セル一般計畫ノ成功ノ爲ニ提議セラレタル手段ヲ承諾スルコトヲ得ルナラン

勿論此ノ點ニ付テハ一切ノ誤解ヲ避クルヲヨシトス、假令協同行爲ハ必要缺クヘカラサルモノトスルモツハ不幸ニモ其ノ性質上弛緩ナリ、諸國ハ之ヲ理由トシテ各自ノ義務ト爲ルヘキ手段ノ實行ヲ延引スルノ口實ト爲スヘカラス、却テ斯クノ如キ手段コソ將來何時カハ其ノ效力ヲ完成スヘキ共同事業ノ最堅固ナル根底ヲ構成スルモノナリ

戰爭及其ノ結果ニ依リ爲替相場ヲ破壊セラレタル諸國ノ通貨ハ概ネ安定セラレタルヲ以テ常規的通商制度ヘ復歸スルカ爲ニ既ニ一歩ハ進メラレタリト云フヘケレトモ會議ハ爲替相場ノ安定カ國際貿易復興ノ主要條件ノ一ヲ構成スルコトヲ確信スルヲ以テ此ノ方面ニ今一段ノ進歩ヲ見ンコトヲ切望シテ已マス

以上述ヘタル所ハ吾人カ總テノ國民ノ心裡ニ感銘セシムルニ努メサルヘカラサル根本的思想ナリ

トス、此ノ思想ニシテ諸國民ノ心裡ニ感銘セラルル曉ニハ彼等ハ今後企圖セラルル事業ノ性質ヲ適當ニ教ヘラレ重要ナル國家の利益ノ尊敬セラルヘキコトヲ充分ニ保證セラルルトキハ其ノ政府ヲ助ケテ會議ノ決議ヲ直ニ實行セントスル政府ノ有意義ナル難事業ヲ助長スルナラン

二 通商ノ自由

通商ノ自由ナル一般項目ノ下ニ集メラレタル各種問題ヲ討議スルコトヲ要求セラレタル會議ハ以上述ヘ來リシ所ニ從ヒ輸出入禁止制度及時々國家企業ニ與ヘラルル特權ヲ排斥シ且外國人並ニ外國會社ノ商業上ノ活動ノ實施ニ關シ更ニ自由ナル政策ヲ採用センコトヲ勸告セリ

其ノ討議ノ結果タル提議ハ左ノ如シ

一、輸入及輸出ノ禁止及制限

會議ハ國際貿易ノ現實ノ自由ヘノ復歸カ世界繁榮ノ主要條件ノ一ナルコトヲ確信ス

戰後數年ノ經驗ハ輸出入ノ禁止並ニ之ヨリ生スル專斷的慣習及隱蔽セラレタル差別待遇カ物品

及資本ノ流通ノ途上ニ置カレタル一切ノ障壁ト共ニ常規的競争ヲ妨ケ或ル國ノ重要ナル供給品並ニ他ノ國ノ等シク重要ナル市場ヲ危殆ナラシメ生産、分配、消費ノ人工的組織ヲ招來シ爲ニ概歎スヘキ結果ヲ生セシメタルコトヲ明ニセリ、而モ經驗ニ徴スルニ是等ノ手段ハ豫期セラレタル財政的利益又ハ社會的利益ニ依リ前述ノ害惡ヲ補フコトヲ得サリキ

從テ世界通商ノ回復及其ノ將來ノ發達ノ爲ニハ諸國政府カ自國並ニ他國ノ利益ヲ害スル經濟政策ヲ拋棄スルコト肝要ナリ

若シ千九二十七年十一月十四日招集ノ外交家會議ノ結果トシテ諸國政府カ國際聯盟經濟委員會カ輸入及輸出ノ禁止及制限問題ニ付準備シタル草案ニ基ク條約ヲ採用シ尙右草案附屬説明書ニ列記セラレタル主義及本問題ニ關スル萬國商業會議所ノ提議ヲ考慮スルニ至ラハ此ノ方面ニ於テ一大進歩ヲ遂クルコト疑ナシト云フヘシ

然レトモ右條約ノ承諾ニシテ單ニ形式ニ留マリ又其ノ規定ニシテ輸出税、輸入許可量ノ制定、

不當ナル衛生規則ノ強行及其ノ他ノ手段ニ依リ無効ト爲サル場合ニハ此ノ目的ハ到達セラルルコトナカルヘシ

從テ會議ハ左ノ諸項ヲ勸告ス

(1) 國際聯盟經濟委員會ノ準備シ聯盟國及主タル非聯盟國ニ提出セラレタル輸入及輸出ノ禁止及制限廢止ニ關スル國際條約案カ其ノ説明書ト共ニ千九百二十七年十一月十四日招集ノ外交家會議ノ基礎トシテ極メテ満足スヘキモノナルコト及右條約案カ最大多數ノ國家ヲシテ協同行爲ニ依リ總テノ國ノ生産及貿易ノ回復及發達ニ好都合ナル事態ヲ招來スルヲ得シムヘキ一般協定ニ速カニ誘導スル爲ニ利用セラルヘキコト

(2) 尙右草案ニ定メラレタル原則ノ適用カ輸出税、輸入許可量ノ制定、衛生規則及其ノ他ノ手段ニシテ特殊若ハ緊急ノ事情ノ爲正當トセラレサルモノニ依リ間接ニ破ラレサルコト

(3) 尙是等ノ原則ノ適用カ資本流通ノ自由ニ對スル制限(例ヘハ輸入商品ノ代金支拂ノ爲ニス

ル外國爲替ノ購入若ハ輸出ヲ阻ムカ如キ爲替相場管理制度ヲ含ム)ニ依リ間接ニ破ラレサル

コト

二、國家企業ト個人企業トノ商業上ノ平等

會議ハ諸國政府中政府カ商業、工業、銀行業、海運業若ハ他ノ企業ノ管理若ハ支配ニ參加スルニ當リ其ノ主權ヲ理由トシテ是等企業ノ爲各種ノ特權、免除若ハ他ノ利益ヲ要求シ又時ニハ國際禮讓ヲ理由トシテ他國ヨリ同様ノ利益ノ許與ヲ確保シタルモノアルノ事實ヲ考究シタリ會議ハ是等ノ利益カ之ヲ享有スル企業ニ同種ノ個人企業ニ比シ不當ニ有利ナル地位ヲ與フルコトヲ確認スルヲ以テ右利益ハ相並ンテ營マルル企業ノ間ニ差別ヲ設クルモノニシテ自由競争ヲ毀損スルモノナルコトヲ宣言ス

從テ會議ハ左ノ事項ヲ勸告ス

政府カ何等カ商業、工業、銀行業、海運業若ハ他ノ企業ヲ營ミ若ハ管理スル場合ニハ政府ト

シテノ資格ニ於テ且此ノ種企業ニ參加スル限リ何等主權者トシテノ權利、特權、租稅若ハ同種ノ個人企業ノ負擔スル他ノ責任ノ免除ヲ享有スルヲ得ス、但シ本勸告ハ平時ニ於ケル普通商業上ノ企業ニノミ適用セラルルモノトス

三、國際貿易ニ關スル法令規則

會議ハ國際聯盟經濟委員會及萬國商業會議所ノ稅關手續ノ簡捷、手形法統一、商事仲裁ノ國際的發達及商業上ノ不正慣習ノ廢止ニ關スル事業カ繼續セラレテ速ニ一般的解決ヲ得ルコトノ重要ナルヲ認ムルモノナリ

從テ會議ハ左ノ事項ヲ勸告ス

速ニ一般的解決ヲ得ル爲ニ國際聯盟經濟委員會ハ稅關手續ノ簡捷、手形法統一、商事仲裁ノ國際的發達及商業上ノ不正慣習ノ廢止ノ目的ヲ以テ試ミラレタル調査ヲ繼續スヘキコト並ニ國際聯盟及諸國政府ハ是等ノ事項ニ關シ既ニ締結セラレ又ハ將來締結セラルルコトアルヘキ條

約ノ加盟國ヲ増加スル爲ニ必要ナル一切ノ手段ヲ取ルヘキコト

前記ノ勸告ニ關シ會議ハ個人ノ商事契約ニ於ケル仲裁條項ノ國際的承認ニ關スル千九百二十三年九月二十四日ノ議定書ノ效果ハ斯克ノ如キ仲裁判定ノ執行ヲ確保スル規定ヲ設ケサル限リ充分ニ實現セラレサルヘシトノ意見ヲ有ス

從テ會議ハ左ノ事項ヲ勸告ス

國際聯盟理事會ハ商事問題ニ關スル仲裁判定ノ執行ヲ規定スル議定書ニ署名セシムル爲速ニ之ヲ諸國ニ提出スル様手段ヲ講スヘシ

四、他國領域内ニ居住スルコトヲ許可セラレタル一國ノ人民及會社ノ經濟上及租稅上ノ取扱

一國ノ人民商會若ハ會社ニシテ他國ノ領域内ニ於テ其ノ商業、工業若ハ他ノ職業ニ從事スルコトヲ又ハ居住スルコトヲ許可セラレタルモノニ對スル法律上、行政上、租稅上及裁判上ノ保證ヲ與フルコトハ諸國民間ノ經濟的協力ノ必須條件ノ一ナリ

會議ハ國際聯盟及萬國商業會議所カ本問題ニ付既ニ成就シタル重要ナル事業ヲ認ムルト同時ニ其ノ結論カ國際聯盟ノ適當ノ機關ニ依リ外國人ノ地位ヲ決定シ外國人ト內國人トノ間ノ不正ナル差別ヲ廢止シ及二重課稅ヲ豫防スル最善ノ方法ヲ決定スル爲ノ外交家會議ニ附議スル目的ヲ以テ考慮並ニ整理ヲ加ヘラレンコトヲ望ム右會議ノ目的ハ國際協定ノ作成ニアリ然レトモ右外交家會議カ本問題ヲ全部的ニ解決スル以前ニ於テ衡平ナル相互主義ヲ規定シ且前記根本方針ヲ基礎トスル二國協定ハ現状ノ改善ニ資スルトコロ大ナルモノアルヘシ從テ會議ハ左ノ諸項ヲ勸告ス

イ、國際協定ノ締結ヲ見ルニ到ル迄國際聯盟經濟委員會及萬國商業會議所ノ既ニ成就シタル事業ヲ基礎トセル二國協定ヲ結ビ經濟的見地ノミナラス法律上及租稅上ノ見地ヨリ外國人ノ地位ヲ決定スヘキコト

ロ、同様ノ精神及同様ノ目的ヲ以テ國際聯盟理事會ハ國際協定作成ノ爲ニ外交家會議ノ會合ヲ

準備スヘキコト

ハ、會議ニ附議セラルヘキ是等ノ協定及條文ヲ起草スルニ當リ左ノ諸點ニ付特ニ留意スヘキコト

- A 居住、開業、移轉及往來ノ條件ニ關シ內國人民ト其ノ國ニ許容セラレタル外國人トノ間ノ待遇ノ衡平
- B 外國人及外國企業カ商業、産業及其ノ他一切ノ活動ヲ營ムノ條件
- C 右外國人及外國企業ノ法律上ノ地位
- D 右外國人及外國企業ノ租稅上ノ地位

三 關 稅

關稅問題ハ形式的見地ヨリ見ルカ實質的見地（輸入稅ノ現在ノ額ヨリ見ル）ヨリ見ルカニ從ヒ異ルニ面ヲ有ス、後者ハ通商條約問題ニ直接關聯シ居ルヲ以テ商業政策一般問題ト共ニ後ニ論スル

所アルヘシ

前者ニ付テハ會議ハ關稅率ヲ出來得ル限り簡單ナラシムルコト（殊ニ不當ノ細別ヲ避クルコトニ依リ）ノ有益ナルコトヲ認メタリ、尙會議ハ關稅ノ組織的分類法（本分類法ノ使用ハ各政府ノ個別的手段ニ依リ確保セラレ且二國間又ハ多數國間ノ協定ニ依リ規律セラルヘシ）ノ制定ヲ提議シ長期ノ通商條約ノ締結等ノ方法ニ依リ關稅率ヲ安定セシムルノ緊急事ナルコトヲ主張シ關稅ノ賦課ニ際シ最大ノ衡平ヲ確保スル爲ノ規定ヲ概括シ稅關手續ノ基礎タルヘキ原則ヲ定議シ最後ニ千九百十三年十二月三十一日附貿易統計ニ關スル國際事務局ノ設置ニ關スル協定ヲ出來得ル限り實施センコトヲ勸告セリ

一、關稅率ノ簡單化

會議ハ關稅項目ノ激増及各項目細別ノ過多カ多クノ場合ニ國際商業ノ發達ヲ甚シク阻害スルヲ以テ諸國ハ出來得ル限り此ノ慣習ヲ回避スヘク且諸國ハ右慣習カ會議ノ提唱スル分類法ノ制定

ヲ困難ナラシムルコトヲ考慮スヘキモノナリト思考ス

會議ハ商品ノ性質ニ關係ナク單ニ原產地ヲ異ニスル商品ノ間ニ差別ヲ設ケントスル關稅率細別ヲ避クルコトヲ最必要ナリト信ス

二、關稅分類法ノ統一

關稅ヲ納付スヘキ物品ノ分類法ヲ一定スルコトハ關稅適用ヲ衡平ナラシメ其ノ徵集ヲ平易ナラシムルニ缺クヘカラサルモノナルノミナラス尙無稅品ノ交易ニモ貢獻スル所アルヘク又貿易統計ノ改良ノ根底ヲ爲スモノナリ、總テノ國ノ關稅分類法カ出來得ル限り製造品ノ現在ノ型^{タイプ}及其ノ一般ニ通用スル商業上ノ名稱（必要ナル場合ニハ其ノ科學上ノ名稱ニ依リ追補スヘシ）ニ該當スルコトハ國際商業ニトリ最モ重要ナリ

關稅分類ハ出來得ル限り客觀的ノモノタルヘク差別ヲ設ケテ他國ノ利益ヲ害シ又ハ特別稅率ヲ設ケテ他國利益ヲ計ルコトアルヘカラス

製造ノ段階又ハ商品ノ各種ノ型^{タイプ}ニ基ク組織的分類法ノミカ經濟上若ハ租稅上ノ理論ニ完全ニ適合スルモノニシテ一國カ其ノ國民經濟ノ觀念ニ從ヒ或ル種ノ產品ニ與フヘキ保護ノ程度ヲ決定スル手段ハ分類法ニ非スシテ上記ノ各段階若ハ型^{タイプ}ニ附與セラルル關稅率ニ外ナラサルナリ從テ共通ノ分類法ノ採用ハ國際貿易ノ妨害ト爲ルコトアルヘキ紛爭問題ヲ除去スルニ寄與スル所大ナルモノアルヘシ

從ツテ會議ハ左ノ諸項ヲ勸告ス

イ、國際聯盟理事會ハ關係生産及ヒ商業團體ト協力シテ總テノ種類ノ物品ヲ包含スル一般計畫ニ準據スル組織的關稅分類法ヲ制定スルニ適當ナル手續ヲ起草スルコトヲ發議スヘキコト
ロ、各種物品ノ間ニ選擇ヲ爲シ又優先順序ヲ定メ最モ容易ニ共通分類法ヲ適用シ得ヘキ種類ノ物品ヨリ始メテ漸次ニ共通分類法ヲ完成スヘキコト

ハ、斯クノ如クシテ得タル共通分類法ハ其ノ作製ノ各段階ニ於テ之ヲ各國政府ニ呈出シ然ル後

關係生産及ヒ商業團體ニ之ヲ通知スヘキコト及ヒ右通知ニハ關稅分類及ヒ各項目ノ排列ノ基礎タル原則ノ説明ヲ附加スヘキコト

ニ、前項ニ規定スル調査及ヒ諮問ノ結果分類法全體ノ制定前生産ノ重要ナル部門ニ付共通ノ分類法ヲ採用スルコト可能ナリト思考セラルル場合ニハ右分類法ノ採用ヲ外交家會議若ハ他ノ方法ニ依リ各國政府ニ提議スベキコト

ホ、二國協定若ハ多國間ノ協定若ハ其ノ他ノ方法ニ依リ諸國政府カ右共通分類法ノ適用ヲ約シ其ノ商品ノ稅關通過ノ方法及ヒ關稅徵集ノ方法ヲ右共通分類法ト融和セシムルコト

ヘ、共通分類法ヲ採用シタル諸國政府ハ專斷的若ハ差別的分類ノ適用ニ依リ本共通分類法ノ價值ヲ害シ第三國ノ利益ヲ毀損セサルヘキコト

ト、前諸項ノ規定ニ拘ラス實際上諸國ハ其ノ關稅率ニ右共通分類法ノ總テノ細別ヲ採用スルノ義務ナキコト但シ其ノ使用スル項目ニ於テハ共通ニ決定セラレタル分類及種類ニ關スル諸原

則ニ從フヘキコト

チ、分類法ニ關シ諸國ノ爲シタル約束ノ實行ヲ確保スル爲國際聯盟ハ右約束ノ性質上採用シ得ヘキ公告、通知、調停若ハ仲裁手段ヲ提議スヘキコト

三、關稅率ノ安定

諸國間ノ恒久的通商關係ノ設立發達ヲ阻害スルコト最甚シキハ關稅率ノ不安定ナリ

此ノ不安定ノ主ナル原因ハ一面、關稅カ紙幣ヲ以テ支拂ハルル今日爲替相場ノ不安定ナルコト他面、諸國カ關稅自主權ヲ有スル結果通商條約ヲ締結セル諸國ニ對シテモ其ノ關稅ヲ變更シ得ルノ事實ニ存ス

從テ會議ハ左ノ諸項ヲ勸告ス

イ、關稅ヲ屢々又ハ突然變更スルトキハ通商關係ヲ不安定ナラシメ且既ニ取結ハレタル契約ノ實行ニ關シ重大ナル困難若ハ紛議ヲ發生セシムルヲ以テ諸國ハ其ノ關稅率ヲ屢々又ハ突然變

更スルコトヲ避クヘキコト

ロ、通貨ノ安定未タ充分ナラサル場合ニハ關稅ハ金貨本位ニテ之ヲ課スヘク又ハ關稅ノ負擔工合ヲ定期ニ公定物價指數ヲ基礎トシテ調整（本調整ハ豫メ定メラレタル日ニ且負擔工合ノ變更カ關稅ノ相當ノ「パーセンテージ」ヲ示ス場合ニノミ之ヲ行フヘシ）スヘキコト

ハ、通商條約ニ於テ關稅ノ固定ニ依リ又ハ通貨ノ安定不充分ニシテ關稅ノ固定其ノ物ヲ許ササル場合ニハ關稅ノ負擔工合ヲ調整スル何等カ他ノ方法ニ依リ與ヘラルル安定ノ保證ヲ出來得ル限り廣ク用フヘキコト

ニ、諸國ハ出來得ル限り長期通商條約ヲ締結スヘク且此ノ點ニ關シ戰前大多數ノ國ノ實行シタル政策ニ從フヘキコト

四、關稅ノ適用

國際經濟會議ハ從價稅ト從量稅トノ長短ニ關シ意見ヲ發表スルヲ好マサレトモ諸國カ一切ノ場

合ニ其ノ衡平ナル適用ヲ確保スルニ努ムヘキコトヲ希望シテ已マス

從價稅ノ場合ニハ原產國ニ於ケル市價ノ眞價若ハ水準又ハ輸入國ニ於ケル同様ノ產品ノ評價ニ關シ屢々紛爭ヲ生ス

從量稅ノ場合ニハ主タル困難ハ特定ノ物品ニ適用スヘキ關稅項目ノ不確定ニ基クモノトス

從テ會議ハ左ノ諸項ヲ勸告ス

イ、從價稅ノ適用若ハ稅率ノ變更ニ關スル調査研究ハ關係商業ノ利益及諸國民間ノ商業上ノ好意ノ維持ヲ充分尊重シテ組織管理セラルヘキコト、審問手續若ハ專斷的方法ヲ含ム調査若ハ審査ハ之ヲ避クヘキコト

ロ、諸國ハ關稅ノ適用ニ付テ紛爭アル場合ニ行政若ハ普通裁判所（輸入業者ハ裁判所ニ於テ審問セラレ又ハ證據提出若ハ必要ナル鑑定人ニ依ル鑑定ノ要求ニ依リ其ノ利益ヲ擁護スルコトヲ得）ニ對スル抗告ニ依ル衡平ナル手續ヲ規定スヘキコト

ハ、諸國ハ關稅法規及出來得ル限り通商條約中ノ明確ナル規定ニ依リテ通商ノ維持及發達ニ缺クヘカラサル安定ヲ設定センカ爲關稅適用上ノ困難ヲ制限スルニ努ムヘキコト

五、稅關手續

稅關手續簡捷ニ關スル國際條約ノ同様ノ規定ニ從ヒ會議ハ左ノ諸勸告ヲ提議セント欲ス

(1) 領事館手数料ハ收入ノ一財源タルヨリモ寧ロ全額一定シ且實費ヲ超過セサル課金タルヘキコト、專斷的又ハ不確定ノ領事館手数料ハ課金ノ増額（時ニ依リテハ豫期セラレサル）ヲ招クノミナラス通商上不當ノ不安定ヲ來スモノナリ

一般條約成立セサレハ諸國ハ此ノ點ニ關シ其ノ通商條約中ニ相互的保證ヲ規定センコトヲ望ム

(2) 會議ハ稅關手續簡捷ニ關スル國際條約第十四條ニ對スル附屬書ニ含マル諸勸告ニ對シ注意ヲ喚起シ輸入業者若ハ輸出業者カ稅關罰金ニ對シ特ニ明ニ筆ノ誤ナル場合ニ課セラルルコトアルヘキ罰金ニ對シ抗告ヲ爲スノ權利ヲ有スルコトヲ規定スル明白ナル保證ヲ加フルコト

ヲ勸告ス

八二

(3) 會議ハ千九百二十三年十一月三日壽府ニ於テ締結セラレ今ヤ二十五ヶ國間ニ有效ナル税關手續ノ簡捷ニ關スル條約ノ下ニ税關規則ノ既ニ爲シタル進歩ノ價值大ナルコトヲ認メ左ノ諸項ヲ勸告ス

(a) 未タ右條約ヲ批准セサル國又ハ其ノ規則ヲ右條約中ニ勸告セラレタル自由主義ト一致スル様調整シ居ラサル國ハ出來得ル限り速ニ之ヲ批准スヘキコト

(b) 締約國ハ右條約ノ規定ヲ出來得ル限り一般的ニ適用スヘキコト

左記ノ勸告ヲ會議ノ最終議定書ニ記入スヘキコト

(4) 「會議ハ經濟委員會カ虚偽ノ税關申告及積荷證書ノ使用廢止ヲ目的トスル提案ヲ有スル事實ヲ通知セラレタルカ同委員會ノ調査ノ結果ヲ豫想スルヲ好マサルヲ以テ會議ハ其ノ國際貿易ノ一切ノ不正慣習ニ反對ナルコトヲ明白ニセント欲ス」

六、貿易統計

會議ハ共通ノ分類法ヲ採用シテ統計ノ相互比較ヲ可能ナラシムルコトノ價值アルヲ知リ武府ニ貿易統計國際事務局ヲ設置セル千九百十三年十二月三十一日附條約ノ下ニ此ノ方面ニ多大ノ進歩ヲ見タルコトヲ認ムルモノナリ

會議ハ右條約ノ規定ニ基ク國際協力ハ會議カ先ニ勸告シタル共通ノ關稅分類法（尙本分類法ニシテ採用セララルル曉ニハ貿易統計ノ統一ニ好結果ヲ與フヘシ）ノ適用ヲ目的トスル國際約定ノ實現ヲ準備スルモノナリト信ス

從テ會議ハ左ノ諸項ヲ勸告ス

(1) 千九百十三年十二月三十一日附條約ニ署名シ未タ之ヲ批准セサル諸國ハ出來得ル限り速ニ之ヲ批准スヘク且之ニ署名セサル政府ハ之ニ加盟スヘキコト

(2) 締約國ハ武府事務局カ右條約ニ依リ其ノ出版ヲ委任セラレ居ル比較統計ノ編纂ニ必要ナル

八三

材料ヲ出來得ル限リ速ニ供給スヘキコト

四 商業政策及條約

商業政策ノ方面ニ於ケル會議ノ研究ノ主要ナル結論ハ關稅ノ增率ヲ停止シ左ノ三方法ニ依リ之カ增率ノ傾向ヲ逆轉セシムル時機既ニ到來セリト云フニアリ

(1) 各國ノ其ノ關稅率ニ關スル個別的行動

(2) 適當ナル通商條約ノ締結ニ依ル雙方的行動

(3) 過度ノ關稅率ニ依ル國際貿易ノ障礙ヲ除去若ハ低下シテ衡平ナル基礎ノ上ニ國際貿易ノ擴張ヲ獎勵スルコトヲ目的トスル調査ニ依ル協同行爲

輸入稅問題ニ附隨シテ時ニ附加セラルルコトアル租稅上ノ負擔(本附加ハ自國生產ニ對スル隱蔽セラレタル保護タルヘカラス)ノ問題アリ、之ト同シク會議ハ原料品及消耗品ノ流通ノ自由カ輸出稅ニ依リ不當ニ妨ケラレサルヘキコト及輸出稅ニ付其ノ國庫ノ必要ニ應スル爲ニ賦課セラルルト

例外的若ハ緊急ノ事態ニ應スル爲ニ賦課セラルルトヲ問ハス外國間ニ差別ノ設ケラレサルヘキコトヲ希望ス

最後ニ通商條約ハ最廣汎ニシテ最自由ナル形式ヲ有スル無條件最惠國條項ヲ規定スヘク且國際聯盟ニ對シ最惠國條項ニ關シ明白ナル一定不變ノ原則ヲ設定シ又通商條約ニ共通ノ規則ヲ挿入スルノ可能ナリヤ否ヤヲ考慮センコトヲ求ム

一、關 稅 率

關稅ノ現狀

會議ノ書類及代表者ノ陳述ハ世界カ戰爭ノ結果ヨリ回復スルコト不當ニ遲延シ且各國ノ外國貿易ハ程度ノ差コソアレ何レモ通商ニ對スル現存ノ障壁ニ惱マサレ居ルコトヲ明ニセリ

會議ハ戰爭直後盛ニ行ハレタル甚タ有害ナル障壁ノ中ニハ既ニ除去セラレタルモノアルコトヲ認ムルヲ喜フモノナリ、今日迄ニ實現セラレタル世界貿易ノ回復ハ一部其ノ功ニ歸セサルヘカラ

ス然ルニ近年増加ノ趨勢ヲ示シタル關稅率ハ現在ニ於テハ大部分戰前ヨリモ高ク遂ニ貿易ニ對スル主要ナル障壁ノ一ト爲ルニ至レリ、而シテ關稅率ノ増加ハ概ネ製造品ニ對スル關稅ニ付テ行ハレタリ

歐羅巴ニ於テハ本問題ハ多數ノ國境ヲ變更シ關稅單位ヲ二十箇ヨリ二十七箇（其ノ全部カ國民經濟ノ獨立ヲ獲得セント努メ關稅障壁ニ依リ之ヲ防禦シツツアリ）ニ増加シタル政治的變化ニ依リテ一層複雑ト爲レリ

加之多クノ場合は等關稅率ノ貿易ニ及ホス有害ナル影響ハ關稅率ノ不斷ノ變更ニ依リ益々激烈ト爲リ而モ諸國ハ此ノ狀態ヲ長期ノ條約ニ依リ改善スルヲ得サリキ

原 因

此ノ狀態ハ大部分戰爭ヨリ發生セル變態的事態ニ處セントスル希望ニ基クモノナリ例ヘハ多クノ關稅ハ通貨下落ノ國ヨリ流入スル物品ノ阻止策トシテ引上ケラレタリ、經驗ニ依ルニ如何ニ

速ニ關稅ニ操作ヲ施ストモ貨幣ノ不安定ヨリ來ル急速ノ變化ニ應スルニ足ラス、斯クノ如キ企ハ通商上ノ新困難ノ一因ニシテ夫レ自身亦不安定ノ一因タリ、尙貨幣ノ下落シツツアリシ諸國ニ於テモ下落ヲ停止セシムル爲輸入ヲ防ク目的ヲ以テ稅率ノ引上ヲ爲シタリ、最後ニ貨幣下落ノ後ニ其ノ價格ノ回復ヲ見タル場合紙幣ニテ支拂ヒ得ヘキ關稅ニシテ紙幣増發中引上ケラレタルモノカ貨幣ノ價格回復後之ニ應シテ引下ケラレサルコト往々ニシテ之アリタリ、是等ノ通貨不安定ノ狀態ハ大部分過去ノ事實ト爲リタレトモ之ニ應スル爲特ニ使用セラレタル關稅及他ノ手段ハ未タ全然消滅セリト云フヘカラス

歐羅巴及其ノ他ノ大陸ニ於ケル關稅ヲ現狀ニ導キタル第二ノ原因ハ諸國カ關稅ニ依リ既存ノ工業又ハ最近設立セラレタル工業ニ關稅上ノ保護ナクシテハ保有シ得サル規模ヲ維持セシメント欲シタルノ事實ナリ、是等ノ工業ハ戰爭中ノ變態的擴張ノ結果トシテ或ハ其ノ貧弱ナル資源ニ照シ正當トスヘカラサルカ如キ經濟的獨立ヲ得ントノ諸國ノ希望ノ結果トシテ或ハ捌口ヲ失ヒ

タル過剩勞力ニ仕事ヲ與ヘントノ諸國ノ希望ノ結果トシテ擴張セラレテ現在ノ規模ニ達シタルナリ

此ノ生産能力ノ増加ハ物質的必要ニ付テモ購買力ニ付テモ其ノ國ノ生産消化力ヲ超過スルコト屢々ニシテ其ノ結果トシテ不使用設備ハ生産費ヲ大ナラシメ（借用資本ヲ使用セル場合殊ニ然リ）又ハ設備全部ヲ利用シ且使用資本ニ或ル利潤ヲ與フル爲外國市場ニ眼ヲ轉シ國際競争ヲ激烈ナラシムルコト必要ト爲リタリ

工業能力過剩問題ヲ解決セントノ希望ハ概ネ關稅障壁（其ノ保護ノ下ニ投資セラレタル富ノ増加及國民勞働ノ充分ナル收益ヲ生セシムヘキ國民經濟ノ獨立ノ實現ヲ目的トス）ニ依リ內國生産ニ對シ內國市場ヲ留保セントノ計畫ニ誘導セリ、此ノ自給自足ヲ實現セントノ努力ハ國家ノ面積、天然資源、經濟的能力、地理的地位ヨリ見テ正當ナラサル限り其ノ成功ハ得テ望ムヘカラス、之ヲ達シ得ヘキ國ハ世界ニ極メテ少シ、一部ノミ使用セラルル設備ノ人工的增加ハ單ニ非經濟

的費用ノ多キ生産ヲ意味スルノミナラス既ニ減少セル世界ノ資本能力ノ浪費ナリ實ニ此ノ人工的增加ハ近年金利カ變態的ニ高率ヲ維持シタル諸因ノ一タリシナリ、不當ニ高率ナル關稅カ維持セラルル限り此ノ資本ノ不經濟ナル使用ハ繼續シ且健全ナル政策ヘノ復歸ヲ妨クル既得權ヲ増加スルモノナルコトヲ附言セサルヘカラス

尙高率ノ關稅ハ體制ノ如何ヲ問ハス多クノ場合少クトモ最初ハ通商條約交渉ノ掛引上賦課セラレタルカ其ノ後交渉ノ結果適當ノ變更ヲ加ヘラルルコトナカリシ爲關稅障壁ハ通商條約交渉以前ヨリモ高キ儘ニ殘サレ今日ニ至レルナリ、此ノ幣害ハ甚タシキハ通商條約交渉前ヨリ關稅戰爭ノ爲ノ高率ヲ施行スル戰後ノ慣習ノ爲近年益々激烈ト爲リ其ノ結果屢々既得權ハ其ノ間ニ成長シテ初メ豫想セシ稅率低減ヲ不可能ナラシメタリ

關稅率交渉ニ關スル議論ニ加フルニ豫算上ノ理由ヲ以テ高率ノ關稅賦課ヲ正當ナリト主張スルモノアリ、然レトモ一國豫算ノ衡平ニシテ高率ナル關稅ノ上ニ立ツモノトセハソハ甚タ危キ基

礎ノ上ニ立ツト云ハサルヘカラス、蓋シ高率ノ關稅ハ輸入減少ヲ來シ從テ關稅收入ノ減少ヲ意味スルモノナレハナリ、加之過度ノ關稅ニ依リ刺戟セラルル密輸入ハ其ノ結果國民ノ德性ヲ破壊スヘシ

戰後ノ關稅ノ過度ノ高率ヲ正當ナラシムル理由トシテ屢々國防ニ必要ナル産業保護ヲ持出シタルモノアレトモ此ノ議論ハ主義トシテハ價值アルニセヨ屢々經濟上ノ目的ヲ隱蔽スル爲ニ濫用セラレタルコトヲ否ムヘカラス

最後ニ過剩勞働力ヲ有スル或國ハ其ノ關稅保護ヲ人口論ヲ以テ辯護シタリ

戰後ノ過度ノ保護主義ヲ招キタル原因及思想ヲ列舉スルニ當リ國際經濟會議ハ保護主義及自由貿易主義ノ根本原則ヲ是非セントスルモノニ非サルコトヲ茲ニ附言スルモノナリ

商業政策論

諸國ヲシテ其ノ經濟生活並ニ其ノ國際經濟關係ニ均シク有害ナル立場ヲ採ルニ至ラシメタル思

想ニ對照シ此處ニ國際通商自由主義ヘノ復歸ヲ要求スル理由ヲ掲記スルノ必要アリ

世人ハ人工的工業（人工的刺戟ナクシテハ其ノ國ニ於テ繁榮セサルヘキモノ）ヲ刺戟セントスルハ自然的ニ其ノ國ニ最適合セル産業ノ發達ヲ妨クルモノナルコトヲ看過セリ、諸國ハ政治上若ハ他ノ理由ニ依リ自給自足ノ發達力其ノ安全ノ爲必要ナルコトヲ決定シテ可ナレトモ會議ハ此ノ事實カ多クノ場合物質的繁榮ヲ犠牲ニスルモノナルコトヲ指摘セサルヲ得ス、斯カル場合ニハ損失ハ消費者（保護産業ノ產品ニ對シ高價ヲ支拂ハサルヘカラス）及右政策ノ行ハレサル場合ニ更ニ多ク輸出セラルヘキ産業ニ從事セル者ノ負擔ニ歸スルナリ

歐羅巴ノ通商上ノ慣習ヲ分解スレハ過度ノ保護主義ヲ主張スル者ハ輸出ヲ増加スルヨリモ輸入ヲ妨クルカ常ニ有利ナリトノ謬論ヲ懷ケルモノナルコトヲ知ルヘク尙輸出ニシテ増加スレハ生産及國民收入ハ同様ニ増加スルモノナルコト、關稅率ノ爲ニ輸入減少スレハ物價ノ騰貴ハ輸出ノ可能性ノミナラス其ノ國ノ消費能力ヲモ減少スルモノナルコトヲ看取スヘシ、關稅ニ依リ拒

否セラルル輸入ノ一部ノミカ内國生産ニヨリ填補セラルルモノナリ、國家ノ生産及消費能力ヲ減退セシムル過度ノ保護主義ハ終局ニ於テ其ノ目的ヲ破ルモノト云ハサルヘカラス

場合ニ依リテハ過度ノ輸入税ハ内國ニ於テ甚シキ利益ヲ得シムル結果輸出ヲ非經濟的ニ刺戟シ爲ニ外國市場ニ於テ人工的ニ競争ヲ發生セシムルコトアリ、此ノ慣習ハ市場ノ混亂及諸國間ニ於ケル經濟的紛爭ヲ生セシムル最危險ナル原因ノ一ナリ

以上ハ或國ヲ貧乏ニシ又ハ其ノ經濟的復興ヲ妨害シタル主要ナル幻想及最危險ナル慣習ノ事例ナリ

會議ハ關稅障壁ノ除去若ハ其ノ實質的ノ減少ハ之ヲ急激ニ行フ時ハ經濟界ノ混亂ヲ伴フヘキヲ以テ諸國政府ハ既ニ過去ノ事實ト爲レル混亂ヲ對象トシテ課セラレタル關稅ヨリ初メ順次ニ是等ノ障壁ヲ除去若ハ減少セシムル案ヲ準備スヘキモノナリト思考ス

諸國ノ輿論カ歐羅巴ノ現行制度ノ結果ヲ諒解スルニ至ラハ諸國政府ハ直ニ前記ノ方策ノ實行ニ

着手スルヲ得ヘキナリ、然レトモ前記方策ニシテ諸國間ノ協同行爲ノ結果トシテ實行セラルルナラハ其ノ實行ハ頗ル促進セラルルトコロアラン

之會議カ其決議中ニ二國條約カ出來得ル限り其ノ主義ニ調和スル様努ムヘキコトノミナラス尙國際聯盟ノ經濟的團體ニ依リ關稅事項ニ關シテ聯盟國及非聯盟國カ採用シ得ヘキ共同手段及右諸國ノ到達シ得ヘキ相互協定ノ組織的研究ヲモ規定セン所以ナリトス、關稅率ニ關シ上ニ示シタル諸論點ハ特ニ工業及商業ノ見地ヨリ爲シタル研究ニ基クモノナルモ右ハ國及目的ニヨリ程度ノ差コソアレ農業ニモ亦適用シ得ルモノナリ

結 論

生産及商業ニ對スル有害ナル影響ハ多數國ニ於テ適用セラルル高率ニシテ且變轉極リナキ關稅率ニ由來スルノ事實ニ顧ミ

經濟狀態ノ實質的改善ハ國際通商ノ便ヲ増スニ依リ獲得セラルルヲ以テ

關稅率ハ各國ノ主權ノ範圍ニ屬セトモ純粹ニ國內的利益ニノミ關スル事項ニ非スシテ大ニ世界貿易ニ影響スルモノナル事實ニ顧ミ

戰爭後關稅增率及他ノ貿易障壁ヲ招致シタル原因ノ中或ルモノハ既ニ消滅シ他ハ今ヤ減少シツツアル事實ニ顧ミ

會議ハ關稅增率ヲ停止シ關稅低減ノ方向ニ進ムヘキ時機到來セルコトヲ宣言ス

會議ハ左ノ諸項ヲ勸告ス

(1) 諸國ハ戰爭ヨリ發生スル混亂ノ結果ヲ對象トシテ課セラレタルモノヨリ初メ、貿易ヲ甚シク妨害スル關稅障壁ヲ除去若ハ減セシムル爲直ニ手段ヲ執ルヘキコト

(2) 諸國ハ此處ニ述ヘタル目的ノ達成ヲ確實ナラシムヘキ主義及條件ヲ以テ通商條約ノ締結ニ着手スヘキコト

(3) 將來關稅戰爭用ノ關稅率若ハ國定稅率ニ依リテ交渉前ニ掛引上ノ目的ヲ以テ制定セラレタ

ル過度ノ關稅率ヲ實施スルノ慣習ヲ放棄スヘキコト

(4) 國國際聯盟理事會ハ其ノ經濟的團體ニ命シテ會議ノ闡明シタル諸原則ニ基キ過度ノ關稅率カ國際貿易ニ及ホス障壁ヲ除去若ハ減少セシムルコトニ依リ通商ノ衡平待遇ヲ增進スル目的ヲ以テスル各國ノ前三項以上ノ行動ノ可能ナリヤ否ヤヲ調査セシムヘキコト

右調査ニ當リ經濟的團體ハ非聯盟國ヲ含ム各國政府ノ代表者ト諮リ且必要ナル限り商業、工業、農業及勞働ヲ代表スル團體ト諮ルヘキコト

右調査ノ目的ハ生産者及勞働者ノ正當ナル利益獲得及消費者ノ其ノ消費能力増加ニ關スル正當ナル利益ニ適當ノ注意ヲ拂ヒツツ衡平ナル基礎ノ上ニ國際貿易ノ擴張ヲ計ルニアルヘキコト

二、輸入品ニ課セララルル財政上ノ負擔

會議ハ輸入品ニ內國消費稅、入市稅、流通稅、操作稅（―同種ノ內國產品ニ對シテハ全然課セラレサルカ又ハ同程度ニ課セラレサル―）ヲ課スルコト盛ニ行ハレツツアルコトヲ遺憾トス

會議ノ意見ニ依レハ諸國カ外國產品ニ對シ同一又ハ類似ノ內國產品ニ對スルヨリ重ク課税シテ國際貿易ニ上述ノ如キ障壁ヲ設クルハ正當ナラサルナリ

物品カ無税ニテ適法ニ輸入セラレタル場合又ハ物品カ關税及附屬税關負擔ヲ納入シタル場合ニハ是等物品ハ適法ニ國產品化セラレタルモノト看做サルヘク其ノ輸入後ハ內國產品ト同一ノ待遇ヲ要求スルノ權利アルヘキモノトス

從テ會議ハ上記ノ慣習ニ關シ左ノ勸告ヲ爲サント欲ス

- (1) 消費、入市、流通、操作ニ關スル內國課税ハ同一方法又同一程度ニ一切ノ外國產品竝ニ同一又類似ノ內國產品ニ適用セラルヘキコト

- (2) 諸國ハ國產品ニ隱蔽セラレタル保護ヲ與フル爲消費税其ノ他ノ內國税ヲ課スヘカラサルコト

三、輸 出 税

會議ハ原料品流通ノ自由ハ世界商工業ノ健全ナル發達ノ主要條件ノ一ヲ爲スモノナリト思考ス從テ原料品若ハ生産者ノ消費スル物品ニ對スル輸出税ハ外國ニ於ケル生産費又ハ生活費ヲ増加シ以テ世界ノ富ノ地理的分配ヨリ來ル自然的不公平ヲ強ムル傾向ヲ有スルカ如シ故ニ輸出税ハ收入ノ緊急必要若ハ例外的經濟狀態ニ應スル爲又ハ國家ノ生死ニ係ル利益ヲ確保スル爲ニノミ之ヲ用ユヘク且諸外國ノ間ニ差別ヲ設クヘカラサルモノナリ從テ會議ハ左ノ諸項ヲ勸告ス

- (1) 原料品ノ輸出ハ輸出税若ハ其ノ他ノ租税ニ依リ不當ナル負擔ヲ負ハサルルコトナク右課税カ國庫上ノ必要又ハ例外的若ハ緊急ナル事態ニ顧ミ正當ナル場合ニモ出來得ル限り低廉ナルヘキコト

- (2) 何レノ場合ニモ原料品ニ對スル輸出税ハ右原料ヲ使用スル外國ノ負擔ヲ増加シ精製品ノ生産ニ關シ不當ニ劣等ノ地位ニ置カンコトヲ特ニ目的トシテ之ヲ課スヘカラサルコト

- (3) 原料品ニ對スル輸出税ハ收入増加ノ爲ニ課セラルルト例外的若ハ緊急ナル事態ニ應スル爲ニ課セラルルトヲ問ハス外國間ニ差別ヲ設クヘカラサルコト
- (4) 上記ノ原則ハ消耗品ニ對スル輸出税ニモ之ヲ適用スルコト

四、通商條約

關稅問題ハ如何ニ重大ナリトハ云ヘ諸國間ノ通商關係ノ一部ニ過キス衡平ナル基礎ノ上ニ自由ナル發達ヲ遂クルニ必要ナル保證ヲ國際商業ニ對シテ與フル爲ニハ諸國カ長期ノ通商條約ヲ締結シ關稅及通商條件ニ關シ公正且衡平ナル待遇ヲ保證スルコトヲ必要トス、此ノ點ニ關シ大戰ハ平易且有效ナル國際關係ヲ營テ保證シ居タル通商條約制度ヲ破壞シテ慨歎スヘキ結果ヲ招致シタリ

戰後ノ制度ハ最初ハ平和條約又ハ極メテ短期ノ二國條約ニ基礎ヲ有シタリ

加之通貨ノ激落、生産條件ノ差異、物價ノ混亂ハ諸國ヲシテ最惠國條項主義ヲ放棄シ又ハ其ノ

適用ニ過多ノ制限若ハ條件ヲ附シ又ハ其ノ適用ヲ物品ノ種類若ハ輸入許可量ニ限定セシムルニ至レリ、今日通貨ハ益々安定シ經濟界ハ益々常態ニ復歸シツツアリテ總テ國ハ安定ヲ望ムコト愈々深ク差別ヲ忌ムコト愈々甚シ、衡平待遇ヲ保證スル長期條約ノ制度ニシテ採用セラルルナラハ世界ノ復興ハ一大飛躍ヲ遂クヘシ

此ノ爲ニハ最惠國條項ニ最廣ク且自由ナル解釋ヲ與フルコト希望ニ堪ヘサル所ナリ、右ハ各條約ニ地方的需要ニ應スル爲特別規定ヲ挿入スルト（是等ノ特別規定ハ明白ニ規定セラレ別國ノ利益ヲ害セサルコトヲ要ス）兩立シ難キモノニ非ス

尙斯クノ如キ通商條約ノ締結ハ條約ノ根本觀念ノ相違ニ依リ困難ト爲リ居ルコト否定スヘカラス、國ニ依リテハ關稅率及條約締結法トヲ相互依屬スルモノト思考シタル爲ニ不當ニ高キ稅率ハ條約締結ニ反動シ反對ニ條約締結ハ稅率ヲ更ニ上騰セシメタルコトアリキ

會議ハ是等ノ事實ハ諸國政府カ出來得ル限り廣汎ニシテ永久的ノ條約ヲ締結スル爲及條約締結

方法其ノモノヲ改善シ其ノ標準ヲ一致セシムル爲直ニ行動スルコトヲ必要ナラシムルモノナリト思考ス

(1) 從テ會議ハ諸國政府カ關稅及通商條件ニ關シ無條件最惠國待遇ヲ相互ニ許與スルコトハ諸國間ノ通商ノ自由、健全ナル發達ノ必要條件ノ一ナルコト及貿易ノ安定及安全ノ爲ニ右待遇カ通商條約ニ依リ充分ナル期間保證サルヘキモノナルコトヲ確信ス

(2) 各國ハ如何ナル場合ニ且如何ナル程度迄右根本的ノ保證カ各條約ニ規定セラルヘキカラ決定スヘキコトヲ認ムルト共ニ會議ハ最惠國條項ノ範圍及形式カ最廣ク最自由ナルヘキコト及明文規定又ハ解釋ニ依リ右條項ノ弱メラレ又ハ狹メラレサルコトヲ勸告シテ已マス

(3) 會議ハ國際聯盟理事會カ經濟的團體ヲシテ前記勸告ニ規定セラルル調査ニ關シテ必要ナル一切ノ議論、諮問及調査ヲ行ハシメ歐羅巴諸國ニ於テ同一ノ關稅制度又ハ少クトモ通商條約ノ共通ノ基礎竝ニ關稅及他ノ課金ニ關スル最惠國條項ノ解釋及範圍ニ關スル明確不變ノ原則

ノ總テノ國ニ對スル設定ヲ保證スルニ最適スル手段ヲ提議セシメンコトヲ勸告ス

(4) 然レトモ是等ノ勸告中ニ豫想セラレタルカ如ク現ニ議論、諮問又ハ調査中ノモノアルノ事實ハ現ニ進行中ノ通商交渉ヲ後ラシ或ハ諸國カスカル交渉ヲ開始スルコトヲ思ヒ止マラシムルコトアルヘカラス

尙會議ハ通商條約ノ規定ニ充分ノ效果ヲ與フル最善ノ方法如何ヲ考慮シタルカ大體締約國ノ其ノ約束ヲ遵守セントノ善意ハ信賴シ得ヘキモノナルト共ニ適宜ノ仲裁若ハ司法手續ニ訴フルノ可能性ハ屢々解釋若ハ適用上ノ困難ヲ回避若ハ解決スルノ方法ヲ給スルモノナルコトヲ明ニセリ

從ツテ會議ハ左ノ事項ヲ勸告ス

(5) 諸國ハ其ノ通商條約中ニ條約ノ解釋若ハ實施ニ關スル紛爭問題ヲ仲裁若ハ特ニ常設國際司法裁判所ニ附託スヘキコトヲ規定スルノ可否ヲ考慮スヘキコト

此ノ關係ニ於テハ會議ハ現在ノ裁判所規程カ一切ノ事項ニ關シ調査ヲ爲シ若ハ專問的意見ヲ與フル爲裁判所ニ専門家又ハ専門家團體ヲ任命スルコトヲ得シムルノ事實ヲ指摘セント欲ス、尙何時ニテモ裁判所規程變更ノ問題ト爲ル場合ニハ裁判所ヲシテ通商上ノ問題ノ取扱ニ關スル特別部若ハ特別手續ヲ設定スルヲ得シムル爲其ノ機ヲ利用スルヲ得ヘシトノ提議アリタリ、會議ハ右提議ニ付テ可否ヲ明ニスルハ其ノ權限ニ屬セサルカ如ク感スルモ之ヲ國際聯盟理事會ニ移シテ其ノ考慮ヲ求メント欲ス

五 自國貿易及自國航海保護ノ間接手段

本項目ノ下ニ現ハルル問題ハ貿易ノ發達ニ付テ輸出入禁止又ハ關稅問題ノ如ク直接影響スル所ナケレトモ可成重要ニシテ其ノ會議ノ希望通り解決セラルルトキハ他方面ニ於ケル努力ヲ援助スルコト甚タ大ナルモノアルヘシ

會議ハ本項目研究中通商ニ對スル直接間接ノ補助問題、「ダンピング」問題及反「ダンピング」立

法問題ニ逢著セサルヲ得サリキ、然レトモ此ノ點ニ關シ極メテ多種多樣ノ意見ニ接シ會議ハ斯ノ如キ慣習及手段ノ性質及其ノ不可避ノ結果ニ關シ輿論ヲ啓發スルコトノミヲ以テ満足セサルヲ得サリキ

一、直接間接ノ補助金

戰後數年間諸國ニ於テ行ハレタル關稅障壁ノ擴張ハ國家補助金ヲ下附スルノ傾向ヲ伴ヘリ、補助金下附ハ何レカト云フニ世界經濟ノ變態的狀態ニ顧ミテ內國產業及其ノ輸出貿易ヲ或ル期間援助スルコトヲ目的トセル資金許與又ハ損失保證ノ許與ニ依リ間接ニ行ハレタリ、補助金ハ或ル事情ノ下ニ在リテハ貿易ノ自由ヲ毀損スルコト關稅率ヨリモ少シト雖モ之ニ伴フ隱レタル危險ヲ看過スルヲ得ス、此ノ慣習ヲ行フ國多ケレハ多キ丈ケ他ノ諸國モ此ノ例ニ倣ハサルヲ得サルカ故ニ補助金ハ眞ニ外國貿易ノ常態復歸ノ障礙ヲ構成スルニ至ルナリ

會議ハ一種ノ姑息策ニ過キササル直接間接ノ補助金ノ眞ノ性質ニ付諸國政府ノ注意ヲ求メ且諸國

政府カ出來得ル限り此ノ手段ニ訴フルコトヲ回避セントヲ希望シテ己マス

二、「ダンピング」及反「ダンピング」立法

會議ハ「ダンピング」問題カ自由關稅政策ヲ採用スル諸國ニトリ時ニ重要ナルコトヲ認メ消費者ハ「ダンピング」ノ結果トシテ物價ニ關シ一時的ノ利益ヲ得ルモノナレトモ「ダンピング」カ生産及商業界ニ不安定ノ事態ヲ發生セシメ從テ低廉ナル輸入ヨリ來ル一時的利益ト比較ニ爲ラサル有害ナル影響ヲ及ホスコトアルノ事實ヲ指摘セント欲ス

右ノ議論ハ一國又ハ多數ノ國ニ於ケル有力ナル商會又ハ商業上ノ團體カ他國ノ類似ノ産業ヲ破壊シ以テ右他國ノ市場ニ於ケル價格ヲ引上クル爲ニ行フ「ダンピング」ニモ其ノ儘之ヲ適用スルヲ得ヘシ

「ダンピング」ハ之ヲ行フ國ニ高率ノ輸入税ノ存在スルニ依リ容易ナラシメラルコト及「ダンピング」ハ輸入國ニ於テ高率ノ防禦税ノ制定ヲ招致スルコト確實ナリ

從テ「ダンピング」ハ之ヲ最小限度迄少クセサルヘカラス、之カ爲ニハ手段ヲ盡シテ全世界ニ互リ生産及商業狀態ヲ安定セシメ且輸出國ノ關稅率ヲ低下セシメサルヘカラス、但シ會議ハ「ダンピング」ニ對シ防禦手段ヲ採ラサルヘカラサル輸入國カ豫想以上ノ影響ヲ有スル過度ノ、間接ノ、若ハ煩ハシキ手段ニ訴フルコトナカラシコトヲ勸告ス

三、運輸ノ條件ヨリ生スル差別

經濟會議ハ其ノ議題中ニ自國商業及自國航海ヲ保護スル間接ノ方法竝ニ特ニ運輸制度ニ依ル差別問題ノ調査ヲ有セル處運輸制度ニ依ル差別問題ニ付テハ運輸ニ關スル一般問題ハ之ヲ論セス運輸カ國際經濟生活ニ影響スル範圍内ニ於テノミ之ヲ論スヘキモノナリト思考ス

此ノ見地ヨリスルニ運輸業者ハ其ノ鐵道運輸、海上運輸、内水運輸、道路運輸若ハ航空運輸ノ何レニ關係スルヲ問ハス貿易ノ「サーヴァント」ニ過キサルモノナリ、彼等ハ交易ヲ創造セス、一般經濟狀態ニ影響セラルモノニシテ之ニ影響スルモノニ非ス、農業、工業、商業ノ繁榮ノミカ交易ヲ

供給シ運輸業者ヲシテ其ノ仕事ヨリ充分ノ利得ヲ收メ之カ代償トシテ最大限ノ勤勞ヲ提供セシムルモノナリ、同様ニ運輸ヲ苦シムル障礙ノ大部分ハ運輸制度其ノモノヨリ生スルニ非スシテ却テ運輸ハ行政上、警察上、財政上若ハ政治經濟上ノ理由ニ基ク種々ノ手續、遲滯若ハ警戒ニ影響セラルルモノナリ、從テ關係官廳カ是等ノ點ヲ輕視スレハ輕視スル丈ケ運輸ハ利益ヲ享クルモノナリ、運輸業者ニ要求シ得ルモノハ其ノ勤勞カ總テノ運輸ノ通路ニ於テ通商ノ要求ニ添ヒ國籍ノ差異ニ依リ不利ナル差別ヲ設ケスシテ提供セラルルコト及運輸制度カ國際貿易ニ障礙ヲ投スルカ如キモノニ非スシテ交通ノ自由ヲ增進スル性質ノモノタルヘキコトニ盡ク

經濟會議ハ諸國カ殊ニ國際聯盟ノ交通及通過ニ關スル機關ニ於テ運輸ノ常規的運轉ヲ混亂セシムル條件及差別ヲ除去スル爲ニ捧ケタル努力ヲ多トスルモノナリ

千九百二十一年「バルセロナ」會議ニ於テ締結セラレタル通過ノ自由及航行可能ノ國際水路ノ制度ニ關スル一般條約竝ニ千九百二十三年壽府會議ニ於テ締結セラレタル鐵道及港灣ノ國際制

度ニ關スル一般條約ノ主要ナル目的ハ實ニ此處ニ在リタリ、是等條約ノ規定カ各方面ヨリ忌憚ナク批評セラレ又諸國ノ主張ヲ全部ニ満足セシメ得サルモノナルコトハ蓋シ已ムヲ得サル次第ナリ、是等ノ條約ハ現状ノ儘ニテモ此ノ方面ニ一大進歩ヲ實現スルモノト云フヲ得ヘク彼等ニシテ出來得ル限り廣キ基礎ノ上ニ完全ニ且忠實ニ適用セラレンカ運輸ノ自由及國際衡平待遇ノ制度ヲ實際上可能ナル範圍ニ於テ設定スルニ相違ナカルヘシ

會議ノ意見ニ依レハ此處ニ前述諸條約ニ關スル會議ニ於テ討論セラレタル頗ル「デリケート」ナル議論（殊ニ沿岸貿易、鐵道賃金率等ニ關スル）ニ再ヒ觸ルルハ機ヲ得タルモノニ非ス、然レトモ前記諸條約ノ内容ヲ再ヒ審議スルハ好マシカラストハ云ヘ特ニ大多數ノ國ノ署名シタル千九百二十三年ノ條約ニ關シ批准及加盟ノ進捗極メテ遅タルモノアルノ事實ニ諸國ノ注意ヲ求メサルヲ得ス、國際貿易ノ見地ヨリスレハ若シ是等條約ニ署名シタル政府迄モ之ヲ速ニ批准セス又出來得ル限り多數ノ國家カ之ニ加盟スルコトナシトセハ之最遺憾トスヘキ所ナリ、多クノ

場合政府自身ハ其ノ批准ヲ促進シタレトモ是等ノ條約ノ適用及有效ナル批准ハ諸國ノ輿論カ此ノ事業ノ完成ヲ明白ニ希望スル場合ニノミ保證セラルヘキモノナリ、經濟會議ハ此ノ點ニ關シ關係國政府並ニ諸國ニ於ケル關係團體ニ對シテ此處ニ新タニ批准若ハ加盟ノ促進ヲ訴フルモノナリ、會議ハ之ニ依リ一ノ有用ナル役目ヲ果セルモノナルコトヲ信シテ疑ハス

千九百二十三年壽府ニ於テ締結セラレタル稅關手續簡捷ニ關スル條約ノ實施促進方ニ付テモ亦同シ、本條約ハ運輸ヲ助長スル爲ニ締結セラレタルモノニ非サルモ交通ノ自由ニ對シテハ頗ル大ナル影響ヲ及ホスヘキモノナリ、蓋シ稅關手續ノ一切ノ簡捷化ハ通商及運輸ニ有害ナル差別ノ行使セラルル範圍ヲ縮少スルモノナレハナリ

尤モ此ノ種一般條約ノ適用ハ實際上運輸方面ニ於テ國際貿易ニ對スル一切ノ差別及一切ノ障礙ヲ除去スルニハ不充分ナリ、之カ爲ニハ運輸ノ各部門ニ於テ且多數ノ特別問題ニ關シ各國ニ於ケル責任アル專門家間ノ直接不斷ノ協力ヲ必要トス、幸ニモ右協力ハ既ニ満足ニ行ハレツツア

リ、例ヘハ萬國商業會議所ハ運輸問題ニ關スル商業界ニ屬スル人士ヲ含ム國際鐵道協會ハ歐羅巴ノ鐵道官廳及亞細亞ノ鐵道官廳ノ或ルモノノ間ニ常ニ連絡ヲ保タシム、國際聯盟ノ交通及通過ニ關スル機關ハ其ノ專門的諮問委員會及鐵道、內水航行、港灣航行及道路運搬ニ依ル運輸ニ關スル諸委員會ヲ通シ各國ノ關係官廳間ノ協力ヲ維持ス、是等ノ團體ノ間ニハ密接ナル接觸保持セラレ尙歐羅巴國際河川委員會並ニ航海及航空ニ關スル企業ノ國際的大團體トモ密接ナル接觸保持セラレ

是等ノ諸團體カ既ニ成就シタル一切ノ事業又ハ今尙進行中ノ一切ノ事業（國際貿易ニ有害ナル障礙及差別的手段ノ撤廢ニトリ甚タ重要ナルモノナリ）ヲ此處ニ指示スルハ不可能ナレトモ吾人ハ車輛ノ運轉ヲ増進スル爲及國際鐵道貨金採用ニ關スル條約ノ交渉締結ヲ容易ニスル目的ヲ以テ鐵道用語ヲ統一スル爲ニ拂ハレタル努力ニ世人ノ注意ヲ引カサルヲ得ス、尙同様ニ各種ノ運輸方法間ノ最大限度ノ協力及諸國貨金ノ結合ノ發達ヲ確實ニセントノ計畫ハ進行中ナリ、河

川委員會カ國際大河川ニ於ケル國境通過ヲ容易ニシ且航行ノ自由及河港ノ利用ヲ害スル一切ノ手續ヲ簡捷ニスヘキ手段ヲ規定スルニ當リ其ノ双肩ニ落ツル大事業モ亦注目ニ價ヒスル所ナリ、最後ニ千九百二十七年八月壽府ニ集合シ前記ノ各種團體ノ代表者ノ參加スヘキ次回ノ交通及通過總會ハ必スヤ今進捗中ノ多數ノ調査ヲ整理スル最善ノ方法ヲ審議スル所アルヘシ、殊ニ同總會ハ前回ノ國際聯盟總會ノ發議ニ基キ且交通及通過ニ關スル專門的諮問委員會ノ作成シタル計畫ニ從ヒ歐羅巴諸國ノ關係官廳ト歐羅巴以外ノ國ノ關係官廳トノ間ニ現在缺ケ居ル協定ヲ設定スヘキ性質ヲ有スル交通及通過ニ關スル一般情報ノ組織的蒐集分配ニ關スル計畫ノ實行ヲ開始センコトヲ提議シ居レリ右ノ如クシテ蒐集、整理、發表セラルヘキ材料ニシテ特ニ運輸、各國ニ於ケル運輸ノ行政上法律上ノ待遇、建設中ノ又ハ既ニ建設セラレタル重要ナル建造物、交通ノ一般統計、運賃ノ主タル變更等ニ關スル公的性質ヲ有スル國際約定ニ關係スルモノハ運輸問題ニ關係ヲ有スル方面及商業ニ從事セル方面ヘ廣ク播布セラルルトキハ頗ル興味アルモノナルヘ

シ、加之國際聯盟ハ右材料ニ依リ運輸事項ニ付テ國際協力ヲ組織スルニ當リ實際上細目ヲ取扱ヒ前記條約ノ一般規定ノ許ス以上ニ明確ニ右條約所定ノ原則ノ實際的適用、此ノ適用擴張ノ可能性及國際運輸ノ遭遇スヘキ困難ヲ知ルヲ得ヘシ

勿論經濟會議ハ運輸問題ニ關スル各種ノ國際團體ニ代リテ右諸團體カ既ニ慎重審議セシ諸問題ヲ再ヒ審查スルコトヲ得ス、會議ハ右諸團體ノ努力ヲ感謝シ總テノ關係官憲カ國際貿易一般ノ利益ノ爲右諸團體ニ援助ヲ與ヘンコトヲ切望スルモノナリ

是等ノ理由ニ依リ

(1) 千九百二十一年「バルセロナ」會議ニ於テ締結セラレタル通過ノ自由及航行可能ナル國際水路ノ制度ニ關スル一般條約並ニ千九百二十三年壽府ニ於テ締結セラレタル鐵道ノ國際的制度及海港ノ國際的制度ニ關スル一般條約ハ本問題ノ複雑ナルコトヲ充分ニ考慮シ居ルコト並ニ是等諸條約ノ一般的適用ハ運輸ニ對シ自由並ニ衡平ヲ保證スヘキコトニ顧ミ

千九百二十三年壽府ニ於テ締結セラレタル關稅手續簡捷ニ關スル一般條約ハ運輸ノ自由ヲ助長スヘキコト確實ナルニ顧ミ

會議ハ左ノ諸項ヲ勸告ス

前記ノ一般諸條約ヲ未タ批准シ居ラサル諸國ハ出來得ル限り速ニ之ヲ批准スヘク且出來得ル限り多クノ諸國ハ之ニ加盟スヘキコト

- (2) 運輸問題ヲ永久的ニ研究スル國際諸團體即國際聯盟ノ交通及通過ニ關スル機關、萬國商業會議所、國際鐵道協會、歐羅巴國際河川委員會等ノ活動及協力ハ最善ノ結果ヲ齎スヘキニ依リ會議ハ左ノ勸告ヲ爲ス

既存ノ密接ナル協力ハ將來モ之ヲ繼續シ國際交通ノ惹起スル問題ノ諸相ヲ斟酌シ且是等ニ對シ提議セラルヘキ解決策ヲ整理スヘク並ニ總テノ關係官憲ハ右諸團體ノ努力ヲ支持スヘキコト

- (3) 會議ハ航海ニ關スル諸國船舶間ノ間接的差別ノ中ニハ海上安全ノ見地ヨリスル船舶ノ構造

及艤裝ニ關スル統一の規則ノ缺除ニ依リ助長セラルモノアルニ注意シ

海上ニ於ケル人命及財産ノ安全並ニ海上國際貿易ノ爲ニ船舶ノ構造及艤裝ヲ規律スル統一の規則カ安全ニ關スル限り國際約定中ニ規定セラレ且總テノ海事國カ相互ニ是等ノ規則ヲ承認スルコト望マシキヲ以テ

會議ハ

- (a) 此ノ點ニ關シ統一の國際規則ヲ制定スル爲現ニ手續中ナルノ事實ヲ此處ニ記錄シ
(b) 是等ノ規則ノ一般の採用ヲ見ルニ至ル迄海事國カ其ノ船舶内ニ於テ採ラルル安全手段ノ效力ヲ相互ニ認ムル協定ヲ結ハンコトヲ勸告ス

三、工業

一、工業情勢

世界經濟狀態ニ關スル一般の討論ノ場合ハ勿論特ニ工業ニ關シテ討議セル場合ニハ本會議ハ當然世界ノ基礎的工業ニ不利ナル影響ヲ及ホシ來レル主タル原因及其ノ救濟策トシテ提示シ得ヘキモノノ分析研究ニ最モ注意ヲ注キタリ

世界ノ或方面ニ於テ國際的ニ重要ナル主タル工業力遭遇シツツアル困難ハ主トシテ科學的發明又ハ原料ノ不足ニ起因スルモノニ非ス、現在經驗セル困難ハ或ル國ニ於テ充分ナル資本ヲ利用シ得サリシカ又ハ利用シ得ヘキ市場力現在ノ制限又ハ狀態ヲ以テシテハ多數ノ主要工業ノ生産力ニ釣合ハサルノ事實ヨリ生ス、斯ル不均衡ハ多數ノ原因ヨリ生シ且諸種ノ形式ニ於テ現ハル、或ハ工場及設備ノ分布當ヲ得サルモノアリ又大戰ニ參加セル諸國ニ於テハ多數工業ノ施設ハ軍事上ノ目的ノ爲平時ニ於テ必要ナル範圍以上ニ増加セラレ他ノ諸國ニ於テハ戰爭中輸入シ得サル物資ヲ製造スル爲新ナル施設ヲ爲セリ、多數國民ハ戰時中缺乏ヲ痛感セルカ爲自給自足ノ國タラムトスル希望ヲ増大セリ、加之大戰直後ニ於テ歐洲ハ一般ニ窮乏セル爲貯蓄ヲ減シ且需

要者ノ購買力ノ減退ト歐洲金融市場ヨリ財政的援助ヲ受ケ得ヘキ望ノ減少トハ相俟テ工業ヲ不利ノ地位ニ陷レタリ

其ノ他ノ原因ニ依リ生産的施設ハ其ノ分布ノ狀態ヲ新ニスルノ趨勢ヲ示セリ例ヘハ或ル發見アリタルカ爲原料ノ使用又ハ動力ノ源泉ノ利用ノ方面ニ於テ變化ヲ生シ工業中心地ノ移動ヲ來セルカ如シ

歐洲以外ノ部分的ニ工業化セル諸國ニ於ケル修善及仕上工業ノ正常ナル發達及歐洲内ノ人口激增セル諸國カ、増加シタル人ニ職業ヲ與ヘムカ爲メ其ノ工業設備ヲ擴張セムトスル努力モ亦同様ノ方向ニ進ミ來レリ

大戰ハ此等不安定ノ原因ノ及ホス影響ヲ間接ニ大ナラシメタリ、即チ各國民ヲシテ國產ノ原料ハ自國領域内ニ於テ之ヲ加工完成セムトスルノ希望ヲ強カラシメ又關稅又ハ禁止ニ依リテ物資ノ移動ニ對スル妨害竝ニ移民法、旅券規則及外國人ノ居住ニ關スル權利ニ對スル制限ニ依リテ

人ノ移動ニ對スル妨害ノ數及範圍ヲ増大セリ、尙最後ニ國境ノ變改、困難ナル國際關係ノ調整並ニ財政及金融狀態ノ不安定ノ結果經濟組織ノ構成ニ變化ヲ生シ爲ニ歐洲諸國民カ其ノ工業經濟生活ノ秩序ヲ回復セムトセル努力ハ一層阻止又ハ妨害セラレタリ

此等ノ原因中ニハ其ノ影響依然持續スルモ最早終止セルモノアリ、即チ施設過大ニ陷レル工業ニ於テ直ニ設備ヲ擴張スルノ危險ハ主要工業國ニ於テハ尠少トナリ貯蓄心ハ再ヒ生シ資本ノ供給モ着々増加シ來レリ、爲替ノ動搖ハ最早少數ノ通貨ニ限ラレ且其ノ範圍ハ從來ヨリモ著シク狹少トナレリ

其ノ他ノ原因ニシテ戰前ニ於テ顯著ナリシモノ（特ニ從來僅ニ部分的ニ工業化セル諸國ニ於ケル工業ノ發達）ハ永久的ノモノニシテ世界ノ新事態ニ於テハ極メテ小ナル範圍ニ於テノミ改進スルコトアルヘキモノト認ムルヲ要ス

然レトモ本會議カ其ノ議題中注意ヲ集中スルヲ要シタルハ第三部即チ其ノ性質上現狀ノ儘適宜

變改ヲ加ヘ得ルモノナリ、右ノ中最モ主要ナルハ人及物資ノ移動ニ對スル制限及管理ニシテ就中關稅及商業政策ヨリ生スルモノナリ、此種問題中ノ或モノハ商業委員會ニ附託セラレタルヲ以テ此上右ノ點ニ付縷述スルノ要ナシ、唯茲ニハ運送益々便利トナリ工業生産ニ要スル原料愈々増加シ來レルカ爲工業ノ自然ナル發達ハ國際交通ヲ頻繁ナラシメ國際企業ヲ擴張セシメツツアルコトヲ一言スレハ足ルヘシ

二、一般的考察

本報告ニ於テハ各種工業ノ狀態及困難ニ關シ會議ニ於テ多大ノ興味ヲ喚起セル資料ト同様ノ事項ニ付再ヒ言及セントスルモノニハ非サルモ本會議ノ討議ノ中心トナレル二三ノ主要問題ニ限リ之ニ觸レントス、本委員會ハ消費者及勞働者ノ利益ニ不利ナル影響ヲ及サシテ生産力ト需要トノ間ニ一層良好ナル均衡ヲ保タシムルノ目的ヲ以テ如何ニシテ生産費從テ價格ヲ低下シ得ヘキカヲ中心問題トセリ、本委員會カ此ノ目的ヲ念頭ニ置キ特ニ考慮シタルモノハ（一各方面

ニ於ケル合理化ノ問題及之ニ關聯シテ(二)國際工業協定及(三)工業狀態ニ關スル情報ノ蒐集及交換ナリ、尤モ委員會ハ主トシテ歐洲ノ狀態ニ注意ヲ傾注シタルカ蓋シ現在最モ困難ニシテ且最モ慎重ナル考慮ヲ要スルハ右狀態ナレハナリ、茲ニ問題トナレル事項及本會議ノ提出セル勸告ハ全然新ナルモノニハ非ス、現在必要トスル所ハ多年行ハレ來レル進化ノ道程ヲ促進スルニ在ルカ過去十年間ニ於ケル出來事ノ爲右ノ必要ハ益々切實トナリ此ノ目的ノ爲ニ本問題ヲ提唱シタル國際聯盟ノ權威ト經濟界ニ於ケル最著名ナル人々ノ援助ニ依リテ數ヶ月ニ互リ爲サレタル準備事業トハ本會議ノ興味アリ且充分ナル討議ト共ニ特ニ世上一般ノ注意ヲ惹キ新ナル力ト衝動トヲ與ヘタルコト言フ俟タス

三、合 理 化

右問題ノ第一ハ合理化問題ニシテ合理化トハ勞力又ハ材料ノ孰レニ付テモ其ノ浪費ヲ最小限度ニ止ムル爲案出セラレタル技術及組織ノ方法ヲ謂ヒ此ノ中ニハ勞働ノ科學的組織、材料及生產

品ノ標準統一、製造行程ノ單純化及運送並販賣ノ組織ノ改良ヲモ包含ス

本會議ハ全會一致ヲ以テ合理化及化學的經營ノ有益ナルヲ認メ此方面ニ於テ更ニ大規模、遠大ニシテ協調ナル努力ヲ爲スノ急務ナルヲ主張スルモノナリ

本會議ハ一方ニ於テ合理化カ生產費價格ノ低下並ニ販路擴張ニ付有利ナルヲ認ムルト共ニ他方之ヲ適用セハ或種類ノ勞働者ニトリテハ一時的ニ不利ナル結果ヲ生スルコトモ亦之ヲ看過スルモノニ非ス、而シテ勞働者ハ直接ニ且消費者トシテ相當ノ期間ヲ經過スル間ニハ一層良好ナル生産組織ノ利益ヲ享受スルニ至ルヘシト雖モ調節ノ行ハルル間ハ暫ク一時的失業ノ爲不利ナル影響ヲ蒙ルコトアルヘシ、故ニ左記決議ニ於テハ特ニ前記ノ如ク或ハ發生スルヤモ計ラレサル當然ナル不安ニ付考慮セリ

此ノ合理化問題ノ主要ナルニ顧ミ本會議ハ國際聯盟ノ經濟部カ特ニ本問題ニ關與セル團體ト連絡ヲ保チ工業狀態ニ關スル報告書中ニハ合理化ノ進展ニ關スル記述ヲ掲クルコトヲ希望スルモ

ノナリ

決議

本會議ハ生産ノ増加、労働状態ノ改善及生産費低下ノ主タル方法ノ一ハ生産及分配ノ合理的組織ニ在リト思考ス

本會議ハ如上ノ合理化ハ同時ニ左記各項ヲ目的トスルモノト思考ス

- (1) 最小限ノ労働ヲ以テ最大限ノ労働能率ヲ確保スルコト
- (2) 見本ノ種類(多數種類ノ見本カ何等利益ヲ齎ラササル場合)ヲ減少シ以テ基本部分ノ様式、製造、使用及取換ヲ便宜ナラシムルコト

- (3) 原料及動力ノ浪費ヲ避クルコト

- (4) 貨物ノ分配ヲ簡單ニスルコト

- (5) 貨物ヲ分配スル際不必要ナル運搬、過重ナル財政上ノ負擔及中間商人ノ無益ナル仲介ヲ

避クルコト

前記ノ方法ノ賢明不斷ノ適用ハ左記事項ヲ確保スルヲ目的トス

- (1) 社會ニ對シテハ生活状態ニ於ケル程度ノ向上及安定ノ増大
- (2) 消費者ニ對シテハ價格ノ低廉及一般ノ要求ニ一層適合セル貨財
- (3) 各種生産者ニ對シテハ更ニ大ニシテ且確實ナル報酬カ公平ニ割當ラルルコト

之カ適用ニ當リテハ引續キ合理化ノ行程ヲ進ムルト同時ニ労働者ノ正當ナル利益ヲ害セサル爲必要ナル注意ヲ拂フコトヲ要シ且右實現ノ第一階梯ニ於テ職業ヲ失ヒ又ハ一層勤勞ヲ要スルノ結果ヲ生セサル様適當ノ方法ヲ講スヘキモノナリ、尙嚴格ナル意味ニ於ケル労働ノ組織ニ關スル限り被傭者ノ協力並ニ労働及産業組合ト科學上及技術上ノ専門家トノ援助ヲ必要トス

仍テ本會議ハ政府、公共施設、労働及産業組合又ハ輿論ニ對シ場合ニ應シ左記事項ヲ勸告ス

(1) 生産者ヲシテ上記ノ方針ニ從ヒテ努力セシムル様指導スヘキコト特ニ

(イ) 合理化及科學的經營ノ最モ適當ナル方法及最モ實行のナル手續竝ニ之ニ依リテ得ヘキ經濟上及社會上ノ結果ヲ各方面ニ互リテ調査比較スルコトヲ獎勵助長スルコト

(ロ) 工業、農業、貿易及金融ニ於ケル此等ノ努力ヲ大企業ノミナラス中企業及小企業ニモ適用シ更ニ個人労働者及手工業者ニ迄モ適用スルコト尤モ此ノ場合家庭ノ組織及其ノ快樂ニ好結果ヲ及ホスコトヲ念頭ニ置クコト

(ハ) 個人ニ對シ最モ良ク、最モ健全ニシテ且最モ適當ナル職業ヲ與ヘルコトヲ確保スヘキ種類ノ方法即チ職業ノ選擇、指導及訓練、労働時間ト休業時間ノ適當ナル按配、生産ノ増加ニ對スル正當ナル分前ヲ労働者ニ與フル報酬ノ制度竝ニ一般ニ人格ノ發達及保持ニ好影響アル労働及生活ノ狀態ノ如キモノニ特ニ注意スヘキコト

(2) 純然タル國內のノ標準統一政策ハ生産及販賣ニ障礙ヲ生スルコトアルニ依リ右障礙ヲ除

去スル爲國際的性質ヲ有スル原料、各種部分品及製品ノ標準統一ハ國內のノミナラス國際的基礎ニ依リ系統的ニ之ヲ實行スヘキコト

(3) 或國ニ於ケル調査ノ結果ヲ利用シ且關係者間ノ情報交換ヲ獎勵シ以テ國際的ノ基礎ニ依リ諸國ニ於テ上記原則ヲ適用スルニ當リ執レル最モ適當ナル方法及之ニ依リ得タル最モ判然タル結果ノ調査ニ從事スヘキコト

(4) 合理化及科學的經營ニ伴フ利益及義務竝ニ漸次之ヲ達成スルノ可能ナルコトヲ各方面ニ於テ明確ニ理解セシムヘキコト

四、國際工業協定 (註)

(註) 米國代表ハ本問題ニ對シ反對ハセサルモ之ニ關スル投票ニ加ハルコトヲ得ストセリ

本會議ハ多大ノ興味ヲ以テ工業協定問題ヲ調査シタルカ本問題ハ最近著シク進展シ來リ世上此種協定ニ利害關係ヲ有スル方面及各國輿論ノ深甚ナル注意ヲ惹ケリ

本問題ニ關スル討議ノ結果意見ノ相違アルコト明トナリ各種利害關係者及各國ノ代表者中ニハ留保ヲ附スルモノアルニ至レリ、事情上記ノ如クナルニ依リ本會議ハ經濟上ノ必要ヨリ生スル前記協定ヲ以テ何等原則上可又ハ否ナリト結論スルヲ要スルカ如キモノト認メス、單ニ實際上ノ見地ヨリ一ノ事實トシテ容認シ且協定ノ内容及其ノ作用ヲ支配スル精神及特ニ協定ヲ運用スル者カ一般ノ利害ヲ顧慮スルノ程度如何ニ依リ可否何レトモ論シ得ヘキモノト認ム

本會議ハ國內的及國際的ノ工業協定運用ノ範圍ハ既ニ集中セル生産及大量生産品ニ限ラルルヲ常トシ從テ該協定ハ單獨ニテハ世界殊ニ歐洲ノ經濟生活上ノ障礙ノ原因ヲ除去シ得ヘキモノト看做スコトヲ得サルモノト認ム

* * *

尤モ工業協定ハ生産ノ或部門ニ於テハ（或種ノ條件及留保ノ下ニ）一方ニ於テ生産組織ノ秩序ヲ整ヘ現存設備ヲ巧ニ利用シテ生産費ヲ低減シ新施設ヲ更ニ適合セル方面ニ發達セシメ企業ノ

集合ヲ更ニ合理的ナラシメ得ルト共ニ他方ニ於テハ非經濟的競争ヲ阻止スルノ作用ヲ有シ且工業活動上ノ變動ヨリ生スル弊害ヲ減少シ得ルモノナリ

右ノ手段ニ依リ勞働者ニ對シテハ職業ノ安定ヲ保證シ得ヘク且同時ニ生産費及分配費從テ販賣價格ヲ低減シ以テ消費者ニ利益ヲ與フルコトヲ得ヘシ、上記ノ方法ニ依リ工業協定ハ或場合ニハ生産者ノミナラス消費者及社會一般ニ對シテ有益ナルコトアルハ一般ニ認メラル所ナリ然レトモ本會議ハ他方ニ於テ此種協定カ獨占的傾向及不健全ナル經營方法ノ實施ヲ助長スルコトアラハ却テ生産技術ノ進歩ヲ阻害シ社會ノ主要ナル方面及特定ノ國ノ正當ナル利益ヲ害スルニ至ルモノト認ム

從テ本會議ノ觀ル所ニ依レハ工業協定ハ價格ヲ人爲的ニ釣上ケ消費者ニ不利益ヲ蒙ラシムルカ如キコトナキコト及勞働者ノ利益ニ正當ナル考慮ヲ拂フヘキコトハ特ニ必要ナリ、尙該協定ハ其ノ目的又ハ結果ニ於テ特定國ニ對スル原料又ハ必需製品ノ供給ヲ制限シ或ハ何等正當ナル理

由ナクシテ消費國生産國又ハ同様ノ狀態ニ在ル他ノ諸國ノ仕上工業ノ間ニ不平等ノ狀態ヲ生セシムヘカラサルコトモ亦必要ナリ、又何レノ國ニ於テモ必要缺クヘカラサル經濟的設備ヲ縮少スルノ結果ヲ生シ又ハ之ヲ目的トセサルコトヲ要シ更ニ技術進步ノ見地又ハ經濟的發達及人口増加ニ基ク必要ニ應スル諸國間ノ工業分布ノ見地ノ何レヨリスルモ現在ノ生産狀態ヲ固定セシメサルヲ要ス

本會議ハ特別ノ裁判制度及協定監督機關ヲ設定スルヲ要スルヤ否ヤノ問題ヲ考慮セリ

準備委員會ニ於ケル研究ノ結果得タル資料ニ依レハ前記ノ如キ特別ノ立法及行政ノ方法ハ僅カニ少數ノ國家ノ採用セル所ニシテ該方法ハ其ノ趣旨及形式ニ於テ甚シキ相違アルコト判明セリ、本會議ハ一國ノ生産者ノミニ適用セラルル協定ニ關スル限り各國政府ニ於テ該協定ノ運用ニ付適當ト認ムル方法ヲ採用スヘキモノト認ム、尤モ工業協定ナルカ爲ニ國內法ニ依リ之カ偏頗ナル取扱ヲ爲シ協定ニ依ル利益ノ確保ヲ阻害スルカ如キハ望マシカラストスルニ一致セリ

國際協定ニ關スル限り國際裁判制度ノ設立ニ付テハ各國間ニ於テ必要ト認ムル手段ニ關シ意見ノ相違アリ且數國ハ國內的又ハ憲法上ノ理由ニ依リ主義上反對ヲ唱フルモノアルカ爲之カ實現ハ不可能ナリト一般ニ認メラル、尙國內的協定ノミナラス國際協定モ亦一國ノ領域内ニ於テ運用セラルル範圍内ニ於テハ當該國ノ法令及裁判所ノ支配ヲ受クヘキモノナルコトモ指摘セラレタリ

然レトモ他方ニ於テ協定加入者カ自發的ニ仲裁裁判機關ニ訴フルコト一般ニ行ハルルニ至ルハ望マシキコトニシテ唯右裁判機關ハ經濟的事項ヲ處理スルニ充分ナル能力ヲ有シ且ツ一般ノ利益ヲ念頭ニ置クヘキコトヲ保障セラルルヲ要ス

更ニ一般的立場ヨリスレハ本會議ハ國際聯盟カ此種工業上ノ國際的協力ノ形式及其ノ技術上ノ進步、生産ノ發達、勞働狀態、供給ニ關スル狀況竝ニ價格ノ變動ニ及ホス影響ヲ充分注視スヘク右ニ付テハ各國政府ノ協力ヲ求ムヘキモノト思考ス、又聯盟ハ時々一般ニ有益ナル情報ヲ公表

スル爲ニ關係資料ヲ蒐集スヘキモノナリ、本會議ノ意見ニ依レハ協定ノ性質及運用ニ關スル公表ハ一方ニ於テハ一般ノ利益ヲ助長スル協定ニ對シ輿論ノ支持ヲ得他方ニ於テハ弊害ノ發生ヲ防止スルノ最モ有效ナル方法ノ一ナリ

五、工業ニ關スル情報

以上論述シタル所ニ依リ本會議ハ工業ノ指導者及其ノ組織的發達ニ對シ責任ヲ有スル者ノ指針タルヘキ精神ニ特ニ重キヲ置ケルコト明トナルヘシ

生産ニ關スルの確、完全ニシテ且最新ノ報導ヲ供給スルハ此等ノ人々ノ職責ナル社會奉仕ノ觀念ヲ強カラシメサルヲ得ス同時ニ右報導ハ公衆ヲシテ充分知識モアリ且判斷ヲ誤ラサル輿論ヲ作ラシムルニ裨益スル所アルヘシ、又工業家カ其ノ從事セル工業ノ發達及一般工業活動上廣汎ナル變化ヲ充分且正確ニ知り得ルコトハ工業家自身ニトリテモ均シク必要ナリ

本會議ハ基礎的重要工業ニ關スル研究資料ヲ有シ之ニ依リ世界ニ於ケル工業ノ現狀ヲ正確ニ觀

察スルコトヲ得タリ、右資料ハ各國ノ工業團體カ進ムテ之ニ協力シ長期間苦心努力ノ結果漸ク作成スルコトヲ得タルモノニシテ右ハ有名ナル經濟學者ノ手ニ成レル専門事項ノ研究及本會議ノ委員カ本會議ニ提出セル各代表ノ地位及意見ヲ要約セル研究資料ト共ニ討議ニ附セラレタル問題ニ關スル決定的意見ヲ表示スルモノトハ解ス可カラサルモ將來モ行ハルコトヲ希望スル研究ノ出發點ト見ルヘキモノナリ、而シテ既ニ進捗スル研究ヲ獎勵シ出來得ル限り工業上ノ活動ニ關スル情報ノ作成方法ニ付共通ナル方針ノ採用ヲ勸メ各國ノ統計機關及聯盟ノ經濟部ヲシテ各國政府及専門家ノミナラス實業界ニトリテモ有益ナル統計資料ノ蒐集ニ一層專心從事セシムルコト肝要ナリ

本會議ニ於テハ蒐集セラルヘキ情報ハ各國特ニ第一ニ世界的ニ重要ナル諸國ノ主要工業ニ關スルモノヲ網羅スヘキ旨決議セラレタリ

如何ナル機關ヲ通シテ右統計ノ蒐集及通報ヲ爲スヘキヤニ付テハ本會議ハ各國政府ニ對シ特別

ノ勸告ヲ爲ササレトモ的確ニシテ且各國ヲ比較シ得ヘキ材料ハ關係工業ノ有力ナル機關ノ援助ナクシテハ之ヲ蒐集スルコト殆ント不可能ナリト思考ス、本會議ハ一方包括的情報ノ價值ヲ力説スルト共ニ個々ノ報告ノ祕密ヲ嚴守スルニ適當ナル方法ノ必要ナルコトニ注意セラレムコトヲ望ムモノナリ、最後ニ國際聯盟ヲシテ國際的統計ノ用語、範圍及作成方法統一ニ關スル國際協定ノ成立ヲ獎勵セシムルト共ニ本會議ハ右ノ統一事業ト關稅用語統一ノ目的ヲ以テ着手セラルヘキ同様ノ事業トヲ連繫セシメムコトヲ欲スルモノナリ

決 議

一、本會議ハ左ノ通思考ス

- (1) 原料ノ供給、生産額、仕入品、價格、賃銀、就業等ニ關スル一般的ニシテ正確且最新ノ情報ニ依リテノミ始メテ有效且適當ナル生産ヲ行フコトヲ得
- (2) 右最新ノ資料ニ依リ充分發達セル工業ヲ有スル各國ヲシテ自國工業ノ生産量額指數ヲ作成

シ得シムルコトヲ希望ス

- (3) 前記情報ハ需要ニ應シテ供給ヲ適當ニ調節シ且商業活動ノ消長ヨリ生スル影響ヲ緩和シ得ヘキ生産政策ノ設定ヲ容易ナラシムヘシ

右ニ關聯シ國際聯盟經濟委員會ノ採用シタル決議ニ注意スヘキモノトス
仍テ本會議ハ左ノ通勸告ス

- (1) 此種ノ統計ハ各國ニ於テ基本的ナル世界の工業及國內生産ノ量額指數ヲ作製シ得ル爲ニ各國ノ主要工業ニ付定期ニ之ヲ提出スヘキコト竝ニ右情報ハ出來得ル限り有力ナル團體ト協力シテ作成スヘキコト

- (2) 各國政府ハ定期ニ完全ナル工業現勢調査ヲ行フヘキコト

二、上記統計ノ實效ノ有無ハ各國ノ提出セル材料カ組織的ニシテ比較シ得ヘキカ否カニ依ル
本情報ハ適宜公表セラレ且國際的ニ調整及使用セラルルコトヲ希望ス

仍テ本會議ハ左ノ通勸告ス

- (1) 各國政府カ主要工業者ト協力シテ統計ノ用語、方法及範圍決定ニ關スル國際協定ヲ成立セシメ得ル様國際聯盟經濟部ニ於テ一切ノ適當ナル手段ヲ講スヘキコト
- (2) 國際聯盟經濟部ハ原料品ノ資源及其供給、生産、仕入品、價格其他ニ關シ又國際勞働局ハ賃銀、勞働時間、就業其他ニ關シ夫々供給セラレタル情報ヲ對照スヘキコト
- (3) 國際聯盟經濟部ハ左記ヲ作成スヘキコト
 - (イ) 基本的ナル世界の工業ヲ第一トシ生産ノ各部門ニ互ル組織的發達及一般的状态ニ關スル國際的ノ一般統計報告
 - (ロ) 或種ノ原料品ノ供給資源ニ關スル特殊ノ調査特ニ將來世界の缺乏ヲ豫想セラルモノニ關スル特種ノ調査
 - (ハ) 既ニ公刊セラレ居ルモノト同様ナル世界ノ生産及貿易ノ消長一覽表

第四、農 業

一 序 言

農業ハ全世界ヲ通シ大多數ノ勞働者ノ職業ナリ、諸種ノ農產物ハ其ノ價格ニ於テ人類勞働ノ大部分ヲ占メ、農產物ト工業生産品トノ交換ハ直ニ世界通商ノ基礎ヲ爲スモノナリ

農業者團體ハ工業ノ過度ノ發達ヨリ生スル迅速ナル人類ノ消耗ヨリ人類ヲ保護スルコトヲ得ヘキ力ノ貯藏所ナリ

農業ニ依リテ生産セラルル食料品及原料品ノ數量ハ工業發達ノ最大限度ヲ定ムル要素ナリ

各國間ノ相互依頼ノ關係ハ各種主要ナル職業即チ農業、工業、商業ノ間ニ於テ最モ密接ニシテ其ノ一カ他ノ職業ト關係ナク恒久ノ繁榮得ルコトハ望ミ得ヘカラサル所ナリ

農業ニ與ヘラレタル經濟上ノ職分ハ、世界カ食糧品及原料品ヲ仰キ居ル大多數ノ國ニ影響ヲ與ヘ

ツツアル一般的不景氣ノ爲メニ、現ニ其ノ完全ナル實現ヲ妨ケラレツツアリ

農業經濟不振ノ特質ハ農產物價格ト製造品價格ノ間ニ生シタル不均衡ニ在リ、不振ノ結果トシテ大多數ノ國ニ於ケル農業者カ其ノ勞働及資本ニ對スル充分ナル報酬ヲ得ルコト能ハサルニ至レハ、此ノ不景氣ハ、多數ノ國ニ於テ普通ノ條件ヲ以テ資金ノ融通ヲ受クルノ困難ト財政上ノ負擔ノ非常ナル増加トニ依リ此ノ不景氣ハ益々甚大トナリ、農業者購買力ノ減退ヲ招キ而モ消費者ハ之ニ依リ必スシモ常ニ食糧品價格ノ輕減ヲ得ルコト能ハサルヘシ

農業者購買力ノ減退ハ工業生産上ニ惡影響ヲ與ヘ、次テ失業ノ原因トナリ、此ノ失業ハ亦農產物ノ捌口ヲ減少ス

價格ノ均衡ヲ恢復スヘキ實際手段ヲ執ラサルニ於テハ早晚、農業生産ノ減少ヲ來シ人類ノ福祉ヲ害スルニ至ルノ惧アリ

而シ著シク農業生産ノ増進ニ資スヘキ專門的方法アルカ故ニ之ヲ實際ニ用フルコトヲ要スヘク之

ヲ一般的ニ採用スルニ至ラハ世界ノ繁榮及經濟の平和ノ爲ニ最モ喜フヘキ結果ヲ來スヘシ

二、一般決議

一、本會議ハ農業生産ヲ増加シ之カ爲ニ農業ヲ工業ト同等ノ地位ニ置キ以テ一切ノ農業勞働者ヲシテ満足ナル生活條件並其ノ勞働及資本ニ對スル普通ノ報酬ヲ得シムルコトハ最モ重要ナル經濟問題ナリト認ム

之カ爲ニハ農業ノ眞ノ地位ヲ解セス之ヲ以テ屢々第二位ノ産業ノ如ク思惟スル一般輿論ニ對シ右ノ事實ヲ確知セシムルコト必要ナルヘシ

二、農業經濟ヲ改善スルコトハ第一ニ農業者自身ノ任務ナリ、專門の改善方法、科學的組織、生産及動植物ノ病蟲害ノ防壓、農產物ノ販賣及標準化(生産者及消費者兩者ノ利益)ノ爲販路ノ擴張、信用及保險ノ科學的組織ヲ一般的ニ採用セハ生産者自身及消費者ノ利益ノ爲メ生産費ヲ減少シ得ヘシ

小農及中農ノ數頗ル多キニ鑑ミ（農業ニ於テハ工業ニ於ケル如ク企業集中ノ傾向ヲ見ス）既ニ多數ノ國ニ於テ見ルカ如ク農業組織ハ組合制度ノ方針ニ依ルヘク且農業者組合ト消費者組合トノ間ニ於ケル協定ヲ以テ之ヲ補足スルコトヲ要ス

各國政府ニ於テモ農業ヲ獎勵シ農業ノ地位改善ヲ目的トスル農業者團體ヲ助成スルコト有利ナリ、殊ニ相互信用ノ制度ヲ設ケ且之ヲ發達セシムルコトハ政府ノ援助ニ俟ツコト大ナリトス本會議ハ高率ナル金利及苛重ナル課稅カ生産ヲ害スル事實ニ關シ諸國政府ノ注意ヲ喚起セムトス

三、豫見シ得ヘキ他ノ方法ハ主トシテ立法行爲ニ在リ、特ニ工業者及使用者ニ對スルカ如ク労働者ノ福祉ト安全トヲ確保スル社會的の法令ヲ以テ農業者ヲモ敬ハサルヘカラス、唯農業者ノ場合ニ於テハ右法令ハ農業ノ特別ナル要求ト農業者特別ナル生活及労働條件ニ適合セシメサルヘカラサルノミ、右ノ他尙本會議ハ諸國政府及農業團體ニ於テ各種程度ノ農業教育竝ニ農業者ノ專

門的訓練ニ意ヲ注クコト必要ナリト思惟ス

四、農產物ノ自由ナル移動及其ノ賣買ニ對スル一切ノ障礙ヲ、諸國及其ノ労働者ノ重大ナル利益ヲ害セサル限度ニ於テ、除去スルコト必要ナリ

關稅上保護制度ヲ維持スル國ニ於テハ工業竝ニ農業兩者ノ爲生産ニ必要ナル最少限度迄右制度ヲ縮減セサルヘカラス、唯工業及農業間ノ正シキ均衡ヲ確保シ得ヘキ方法ヲ執リ一ノ利益ノ爲ニ他ヲ害セサルコトヲ要ス、輸出入ノ禁止及輸出稅（一定ノ産業ノ爲メニ徵收セラルル稅ヲ除ク）制度及關稅率ノ頻繁ナル變更（此ノ變更ハ永年ノ經驗ニ依レハ效果少ナク且危險ナリ）ハ決定的ニ之ヲ廢止セサルヘカラス

五、農業ニ付テハ投機ニ依リテノミナラス正規ノ價格ニ於テモ他ノ生産者ニ與ヘラレルト同等ノ正當ナル利益ヲ得ルコトヲ豫期セシメ以テ正當ナル報酬ヲ得シムル途ヲ講セサルヘカラス

六、最後ニ工業及商業ニ關スル政策カ農業經濟ニ影響ヲ及シ又農業上ノ政策カ商工業ニ影響ヲ及

ホス事實ニ鑑ミ現存ノ又ハ將來設立スヘキ經濟問題擔當ノ機關中ニ農業ノ社會的及經濟的任務ノ重要ノ程度如何ニ比例シテ其ノ利益ヲ代表スルモノヲモ參加セシムヘキコトヲ國際聯盟ニ要請ス

三 特 別 決 議

前記一般決議ノ外經濟會議ハ猶次ノ諸點ニ關シ國際聯盟ノ注意ヲ喚起ス

一、農業上ノ協力―生産者組合ト消費者組合トノ關係

(1) 諸國ノ農業者ハ其ノ生活條件ノ改善ニ努ムルト同時ニ組合員ノ職業上ノ需要、又ハ其ノ家庭ノ需要ノ爲ニスル購買組合、其ノ生産物ヲ規則正シク賣捌ク爲メノ販賣組合、生産及販賣ノ間ノ中間手續トシテノ準備及加工ノ組合、資金ヲ得ル爲メノ信用組合（農具及施設等ノ改良、耕作ノ改善、生産物ノ貯藏ノ爲メ）等有ユル協力方法ヲ用ヒテ其ノ一般的繁榮ニ努力シ居レリ

斯クノ如キ協力ノ制度ハ生産者及消費者トシテノ農業者ノ購賣力ヲ増加スルト共ニ生産力ノ増加ト生産數量ノ増進トニ依リ又生産物ト副産物ノ完全ナル利用ヲ可能ナラシメ以テ經濟上ノ進歩ニ資シ尙分配費ヲ最低限度ニ減少シテ市場組織ニ貢獻ス

(2) 農業組合ハ其ノ消費組合トノ關係益々密接トナルニ從ヒ經濟生活ノ合理化ニ資スル所アリ、生産者及消費者間竝ニ生産者組合及消費者組合間ノ直接ノ商業關係ハ無益ナル中間者ヲ驅逐シ其ノ直接ノ關係カ相當擴張セラルルニ從ヒ兩者ニ有利ナル價格ヲ生スルニ至ルヘシ、右直接關係ハ物質的利益ノ他精神的利益ヲモ伴ヒ生産者及消費者ハ直接ナル商業關係ニ依リテ相互ニ了解シ他方ノ特質及要求ヲ考慮スルニ至ルヘク生産者及消費者組合ハ其ノ共通ナル主義ニ從ヒ直接關係ノ價值アルヲ知ルニ至ルヘシ、取引上ニ於ケル相互ノ協力及信頼ノ可能ナルヲ明ニ認ムルトキハ農業及生産組合ト消費組合トノ間ニ於ケル直接商業關係上ノ問題ヲ實際的ニ解決―從來永年問、單ニ理論上ノ問題トシテノミ解決セラレタル―シ得ルニ至ルヘシ

實際上ノ效果ヲ收メムトセハ農業者側ニ於テハ一定ノ品質及統一シタル「タイプ」ヲ有スル品物ヲ生産シ、消費者組合側ニ於テハ農產物ヲ出來得ル限り農業上ノ生産組合ヨリ購買スルニ努ムルコトヲ要ス、又國家及官憲側ニ於テハ大學其ノ他ノ學校ニ講座ヲ設ケ組合運動ヲ科目トスル民衆講座ヲ設ケ組合ニ對シテ財政上差別的待遇ヲ爲ササル政策ニ依リ組合運動ヲ支持スル様努ムルコトヲ要ス

各國ノ生産者及消費者組合カ各國毎ニ既ニ經濟團體トシテ組織セラルルニ於テハ有效ナル協力(必要ニ應シテハ協同事業ノ形ヲ執リテ)ヲ實現スルコト益々容易トナルヘシ

協力ノ行ハルル一切ノ方面ニ於テ其ノ協力ノ規則正シキ發達ヲ期セムトセハ右協力ノ監理ニ關スル法律ヲ統一シ且右法律上出來得ル限り協力ヲ阻害セサルコトヲ要ス

(3) 一定ノ種類ノ生産物ニ關スル農業團體ニ於ケル國際的ノ協定ハ市場ノ基礎ヲ強固ニシ生産ヲ規則正シクシ且生産及消費ノ均衡上適當ナル價格ノ安定ヲ期スル上ニ於テ有效ナリトス、

此ノ國際協定ノ目的ヲ達スルカ爲ニハ平常取引ノ方法ヲ定メ且長期契約ヲ締結シテ國內消費團體ト國際消費團體トノ信賴的協力ヲ必要トス

(4) 此ノ農業者及消費者ノ努力ハ國內團體並ニ國際團體ノ代表者ヨリ成ル委員會ヲ設ケテ之ヲ獎勵シ且促進スルコトヲ要ス右委員會ノ任務ハ其ノ研究及資料蒐集ノ「プログラム」ヲ定メ又新ナル成果ヲ得ンカ爲過去ノ經驗ヲ利用スルニ在リ

二、農業金融

農業生産ノ増進ハ農業者ニ有利ナル條件ヲ以テ資本ヲ供シ得ヘキ農業金融制度ト密接ナル關係ヲ有ス

充分ナル農業資金ヲ有スル國モアレト又一般經濟狀態ニ依リ貯蓄減少シタルカ或ハ適當ナル制度ノ設ケナキカ爲充分ナル農業資金ナキモノ多シ

如斯資本ノ缺乏ハ農業者ヲシテ適當ナル設備ニ依リ又ハ運轉資金ヲ準備シテ收穫ヲ増加シ、其ノ土地ヲ充分ニ開發シ、生産費ヲ少クシ又農業不況ノ場合ニ備フルコトヲ不可能ナラシムルヲ以テ農業ニ頗ル害アリ

此等ノ困難ヲ除去スル第一條件ハ適當ナル金融制度ナキ國ニ於テハ之ヲ設ケ既ニ存在スル國ニ於テハ益々之ヲ發達セシムルニ在リ、右制度ノ最良ナルハ組合ヲ組織スルカ故ニ獲得シ且増加スルコトヲ得ヘキ（官憲ノ援助ヲ得又ハ得スシテ）資源ヲ以テ活動スル信用組合ナルヘシ右ノ外尙國內的若ハ國際的ノ信用ヲ得ル爲メ擔保トナルヘキ有效ナル保證ヲ最モ容易ニ集メ得ルハ是又國內團體ノ協力ニ俟ツモノナリ

本會議ニ於テハ農業信用ニ供シ得ヘキ資金ニ不足ナル場合ニ於テ之ヲ増加シ得ヘキ國際的組織ノ制定ニ關スル提案ヲ多數ノ委員ヨリ提出シタルモ右問題ニ關シテハ信用ハ有效ナル擔保ニ依リテ保證セラルルコトヲ要ストノ見地ニ立脚セル意見ヲ聽取シ又國際農事協會カ農業信用ニ關

スル特殊ノ資料ヲ蒐集シツツアルニ鑑ミ

國際聯盟ニ對シ資金ノ缺乏セル處ニ於テ農業ノ復興ヲ促進スル爲ニ從來ノ經驗上最モ便宜ト認メラル、方法ニ依リテ農業信用ニ關スル國際協力ヲ爲スコトカ可能ナリヤ否ヤヲ研究スル目的ヲ以テ國際農事協會ノ調書ヲ充分ニ研究セムコトヲ要請ス

三、動植物病害ノ防壓

動植物病害ハ農産ヲ減少スルカ故ニ國際的計畫及國際的協定ニ依ツテ科學的ニ之ヲ防壓セサルヘカラス、此ノ國際的防壓ノ主義ハ「國際家畜流行病事務局」ヲ設立セル四十三箇國ニ依リテ承認セラレ又國際農事協會ハ植物病理學ノ方面ニ於テ諸國ノ協同措置ヲ講スル爲特別會議ノ開催ヲ提唱セリ

衛生上ノ取締ニ關スル國際協定ニ關シ締約國ニ對シ適當ナル保證ヲ與フルニ於テハ動モスレハ衛生取締規則ニ蓋ハルル假裝的保護ノ疑ヲ除去シ生産促進ノ一條件タル通商關係ノ安定ニ資スヘシ

四、殖民地ニ於ケル農業

本會議ハ殖民地ノ土人ノ繁榮ヲ増進シ且一般ノ富ヲ増加スル爲殖民地殊ニ熱帶地方ノ殖民地ニ於ケル土民ノ農業ヲ獎勵スヘキ最良ナル方法ヲ研究セムコトヲ勸告ス

五、森 林 業

本會議ハ規則正シク工業上ノ需要ヲ充タス爲森林ノ資源及開發ニ關シ特別ナル研究ヲ爲サムコトヲ勸告ス

六、農業問題ニ關スル調書―統計―研究

(1) 農業問題審議ノ基礎ニ供シタル諸調書ハ其ノ價值大ナリシモ一切ノ問題ヲ完全ニ研究シ且其ノ解決策ヲ提議スルニハ充分ナラサリシコトヲ認メサルヘカラス、農業上最モ必要ナルハ世界經濟情勢ヲ精細ニ知悉スルニ在ル處之ヲ完全ニ知ルニハ農事報告ノ組織的解剖ニ俟タサルヘカラス、斯ル研究ハ農業ノ一般的進歩ヲ來スヘク諸國間ノ相互ノ了解ヲ容易ナラシメ各

國農業者ノ共同利益ハ之ニ依リテ正確ニ知ラルルニ至ルヘク、最後ニ生産者及消費者間ニ一層ヨキ了解ヲ得ルニ至ルヘシ

此ノ目的ヲ達スルカ爲ニハ各國ニ於テ農事報告ノ正確ナル制度ヲ定ムルコト必要ナリ、此ノ農事報告ハ各國ニ於テ成ルヘク簡明ニ作ラサルヘカラサルモ最モ正確ナル方法ニ依リ以テ氣候、地質、面積耕作方法、主要作物等ニ從テ分類シタル一國ノ各種農業ノ比較的調査(結果)ヲ爲シ將又生産及費用ニ關スル重要ナル要素(賃銀、化學肥料消費量、課税及社會的負擔、價格、農業者ノ負擔)ノ農業ノ純益ニ及ホス影響ヲ研究シ得ル様ニ作ラルルコトヲ要ス依テ適當ナル措置ヲ研究シ且之ヲ實行スヘキ専門委員會ノ設立ヲ勸告ス

(2) 本會議ハ週期的ノ農業統計特ニ家畜及動物ヨリ生スル生産物ニ關スル統計ノ完成ヲ必要ナリト認ム、國際農事協會ノ蒐集シタル資料ニ依レハ最近二十五年間ニ於テ三十七箇國(此ノ三十七箇國ハ地球面積ノ半ニ滿タス且世界人口ノ約三割ヲ代表スルノミ)カ農業上ノ調査ヲ

爲シタルニ過キス

國際農事協會ノ提議シタル方法ニ依リテ世界農業ノ調査ヲ爲ストキハ各國ノ統計資料ハ從來見タルコトナキ統一シタル形式ヲ備フルニ至ルヘシ

又農業者間ニ收穫、「ストック」、各種貨物ノ消費及移動等價格決定ノ要素ニ關スル情報ヲ速ニ供給スルノ措置ヲ國內的又ハ國際的ニ講スルコト必要ナルヘシ、農產物及工業生産物ノ價格ノ比較指數竝ニ農產物生産費ノ主要要素ノ指數ヲ毎月發表セハ最モ有益ナル資料ナルヘシ

(3) 本會議ハ農業ノ現状及其ノ發達ノ可能性、土地ノ割當(配分)及開發方法、農業生産ト工業生産トノ關係、農產物價格ト工業生産品價格トノ比較、生産費ト賣買價格、労働者ノ狀態及労働者ニ對シ其ノ土地取得ノ爲ニ與フル便宜等——之ヲ一言ニシテ云ヘハ其ノ研究力新ナル進歩ヲ齎ラシ得ヘキ農業ノ經濟的、社會的、財政的及技術的ノ條件ニ關スル一般的調査ヲ爲スヘキコトヲ各國政府ニ勸告ス

第五、一般決議

甲、世界ノ平和ニ影響スヘキ經濟上ノ諸傾向

本會議ハ

世界平和ノ維持ハ各國經濟政策ヲ定メ且之ヲ行フノ基礎タル主義ノ如何ニ依ルコト大ナルニ鑑ミ茲ニ代表者ヲ出セル各國政府及國民ニ對シ斷エス右ノ點ニ留意センコトヲ勸告シ平和的ニシテ且調和的ナル進歩ニ依リ得ル所大ナル世界ニ於テ不和ト誤解ノ原因トナル經濟上ノ困難ヲ除去シ得ヘキ原則ノ確立ヲ冀望ス

乙、輿論ノ啓發及教育

本會議ハ其ノ決議ニ述ヘタル原則ノ受諾及實行カ實際成果アルヤ否ヤハ各國政府及官憲ノ誠意ニ依ルノミナラス全世界ノ誤リナキ好意的輿論ニ依ルモノナルコトヲ認メ且此ノ目的ノ爲メ經濟上

其他ノ方面ニ於ケル學術又ハ教育機關ニ依ル密接ナル國際的協力ノ増進ト輿論ノ教育及啓發ノ爲ニスル新聞紙其ノ他ノ援助トヲ歡迎ス

丙、軍 事 費

世界全般ハ今尙軍備ト戰爭ノ備準トニ莫大ナル金額ヲ費シ之カ爲ニ工業、商業及農業ノ發達ニ供シ得ヘキ資金ヲ減少シ各國財政ニ大ナル負擔ヲ生シ其ノ苛重ナル課税ハ全經濟生活ヲ脅シ生活程度ヲ低下セシムルニ鑑ミ

本會議ハ

國家間ノ協定ニ依リ軍備ヲ制限及縮少セントスル一切ノ努力殊ニ國際聯盟ノ庇護ノ下ニ爲サルル一切ノ努力カ好結果ヲ齎シ前記負擔ヲ輕減スルニ至ルヘキコトヲ熱心ニ希望ス

丁、各國間ニ於ケル平和的ナル通商上ノ協力―「ソヴェエト」共和國

聯邦ニ對スル諸決議ノ適用

本會議ハ

世界通商更新ノ重要ナルヲ認メ絶對ニ政治問題ニ觸ルルコトヲ避ケ

各國經濟制度ノ異ナルニモ拘ラス此處ニ出席セル各國委員カ參加シタルハ各國間ノ平和的ナル通商上ノ協力ノ吉兆ト認ム

但シ「ソヴェエト」共和國聯邦ノ委員ハ以下ニ掲ケタル決議ニノミ賛成ナル旨宣言シタルニ鑑ミ本會議ノ其ノ他ノ決議ハ同聯邦ニハ適用ナキモノトス

戊、國際聯盟ノ經濟機關

本會議ハ第一ニ聯盟經濟委員會及聯盟事務局ノ事業ノ價值ノ大ナルコトヲ表明ス
本會議ハ其ノ事業ノ成功ハ其ノ定メタル原則ノ實行如何ニ係ルモノナルコトヲ認ム

會議ノ勸告ニ關シ執ルヘキ措置ニ就テハ本會議ハ其ノ常設的機關ニ關シ何等ノ提議ヲ爲サス、單ニ準備委員會ノ構成宜シキヲ得會議ノ準備事業ニ於テ顯著ナル成果ヲ收メタル點ニ關シ聯盟理事

會ノ注意ヲ喚起スルヲ最良ノ方法ト認ム

「ソヴィエト」 共和國聯邦ノ委員ヨリ聯盟事務局ニ提出セラレタル目錄

「ソヴィエト」 共和國聯邦代表部ハ左記ノ決議ニ賛成ス

商業

第二、關稅

一、稅率ノ簡易化

二、稅目分類及排列ノ統一、但シ「ソヴィエト」 共和國聯邦ハ國際聯盟ノ招請ニ應スルコトヲ得ストノ留保ヲ附ス

四、稅率ノ適用

五、稅關手續

六、貿易統計

第三、通商政策及通商條約

二、輸入貨物ニ對スル課稅

四、通商條約、但シ聯盟ノ招請ニ關スル留保ヲ附ス

第四、

一、直接又ハ間接ノ補助金

二、「ダンピング」及「ダンピング」防止法制

工業

「ソヴィエト」 共和國聯邦委員ハ「情報」ニ關スル工業委員會ノ決議中ニ爲サレタル提案ノ主義ニハ賛成ナルモ本事業ヲ海牙國際統計學會ニ委任セントスル同聯邦ノ提案カ否決セラレタルカ故ニ「情報」ニ關スル決議案ニ關シ表決ヲ棄權ス

農業

「ソヴェト」共和國聯邦委員ハ次ノ特別決議ニ賛成ス

三、動植物病害ノ防遏

五、森林業

六、農業問題ニ關スル調書統計及研究

注意 「ソヴェト」共和國聯邦委員ハ次ニ掲ケタル決議ニモ賛成ナル旨宣言セリ、右委員ハ會

議ノ議事録中ニ記載セラレタル宣言ヲ以テ右決議ニ加入セリ

(イ) 世界ノ平和ニ影響スヘキ經濟上ノ傾向

(ロ) 教育及公表

(ハ) 軍事費

(ニ) 各國ノ通商上ノ平和的協力

附屬一、

國際經濟會議議題

第一部 世界經濟狀勢

(イ) 各國ノ見地ヨリ見タル世界經濟主要問題

(ロ) 現時ニ於ケル商工業不均衡ノ經濟的原因探究

(ハ) 世界ノ平和ニ影響スヘキ經濟上ノ諸傾向

第二部

一、商業

(1) 通商ノ自由

(イ) 輸出入ノ禁止及制限

- (ロ) 商業ノ制限管理又ハ獨占
- (ハ) 一國領域ニ「セツトル」スルコトヲ許サレタル外國人及外國會社ノ經濟上及課稅上ノ待遇

(2) 關稅及通商條約

- (イ) 輸出入稅ノ形式、稅率及其ノ不安定ヨリ生シ又ハ
- (ロ) 稅目ノ排列及分類ヨリ生スル
- 國際通商上ノ障礙

(3) 自國通商航海保護ノ間接手段

- (イ) 直接又ハ間接ノ補助金
- (ロ) 「ダンピング」及其ノ防止法制
- (ハ) 運輸制度上ノ差別待遇

(ニ) 輸入外國貨物ノ課稅上ノ差別待遇

(4) 購買力減退ノ國際通商ニ及ス影響

二、工業

- (1) 重要工業ノ情勢（生産能力、生産高、消費、勞力）
- (2) 現在ニ於ケル工業悲況ノ實狀並其ノ工業上、商業上及金融上ノ原因
- (3) 右對策

- (イ) 生産組織特ニ工業上ノ國際協定（右協定ノ生産、消費及勞力ノ見地ヨリスル考究、之ニ關スル法制並關稅問題トノ關係）

- (ロ) 工業生産ニ關スル統計的情報ノ迅速ナル蒐集及交換

三、農業

- (1) 農產物ノ生産、消費、「ストック」、價格及取引ノ自由ニ關シ戰前ト比較セル農業ノ現勢

- (2) 現在ニ於ケル悲況ノ原因
- (3) 國際的對策
 - (イ) 生産者及消費者團體（各種産業組合制度ヲ含ム）ノ發達及國際的協力
 - (ロ) 農業情勢、科學的及技術上ノ研究竝ニ農業金融等ニ關スル有益ナル情報ノ繼續的交換
 - (ハ) 農業者購買力ノ増進

Annex II.

LIST OF DOCUMENTS, ACCORDING TO THE ORDER OF THE PROGRAMME OF THE CONFERENCE.

1. ECONOMIC SITUATION OF THE WORLD.

- (a) *Finance, Industrial and Agricultural Production and Exchanges.*
C.E.I. 2. — Memorandum on Balance of Payments and Foreign Trade Balances, 1911-25.
(2 vols., 239 pages.) (Publication of the Economic and Financial
Section.) 25/- \$6.25
- C.E.I. 1. — Memorandum on Currency and Central Banks.
(2 vols., 214 pages.) (Publication of the Economic and Financial
Section.) 12/- \$3.00
- C.E.I. 34. — Memorandum on Public Finance.
(Publication of the Economic and Financial Section.) (in preparation) 14/-

- C.E.I. 3. — **Memorandum on Production and Trade.**
(47 pages.) (Publication of the Economic and Financial Section.) 1/6 \$0.40
- C.E.I. 19. — **Summary Memorandum on Various Industries.**
(40 pages.) (Publication of the Economic and Financial Section.) 1/6 \$0.40
- C.E.I. 29. — **Principal Features and Problems of the World Economic Position from the Point of View of the Different Countries.**
(Five series, 181 pages.) (First part of the Programme of the Conference.) each 1/3 \$0.30
- C.E.I. 5 (1). — **Final Reports of the Trade Barriers Committee of the International Chamber of Commerce.**
(40 pages.) 1/3 \$0.30
- C.E.I. 36. — **Agricultural Problems in Their International Aspect.**
(International Institute of Agriculture.) 16/- \$4.00
- C.E.I. 41. — **Memorandum on the Economic Work of the League of Nations.**
(Economic and Financial Section and Transit and Communications Section.) 1/6- \$0.40
- C.E.C.P. 24. (1). — **Methods of Economic Rapprochement.**
(36 pages.) By E. GROSSMANN, Professor of Political Economy at Zurich University. 1/6 \$0.40

Monthly Bulletin of Statistics.

- (Periodical publication of the Economic and Financial Section.)
Annual subscription. 18/- \$4.50
- The International Statistical Yearbook.
A reference handbook appearing annual. 7/6 \$2.00
- C.E.I. 39. — **Population and Natural Resources.**
Gives a list of the main sources of raw material and a table showing density of population in relation to cultivated areas. 2/6 \$0.60
- (b) *Population and Labour.*
- C.E.C.P. 59 (1). — **Estimates of the Working Population of Certain Countries in 1931 and 1941.**
(19 pages.) By Professor A. L. BOWLEY, Sc. D., F.B.A. 1/- \$0.25
- C.E.I. 4 (1). — **Natural Movement of Populations during the First Quarter of the Twentieth Century.**
(7 pages.) (Health Section.) 6d. \$0.15
- C.E.I. 25. — **Migration in its Various Forms.**
(28 pages.) (International Labour Office.) 9d. \$0.20

- C.E.I. 12. — **Reports on Legislation concerning the Movement of Labour and Migration in General.**
(38 pages.) (International Labour Office.) 1/6 \$0.40
- C.E.I. 26. — **Standard of Living of the Workers in Various Countries.**
(International Labour Office.) 2/- \$0.50

2. TRADE.

- C.E.C.P. 24 (1). — **Methods of Economic Rapprochement.**
By F. GROSSMANN, Professor of Political Economy at Zurich University. 1/6 \$0.40
- C.E.I. 37. — **Tariff Level Indices.**
(38 pages.) (Economic and Financial Section.) 1/6 \$0.40
- C.E.I. 31. — **Commercial Treaties: Tariff Systems and Contractual Methods.**
By D. SERRUYS, Member of the Economic Committee of the League of Nations and Director-General of the Ministry of Committee (France). (15 pages.) 6d. \$0.15
- C.E.C.P. 71 (1). — **Stability of Customs Tariffs.**
By M. J. BRUNET, President of the International Bureau for the

- Publication of Customs Tariffs (Brussels), Member of the Economic Committee of the League of Nations. (11 pages.) 6 \$0.10
- C.E.I. 32. — **Customs Nomenclature and Classification.**
Transmitted by Dr. E. TRENDELLENBURG. 3/- \$0.75
- C.E.C.P. 96. — **Memorandum on Discriminatory Tariff Classifications.**
By Mr. W. T. PAGE, Member of the Preparatory Committee for the International Economic Conference. (11 pages.) 6d. \$0.10
- C.E.C.P. 97. — **Memorandum on European Bargaining Tariffs.**
By Mr. W. T. PAGE, Member of the Preparatory Committee for the International Economic Conference. (14 pages.) 6d. \$0.15
- C.E.C.P. 36 (1). — **Memorandum on Dumping.**
By Jacob C. Viner, Professor of Political Economy at Chicago University. (19 pages.) 1/6 \$0.40
- C.E.I. 7. — **Memorandum on the Legislation of Different States for the Prevention of Dumping, with Special Reference to Exchange Dumping.**
Transmitted by Dr. TRENDELLENBURG. (33 pages.) 1/3 \$0.30
- C.E.I. 23. — **Export Duties.**
(52 pages.) (Economic and Financial Section.) 3/- \$0.50

- I. Introduction by M. GLIWIC.
- II. Lists of Export Duties.

2/- \$0.50

C.E.I. 20. — Marks of Origin.

Part I Obligation to affix a Mark of Origin on Goods. (Note drawn up by the Secretariat of the League of Nations.)

Part II. Observations on Marks of Origin and the Various Laws relating thereto. Communication by Dr. TRENDLENBURG, Member of the Preparatory Committee for the Conference (with Annexes) (59 pages.) (Economic and Financial Section.)

C.E.I. 22. — Abolition of Import and Export Prohibitions and Restriction.

Commentary and Preliminary Draft International Agreement drawn up by the Economic Committee of the League of Nations to serve as a Basis for an International Diplomatic Conference. (33 pages.) (Economic and Financial Section.)

1/3 \$0.30

C.E.I. 42. — (1) Note on Certain Forms of Direct and Indirect Subsidies.

- (2) Note on Differential Taxes on Circulation. Consumption or Handling of Foreign Imported Goods.

- (3) Note on Regulation of Qualities of Imports and Exports Admitted. (Economic and Financial Section.)

1/3 \$0.30

C.E.I. 28. — (1) Experience gained from the Fixing of Export Prices during the Inflation Period in Germany.

Transmitted by Dr. TRENDLENBURG. (6 pages.)

- (2) Dependence of Trade on Control of Foreign Exchange.

Note by the Economic and Financial Section. (7 pages.)

- (3) Methods of Assessment for the Application of *ad valorem* Duties.

Note by the Economic and Financial Section. (12 pages.)

- (4) Variations in Tariffs in accordance with the Origin of Goods, the Place whence they come, their Destination, or the Frontiers or Places through which Importation or Exportation takes place.

Note by the Economic and Financial Section. (6 pages.)

- (5) Consular Charges,

Note by the Economic and Financial Section. (7 pages.)

1/6 \$0.40

C.E.I. 33. — (1) Immunities of Commercial or Transport Undertakings controlled by the State from Charges and Obligations to which Similar Private Undertakings are subject.

Note by the Economic and Financial Section. (10 pages.)

- (2) Memorandum on Railway Tariffs and Tolls as an Economic Factor.

By M. CORSON, Member of the Institute of France, Vice-President of the "Conseil d'Etat". (6 pages.)

(3) **National and Flag Discrimination with regard to Communications and Transit.**

Note by the Communications and Transit Section. (6 pages.)

(4) **Difficulties resulting for International Trade from Unfair Commercial Practices, and particularly from Practices not covered by the Convention for the Protection of Industrial Property.**

Note by the Economic and Financial Section. (9 pages.) 1/3 \$0.30

3. **INDUSTRY.**

(a) *Various Industries.*

C.E.I. 19. — **Summary Memorandum on Various Industries.**

Publication of the Economic and Financial Section. (40 pages.) 1/6 \$0.40

C.E.I. 18. — **Memorandum on Coal.**

Economic and Financial Section. (2 vols.)

Volume I (75 pages.) 2/6 \$0.60

Volume II (56 pages): 2/- \$0.50

C.E.I. 17. — **Memorandum on the Iron and Steel Industry.**

Economic and Financial Section. (113 pages.) 4/- \$1.00

C.E.I. 9. — **Memorandum on Cotton.**

Economic and Financial Section. (78 pages.) 3/- \$0.75

C.E.I. 8. — **Shipbuilding.**

Economic and Financial Section. (48 pages.) 1/6 \$0.40

C.E.I. 10. — **Chemical Industry.**

(134 pages.) 4/- \$1.00

C.E.I. 21. — **Potash Industry.**

(27 pages.) 1/- \$0.25

C.E.I. 16. — **Electrical Industry.**

(121 pages.) 4/- \$1.00

C.E.I. 15. — **Mechanical Engineering (2 Vols.)**

Volume I (193 pages.) 6/- \$1.50

Volume II (92 pages.) 3/- \$0.75

C.E.I. 24. — **Natural Silk Industry.**

(34 pages.) 1/3 \$0.30

C.E.I. 30. — **The Artificial-Silk Industry.**

(51 pages.) 2/- \$0.50

(b) *Scientific Management and Industrial Arrangements.*

C.E.I. 13. — **Scientific Management in Europe.**

- (15 pages.) (International Labour Office.) 6d. \$0.15
- C.E.C.P. 20 (1).** — **Memorandum on Rationalisation in the United States.**
By the Honourable David HOUSTON. (9 pages.) 1/- \$0.25
- C.E.I. 38.** — **Recruitment and Training of Skilled Workers and Technical Staff in Great Britain and Germany.**
From information supplied by Sir Arthur BALFOUR and M. C. LAMMERS. (9 pages.) 6d. \$0.10
- C.E.C.P. 24 (1).** — **Methods of Economic Rapprochement.**
By Eugene GROSSMANN, Professor of Political Economy at Zurich University. (36 pages.) 1/6 \$0.40
- C.E.I. 35.** — **Summary of National Legislation with Reference to Cartels and Combines.**
Drawn up by Dr. C. LAMMERS (Member of the Preparatory Committee of the International Economic Conference.) 1/6 \$0.40
- C.E.C.P. 57 (1).** — **Cartels and Combines.**
By Dr. Kurt WINDENFELD, Professor of Economics at the University of Leipzig. (36 pages.) 1/3 \$0.30
- C.E.C.P. 93.** — **International Cartels.**
By D. H. MACGREGOR, Professor of Political Economy, Oxford University. (7 pages.) 6d. \$0.10
- C.E.C.P. 94.** — **The Social effects of International Industrial Agreement. The Protection of Workers and Consumers.**
By William OUVAUD, Professor of Political Economy in the Faculty of Law of the University of Paris. (35 pages.) 1/6 \$0.40
- C.E.C.P. 95.** — **Cartels and Trusts and Their Development.**
By M. Paul DE ROUSSELS, Professor at the Ecole des Sciences politiques, Paris. (24 pages.) 1/3 \$0.30
- C.E.C.P. 98.** — **Recent Monopolistic Tendencies in Industry and Trade : Being an Analysis of the Nature and Causes of the Poverty of Nations.**
By Gustav CASSEL, Professor of Political Economy at the University of Stockholm. (48 pages.) 1/6 \$0.40
- C.E.C.P. 99.** — **National and International Monopolies from the Point of View of Workers, Consumers and Rationalisation.**
By Professor Julius HIRSCH. (Berlin.) (in preparation)
- 4. AGRICULTURE.**
- C.E.I. 36.** — **Agricultural Problems in Their International Aspect.**
International Institute of Agriculture. 16/- \$4.00
- C.E.I. 43.** — **Agriculture and the International Economic Crisis.**
By M. Jules GAUTIER, Dr. Andreas HERMANS and Mr. H. A. F. 188

LINDSAY, Members of the Sub-Committee on Agricultural Questions of the Preparatory Committee for the International Economic Conference. (25 pages.)	1/-	\$0.25
C.E.I. 27. — The Relation of Labour Cost to Total Costs of Production in Agriculture. International Labour Office. (66 pages.)	2/6	\$0.60
C.E.I. 14. — The Part played by Co-operative Organisations in the International Trade in Wheat, Dairy Produce, and some other Agricultural Products. International Labour Office. (46 pages.)	1/6	\$0.40
C.E.I. 11. — Results of Certain of the Enquiries for Instituting a Comparison between the Retail Prices in Private Trade and Those of Distributive Co-operative Societies. International Labour Office. (31 pages.)	1/3	\$0.30

Annex III.

INTERNATIONAL ECONOMIC CONFERENCE.

President of the Conference nominated by the Council of the League of Nations :

M. G. THEUNIS, Minister of State (Belgium).

Vice-Presidents of the Conference :

M. LOUCHEUR (France). [First Vice-President.]

Mme Emmi FREUNDLICH (Austria).

M. R. DE RIO BRANCO (Brazil).

Sir Arthur BALFOUR (British Empire).

M. Chr. SONNE (Denmark).

M. C. F. VON SIEMENS (Germany).

Count BONIN-LOGGARE (Italy).

M. T. SHIDACHI (Japan).

M. J. OUDERGEEST (Netherlands).

M. H. GLIWIC (Poland).

Mr. Henry M. ROBINSON (United States).
M. V. OBOLENSKI-OSSINSKI (U. S. S. R.)

Commerce Commission :

Chairman : M. H. COLLIN (Netherlands).
Vice-Chairmen : Mr. R. W. BOYDEN (International Chamber of Commerce).
M. O. RYDBECK (Sweden).
Rapporteurs : Mr. Norman H. DAVIS (United States).
M. G. L. GÉRARD (Belgium).

Industry Commission :

Chairman : Dr. F. HODÁČ (Czechoslovakia).
Vice-Chairmen : M. E. NECULCEA (Romania).
M. D. URZUA (Chile).
Mr. A. PUGH (British Empire).
Rapporteurs : M. A. PIRELLI (Italy).
M. DE PEYERIMHOFF (France).

Agriculture Commission :

Chairman : M. G. FRANGESCH (Kingdom S. C. S.)

Vice-Chairmen : Dr. L. K. HYDER (India).
Count I. SOMSSICH (Hungary).
Rapporteurs : Dr. A. HERMES (Germany).
M. F. PORCHET (Switzerland).

Annex IV.

LIST OF MEMBERS OF THE CONFERENCE.

South Africa

Mr. Jacobus Stephanus SMIT.

High Commissioner for the Union of South Africa in London.

Dr. Michiel Hendrik DE KOCK.

Member of the Board of Trade and Industries.

Albania

M. Malik LABHOVA.

Chargé d'Affaires d'Albanie à Paris.

Germany

M. Wilhelm EGGERT.

Membre du Bureau de la Confédération générale des syndicats allemands.

Dr. Andreas HERMES.

Ancien Ministre du Reich, membre de la Commission internationale d'agriculture.

M. Clemens LAMMERS.

Membre du Reichstag, Président de la Commission d'enquête allemande, membre du

Comité de Direction du "Reichsverband" de l'Industrie allemande.

M. Carl Friedrich VON SIEMENS.

Ingénieur, Président du Conseil économique du Reich, Président du Conseil d'administration de la Société allemande des Chemins de fer.

Le Docteur Ernst TRENDELENBURG.

Secrétaire d'Etat au Ministère de l'Economie nationale.

Experts :

M. Hermann RÖCHLING.

M. KEISER.

Oekonomierat.

Le comte KEYSERLINGK.

Cammerau, Silésie.

Le Docteur Max SERING.

Conseiller secret, Professeur à l'Université de Berlin.

M. Friedrich BALTRUSCH.
 M. Walter DAUCH.
 Député au Reichstag.
 Le Docteur ASCHMANN.
 Consul général.
 M. B. BEHRENS.
 Député au Reichstag.
 Le Docteur BAADÉ.
 M. GENNES.
 Ancien Conseiller du Gouvernement.
 M. KAUFMANN.
 Directeur des Coopératives.
 M. KISSLER.
 Conseiller secret.
 Le Professeur LANG.
 M. le Directeur Karl LANGE.
 Le Docteur LEMMER.
 Député au Reichstag.

M. WOLFE.
 Conseiller secret.

Australia

The Hon. Sir David GORDON, M.L.C.
 Director, North Broken Hill, Ltd.; Broken Hill South, Ltd.; Broken Hill Associated
 Smelters Proprietary; Adelaide Electric Supply Co. Ltd.; Member of the Legislative
 Council of South Australia.
 Mr. William Warren KERR, C.M.G., C.B.E.
 Managing Director, Richardson Kerr Proprietary, Ltd., Melbourne (Insurance Brokers);
 Commissioner of the State Savings Bank of Victoria.
 Mr. Alexander Foulis BELL, C.M.G.
 Merchant, Managing Director of Robert Harper & Co., Ltd., Melbourne.
Secretary:
 Major O. C. W. FUHRMANN, O.B.E.

Austria

M. Edouard HEINTL.
 Ancien Ministre fédéral du Commerce, Député.

M. Richard RIEDL.

Ancien Envoyé extraordinaire et Ministre plénipotentiaire.

Madame Emmi FREUNDLICH.

Conseiller national, Président de la Ligue internationale des coopératives.

Le Docteur Richard SCHÜLLER.

Chef de Section à la Chancellerie fédérale.

Experts :

Le Docteur Robert BREZA.

Conseiller ministériel en retraite, Chef de bureau de la Chambre de commerce, des métiers et de l'industrie, à Vienne.

Le Docteur Rodolphe BRICHTA.

Secrétaire de l'Association des commerçants de Vienne.

M. Rodolphe COLLOREDO-MANNSFELD.

Propriétaire foncier, membre de la Chambre d'agriculture de Basse-Autriche.

Le Docteur François HIETEL.

Conseiller économique, Conseiller de la Chambre d'Agriculture de Basse-Autriche.

Le Docteur Benedikt KAUTSKY.

Secrétaire de la Chambre du travail de Vienne.

M. Jean KÖRBER.

Conseiller municipal, Vice-président de la Fédération des Associations des métiers.

Le Docteur Ernest STADLER.

Conseiller ministériel en retraite, Syndic de la Fédération des Associations des métiers.

M. Joseph P. FLANDERA.

Secrétaire général de l'Association des métiers, à Vienne.

M. Henri LENHART.

Conseiller Commercial, Président de l'Union du commerce et des métiers, Vice-président de la Chambre de commerce, des métiers et de l'industrie, à Vienne.

Le Docteur Max SOKAL.

Directeur du *Giro-und Cassen-Verein*, à Vienne, Secrétaire général de l'Union des banques.

Le Docteur Frédéric WERNER.

Conseiller ministériel en retraite, Secrétaire général de la Fédération des banques et banquiers autrichiens.

M. François SPALOWSKY.

Député.

Le Docteur Gustave WEISS-WILLENSTEIN.

Secrétaire général de la Fédération de l'industrie.

Belgium

Le Baron TIRBAUT.

Premier Vice-Président de la Chambre des Représentants, ancien Président du Conseil supérieur de l'Agriculture.

M. VAN DEN BROECK.

Membre de la Chambre des Représentants.

M. Gustave-Léo GÉRARD.

Directeur général adjoint du Comité central industriel de Belgique.

M. Victor SERWY.

Directeur de l'Office coopératif belge.

M. C. MERTENS.

Secrétaire général de la Commission syndicale de Belgique.

Experts :

M. DELVIGNE.

Membre de la Chambre des Représentants, Président du Syndicat des métallurgistes.

M. CHEVREMONT.

Directeur de coopératives à Liège.

M. PAUWELS.

Secrétaire général de la Confédération des syndicats chrétiens.

M. J. LAMBERT.

Licencié du degré supérieur en sciences commerciales et consulaires, Directeur adjoint de la coopération belge "Bien-être," 15 rue de Demer, à Hasselt.

M. G. MULLIE.

Sénateur.

M. Maurice ANSLAUX.

Professeur à l'Université libre, Bruxelles.

M. DELMER.

Ingénieur en chef, Administration des mines, rue Guimard, Bruxelles.

M. VAN LANGENHOVE.

Chef du Cabinet du Ministère des Affaires étrangères.

M. BONDAS.

Secrétaire de la Commission syndicale de Belgique.

M. A. LOMBARD.

Trésorier de la Centrale des mineurs.

M. A. GAILLY.

Secrétaire de la Section des métallurgistes de Charleroi.

M. Georges DIDIER.

Directeur général de la Fédération des Associations charbonnières de Belgique.

M. LOUIS ROISIN.

Directeur gérant des Charbonnages de Sacré-Madame.

M. Léon GRAVEZ.

Directeur des charbonnages des Produits, à Flénu.

M. Marcel HABETS.

Directeur des charbonnages de la Société John Cockerill.

M. Ivan ORBAN.

Directeur général des charbonnages de Mariemont-Bascoup.

M. VAN BUGGENHOUT.

Secrétaire de la Centrale des Francs-Mineurs.

Secrétaire :

M. LAMBERT.

Licencié du degré supérieur en sciences commerciales et consulaires, Directeur adjoint de la coopérative belge "Bien-être," 15 rue de Denier, à Hasselt.

Brazil

Son Excellence M. PAUL DE RIO-BRANCO.

Envoyé extraordinaire et Ministre plénipotentiaire du Brésil à Berne.

M. Affonso BANDEIRA DE MELLO.

Directeur au Ministère de l'Agriculture, de l'Industrie et du Commerce, Expert de la Commission d'émigration du Bureau international du Travail.

M. Decolecio DE CAMPOS.

Attaché commercial à l'Ambassade du Brésil à Rome, membre du Comité permanent de l'Institut international d'Agriculture à Rome.

M. Julio Augusto BARBOZA-CARNEIRO.

Attaché commercial à l'Ambassade du Brésil à Londres, Membre du Comité économique de la Société des Nations.

M. Octavio DE PARANAGUÁ.

Attaché commercial du Brésil.

British Empire

Sir Arthur BALFOUR, K.B.E.

Chairman of the Committee on Trade and Industry.

Sir A. NORMAN HILL, Bart.

Chairman of the Board of Trade Advisory Committee on Merchant Shipping (London).

Mr. W. T. LAYTON, M.A., C.B.E.

Editor of *The Economist* (London).

Sir Max MUSPRATT, Bart.

President of the Federation of British Industries, Chairman of the Association of British Chemical Manufacturers.

Mr. Arthur PUGH.

Vice-President of the General Council of the Trades Union Congress, Secretary of the Iron and Steel Trades Confederation.

Experts :

Mr. P. MAURICE HILL.

Assistant General Manager of the Chamber of Shipping.

Mr. R. T. NUGENT.

Director of the Federation of British Industries.

Mr. E. RAYMOND STREAT.

Secretary of the Manchester Chamber of Commerce.

Mr. ARTHUR VARLEY.

Chairman of the Finance Committee of the Co-operative Wholesale Society.

Mr. JOHN R. BELLERBY.

Member of the Mixed Committee of the League of Nations and the International Labour Office on Economic Crises.

Secretary :

Mr. H. J. HUTCHINSON.

Assistant Secretary (for Agriculture) :

Mr. R. R. ENFIELD.

Private Secretary to Sir Arthur Balfour :

Mr. GEORGE MILNER.

Bulgaria

M. GEORGES DANAÏLOFF.

Ancien Ministre, Député au Sobranie, Professeur d'économie politique à l'Université de Sofia.

M. CYRILLE POPOFF.

Directeur de la Statistique du Royaume de Bulgarie.

M. JÉHU TH. BOURLIKOFF.

Gouverneur adjoint de la Banque nationale de Bulgarie.

Expert et Secrétaire :

Le Docteur Ivan BÄINOFF.

Docteur en droit, Assistant des sciences économiques à l'Université de Sofia.

Canada

Mr. ALBERT MATTHEWS.

Investment Banker ; Director, Toronto General Trusts Corporation.

Mr. JOSEPH DAoust, LL.D., J.P.

President, Daousts, Lalonde & Co., Ltd., Montreal, former President of the Montreal Chamber of Commerce, former President of the Boot and Shoe Manufacturers' Association of Canada.

Mr. ADAM SHORT, C.M.G., LL.D.

Chairman of the Board of Historical Documents (Economic and Political), Board of Historical Publications, Ottawa, formerly Commissioner of the Civil Service of Canada, and Professor of Economics, Queen's University.

Mr. W. A. WILSON.

Canadian Agricultural Products Representative in Great Britain.

Mr. W. A. RUDDELL, M.A., Ph.D.

Dominion of Canada Advisory Officer accredited to the League of Nations.

Chile

M. ARMANDO QUEZADA.

Envoyé extraordinaire et Ministre plénipotentiaire en France, ancien Ministre des Finances, ancien Professeur d'économie politique à l'Université du Chili.

M. GUILLERMO EDWARDS-MATTE.

Ancien Ministre des Finances, Membre de la Société nationale d'agriculture.

M. DARIO URZUA.

Professeur à l'Université catholique de Santiago (économie politique, questions monétaires, législation minière et nitratière).

M. ENRIQUE BRIEBA.

Ingénieur du Ministère des Finances du Chili, Expert pour les questions de nitrate.

China

M. CHUAN CHAO.

Secretary-General of the Permanent Office of the Chinese Delegation to the League of Nations.

Experts :

M. Wu NAN-JU.

M. TCHANG GUI-TONG.

Secretaries :

M. R. PAOTCHUNG FANG.

Secretary of Legation.

M. CHIN TING.

Secretary of the Chinese Delegation to the League of Nations.

M. Su-SENG CHU.

M. C. N. LOU.

Attaché.

M. SHEN PEN-CHIANG.

Colombia

M. Antonio José RESTREPO.

Ministre plénipotentiaire, Délégué permanent de la Colombie auprès de la Société des Nations, Sénateur, ancien Professeur d'économie politique, etc.,

M. Antonio de NARVAEZ.

Ancien Professeur de Finances à l'Université libre de Bogotá, ancien Consul général de

Colombie à Paris.

Expert :

M. Efraín GAÍTAN HURTADO.

Docteur en droit.

Secretaries :

M. Jorge KOPPEL, B.A.

M. Fernán LORENZANA.

Cuba

Son Excellence M. Guillermo DE BLANCK.

Envoyé extraordinaire et Ministre plénipotentiaire, Délégué auprès de la Société des Nations.

Son Excellence le Docteur Carlos DE ARMENTEROS.

Envoyé extraordinaire et Ministre plénipotentiaire, ancien sous-secrétaire au Secrétariat de l'Agriculture, de l'Industrie et du Commerce, ancien délégué à la Conférence financière de Washington.

Le Docteur Juan de Dios GARCIA KONTLY.

Ex-ministre de la République de Cuba, ancien Président de la Délégation de Cuba à la deuxième Conférence financière de Buenos-Ayres (1916), ancien Délégué Contrôleur du

Gouvernement à la Banque nationale de Cuba.

M. Luis MARTO PEREZ.

Attaché commercial à l'Ambassade à Washington.

Expert :

M. Emiliano DUSSAQ.

Denmark

Le Comte C. DE MOLTKE.

Ancien Ministre des Affaires étrangères.

M. Ernst MEYER.

Président du Comité de la Chambre de commerce de Copenhague.

M. Chr. SONNE.

Ancien Ministre de l'Agriculture.

M. OVE MUNCK.

Vice-Président du Conseil danois de l'industrie.

M. Jens Peter NIELSEN.

Député, Secrétaire de la Confédération générale du Travail de Danemark.

Experts :

M. Bertil G. OHLIN.

Docteur ès lettres, Professeur d'économie à l'Université de Copenhague.

M. Einar D. COHN.

Chief de bureau au Département statistique de l'Etat.

Secrétaire :

M. Gustav RASMUSSEN.

Secrétaire de Légation.

Secrétaire particulier de M. Ernst Meyer :

M. Jens VESTBERG.

Secrétaire de la Chambre de commerce de Copenhague.

Free Dity of Danzig.

M. William KLAVITTER.

Président de la Chambre de commerce de Dantzig.

Le Professeur Ludwig NOE.

Directeur général de l'«International Shipbuilding and Engineering Co.», à Dantzig.

Egypt

Son Excellence SADIK HENEIN Pacha.

Ancien sous-secrétaire d'Etat au Ministère des Finances, Envoyé extraordinaire et Ministre plénipotentiaire à Rome.

M. James BAXTER.

Secrétaire financier du Ministère des Finances.

WAHBÉ IBRAHIM Bey.

Sous-directeur général des Douanes égyptiennes.

ABDUL RAHMAN FIKRY Bey, M.Sc.

Premier secrétaire à la Légation d'Egypte à Londres, ancien Professeur de finances publiques à l'Université égyptienne du Caire.

FATHALLA HETATA Effendi, M.A.

Inspecteur à la Section des coopératives agricoles au Ministère de l'Agriculture.

Estonia

M. Jaan TOENISSON.

Député, Président du Conseil économique d'Etat, ancien Président du Parlement.

M. Jaan HÜNERSON.

Ministère de l'Intérieur, Député, Secrétaire général de l'Association agricole de l'Estonie du Sud.

M. Johan KURK.

Directeur de la Société centrale des consommateurs, ancien chef d'Etat.

M. Georg VESTEL.

Directeur de la Banque de Crédit à Tallinn, ancien Ministre des Finances.

M. Johannes LEHTMAN.

Député.

Conseiller spécial auprès la délégation :

M. Otto STRANDMAN.

Envoyé extraordinaire et Ministre plénipotentiaire d'Estonie en Pologne, ancien Président du Conseil, ancien Ministre des Finances.

Experts :

M. Aleksander OINAS.

Député, ancien Contrôleur d'Etat.

M. Nikolai KÖSTNER.

Conseiller au Ministère des Finances, Economiste, ancien Ministre du Commerce et de l'Industrie.

United States of America

Mr. Henry M. ROBINSON.

President of the First National Bank, Los Angeles, and Member of the Dawes Commission.

Mr. Norman H. DAVIS.

Formerly Assistant Secretary of Treasury and Under-Secretary of State.

Mr. John W. O'LEARY.

President of the United States Chamber of Commerce.

Mr. Alonso E. TAYLOR.

Director of Food Research Institute, Stanford University.

Mr. Julius KLEIN.

Director, Bureau of Foreign and Domestic Commerce, U.S. Department of Commerce.

Experts :

Dr. Arthur N. YOUNG.

Economic Adviser to the Department of State.

Dr. E. Dana DURAND.

Chief of the Research Division, Department of Commerce.

Mr. Grosvenor JONES.

Chief of the Finance and Investment Division, Department of Commerce.

Dr. Louis DOMENYATZKY.

Chief of the Regional Division, Department of Commerce.

Mr. E. W. CAMP.

Acting Commissioner of Customs, Treasury Department.

Mr. Asher HOBSON.

Permanent American Delegate to the International Institute of Agriculture at Rome.

Dr. Percy W. BIDWELL.

An Economist of the United States Tariff Commission.

Mr. Henry CHAMBERS.

Chief of the Division of the Foreign Tariffs, Department of Commerce.

Mr. John P. FREY.

Secretary :

Mr. Somerville Pinkney TUCK.

Consul of the United States of America at Geneva..

Abyssinia

Son Excellence le Comte LAGARDE, due d'ENTOTOTO.

Ministre plénipotentiaire, Représentant diplomatique de l'Empire d'Ethiopie accrédité auprès de la Société des Nations.

Lidj Makonnen ENDELKATCHOU.
Ato Woldé MARYAM.

Finland

Dr. J. K. PAASIKIVI.
Ex-Premier, Director-in-Chief of Kansallis Osake Pankki (National Joint-Stock Bank).
M. W. A. LAVONIUS.
Director-in-Chief of the Life Insurance Company "Suomi".
Dr. Emil HYNINEN.
Member of the International Institute of Agriculture at Rome, Attaché for agricultural matters at the Finnish Legation.
M. J. W. KERO.
Manager of the Central Union of Distributive Societies, Vice-Chairman of the Finnish Diet.
Dr. Henrik RAMSAY.
Managing Director of "Suomen Höyrylaiva Osakeyhtiö" (Finnish Steamship Company).
Expert :
M. K. R. SAVOLAHTI.
Consul-General.

France

M. LOUCHEUR.
Député du Nord, ancien Ministre.
M. JOUHAUX.
Secrétaire général de la Confédération générale du Travail.
M. SERRUYS.
Directeur des Accords commerciaux au Ministère du Commerce.
M. Jules GAUTIER.
Conseiller d'Etat, Président de la Confédération nationale des associations agricoles.
M. DE PEYERIMHOFF.
Président du Comité central des Houillères de France.
Experts :
M. AUGÉ-LARIBÉ.
Docteur ès sciences économiques, Secrétaire général de la Confédération nationale des Associations agricoles.
M. BUISSON.
Secrétaire général de la Fédération nationale des Syndicats d'employés.

- M. CAHEN-SALVADOR.
Conseiller d'Etat, Secrétaire général du Conseil national économique.
- M. DE CHALENDAR.
Inspecteur des finances, membre du Comité financier de la Société des Nations.
- M. CUYVELTTE.
Administrateur-directeur général des Mines de Lens.
- M. DAIBOUZE.
Président de la Fédération de la construction mécanique.
- M. DUBRUTTE.
Industriel, Membre du Comité central de la laine.
- M. DUCHEMIN.
Industriel, Président de la Confédération générale de la production française, Président de l'Union des industries chimiques.
- M. ALBERT DUCHÈNE.
Conseiller d'Etat en service extraordinaire, Directeur des Affaires politiques au Ministère des Colonies.
- M. DUCHON.
Secrétaire général de la Fédération de la construction mécanique.

- M. FOURÈRE.
Président de l'Association d'expansion économique, Président de la Fédération de la soie.
- M. GARCIN.
Président de l'Union du Sud-Est des Syndicats agricoles.
- M. EDMOND GILLET.
Vice-président du Syndicat des textiles artificiels.
- M. GOUNOD.
Vice-Président délégué de l'Union des industries chimiques.
- M. HECKER.
Administrateur-délégué de la Société Thomson-Houston.
- M. HOELLING.
Directeur du Port de Strasbourg.
- M. KIENER.
Président de la Chambre de commerce de Colmar.
- M. LAEDERICH.
Régent de la Banque de France, Président du Syndicat général de l'industrie cotonnière française.

- M. LAMBERT-RIBOT.
Délégué général de l'Union des industries métallurgiques et minières, Délégué général du Comité des forges de France.
- M. Théodore LAURENT.
Vice-Président du Comité des forges de France.
- M. MAGNAN.
Administrateur à la Direction générale des Douanes.
- M. Albert MAHIEU.
Sénateur du Nord, Président du Conseil supérieur des Chemins de fer.
- M. MARLIO.
Président du Comité central de l'aluminium.
- M. MATHON
Président du Comité central de la laine.
- M. Ernest MERCIER.
Administrateur-délégué de l'Union d'électricité.
- M. Daniel MIEG.
Président de la Société industrielle de Mulhouse.
- M. PARENT.
Secrétaire général du Comité central des houillères de France.

- M. Ernest POISSON.
Secrétaire général de la Fédération nationale des coopératives de consommation.
- M. ROCHE.
Membre du Conseil d'administration de l'Union des industries chimiques.
- M. DE ROUSIERS.
Vice-président du Comité central des armateurs de France.
- M. SCHWOB.
Directeur des Chemins de fer au Ministère des Travaux publics.
- M. André-Robert SIEGFRIED.
Professeur à l'Ecole des sciences politiques.
- M. René THÉRY.
Directeur de l'*Economiste européen*, Professeur à l'Ecole coloniale.
- M. VIMEUX.
Secrétaire général de la Fédération de la coopération et de la mutualité agricoles.
- Secrétaire Général :*
M. CLAUZZEL.
Ministre plénipotentiaire, chef du Service français de la Société des Nations.

Grece

M. Panaghis VOULIOUMIS.

Ancien ministre.

M. Aristote SIDERIS.

Secrétaire général du Ministère de l'Agriculture.

M. G. CALOGRIVOU.

Ex-directeur des Domaines.

M. Panayotis PAPATZONI.

Chef de la Section des traités de commerce du Ministère des Finances.

M. Jean TOURNAKIS.

Professeur d'économie politique à l'Ecole des sciences économiques et commerciales, ancien Secrétaire général du Ministère de l'Economie nationale.

Expert :

M. Nicolas P. PRATSIKAS.

Chef du Service de Statistique de la Banque nationale de Grèce.

Guatemala

M. Felipe SOLARES.

Ancien Ministre des Finances, ancien Conseiller d'Etat, Directeur de la Banque centrale de Guatemala, Vice-Président de la Chambre de Commerce de Guatemala.

Hungary

Son Excellence M. Alexandre POPOVICH.

Ancien Ministre, Président de la Banque nationale hongroise.

Son Excellence le Comte Jean HADIK.

Ancien Ministre.

Le Comte Ladislás SOMSSICH.

Président de la Société nationale hongroise d'agriculture.

Le Baron Maurice KORNFIELD.

Membre de la Haute Chambre de Hongrie.

M. Charles DE VÉGH.

Membre de la Haute Chambre de Hongrie, Président de la Bourse de Budapest, Vice-Président de la Société anonyme hongroise de navigation fluviale et maritime.

Experts :

M. Alfred NICKI.

Conseiller de légation au Ministère des Affaires étrangères.

M. Ladislás ZELEVICH.

Rédacteur au Ministère des Affaires étrangères.

M. IZSÓ FERENCZI.

Conseiller ministériel au Ministère du Commerce.

M. Géza LENGYEL.

Secrétaire de l'Association nationale des fabricants de Hongrie, Directeur du Bureau central de politique douanière hongroise.

M. Kálmán BALKÁNYI.

Directeur de l'Association nationale hongroise des commerçants.

M. Etienne HORVÁT.

Secrétaire général de l'Association nationale hongroise des commerçants

M. Emile MUTSCHENBACHER.

Directeur de l'Association nationale de l'agriculture.

M. Charles KRESZ.

Directeur de la Société des caisses d'épargne et des banques.

M. Jean NYULÁSZY.

Directeur de la Société des caisses d'épargne et des banques.

M. Elemér JARMAY.

Ancien sous-secrétaire d'Etat, Directeur de la Société de navigation fluviale et maritime hongroise.

M. Otto SCHILLER.

Secrétaire général de l'Association nationale des textiles.

M. Alexandre BRASKOVICH.

Membre de la Commission internationale d'agriculture, ancien Député.

Secrétaire :

M. Ladislav ZELOVICH.

Rédacteur au Ministère des Affaires étrangères.

India

Sir Ness WADIA, K.B.E., C.I.E.

Ex-Chairman of the Bombay Mill-Owners' Association, Member of the Indian Cotton Committee.

Sir Campbell W. RHODES, C.B.E.

Member of the Council of India, formerly President of the Bengal of Commerce, President of the Associated Chamber of Commerce of India and Ceylon.

Dr. L. K. HYDER, B.A., Ph.D.

Professor of Economics at the Aligarh University, Member of the Legislative Assembly, Member of the Royal Commission on Agriculture in India.

Expert :

Mr. H. A. F. LINDSAY C.I.E., C.B.E., I.C.S.

Secretary :

Mr. W. D. CROFT.
India Office.

Irish Free State

Mr. Michael MACWHITE.

Representative of the Irish Free State accredited to the League of Nations.

Mr. William DINAN.

Former President of the Cork Incorporated Chamber of Commerce and Shipping.

Mr. James J. McELLIGOTT.

Assistant Secretary to the Ministry of Finance.

Mr. Robert FERGUSON.

Director of Industries Branch of the Ministry of Industry and Commerce.

Mr. Thomas A. BARRINGTON.

Assistant Director of Commerce and Technical Branch of the Department of Industry and Commerce.

Expert :

Mr. James M. ADAMS.

Inspector of Agriculture.

Italy

Son Excellence le Comte Lelio BONIN LONGARE.

Ministre d'Etat, Ambassadeur de Sa Majesté, Sénateur du Royaume.

M. Alberto PIRELLA.

Ministre plénipotentiaire honoraire, Industriel, Président de l'Institut national pour les exportations.

M. Ernesto BELLOMI.

Député au Parlement, Industriel, "Podestà" de Milan.

M. Edmondo ROSSONI.

Député au Parlement, Président des Confédérations syndicales fascistes.

M. Angelo DI NOIA.

Directeur général du Commerce.

Secrétaire général :

M. Gino BUTI.

Conseiller de Légation.

Experts :

M. Guido PACT.

Directeur du Bureau central des Douanes italiennes.

M. ENRICO MARCHESI.
Industriel.

M. FELICE GUARNERI.

Directeur général de l'Association des Sociétés italiennes anonymes,
M. GIUSEPPE TASSINARI.

Professeur ordinaire d'économie rurale à l'Institut Royal Supérieur Agraire de Bologne.

M. ALFREDO SIGNORETTI.
Publiciste.

M. ERASMO CARAVALE.

Inspecteur supérieur au Ministère de l'Economie nationale.

M. FRANCESCO COPPOLA D'ANNA.

M. FRANCESCO MAURO.
Ingénieur.

Secrétaires :

M. GUIDO BORGA.

Attaché consulaire.

M. AMBROGIO BONOMI.

M. WLADIMIRO RONCAGLI.

Japan

M. TETSUJIRO SHIDACHI.

Ancien Président de la Banque industrielle du Japon.

Le Baron CHUZABURO SHIBA.

Membre de la Chambre des pairs, Professeur à la Faculté technologique de l'Université impériale de Tokio.

Le Docteur TEIJIRO UYEDA.

Professeur à l'Université de Commerce de Tokio.

M. NAOTAK SATO.

Ministre plénipotentiaire, Directeur du Bureau impérial du Japon à la Société des Nations.

Le Docteur KWANJI SATO.

Professeur à la Faculté d'agriculture de l'Université impériale de Tokio, Président de l'Association des Sciences agricoles.

Experts :

M. S. MATSUYAMA.

Secrétaire commercial de l'Ambassade du Japon à Londres.

M. Y. NARUSÉ.

Professeur d'économie politique à l'Université Keio, Editeur de la *Revue Economique et Financière*.

M. S. TAKASHIMA.

Secrétaire général du Comité national du Japon de la Chambre de Commerce internationale.

M. T. KURAHASHI.

Directeur général de l'Association des industries, Maître de conférences de l'Université Chino.

M. K. INUI.

Maître de conférences de l'Université de Commerce de Tokio, Commissaire chargé de la Section étrangère de l'Association japonaise pour la Société des Nations.

M. Y. HASUMI.

Secrétaire du Ministère de l'Agriculture et des Forêts, Conseiller de l'Union centrale des coopératives du Japon.

M. A. NAGAI.

Secrétaire commercial de l'Ambassade du Japon à Berlin.

M. T. SHIBATA.

Manager of the London Branch of the Sumitomo Bank, Ltd.

Secrétaire général :

M. N. ITO.

Premier Secrétaire d'ambassade.

Secrétaires :

M. S. SATO.

Secrétaire d'ambassade.

M. T. SAKAMOTO.

Secrétaire d'ambassade.

M. S. KADOWAKI.

Attaché d'ambassade.

Latvia

M. Charles DUZMANS.

Délégué permanent auprès de la Société des Nations.

M. Charles BARODIS.

Professeur d'économie politique à l'Université lettone.

- M. Jean JACIŖS.
Ingénieur, Conseiller municipal de Riga.
M. Pierre SIPOCENIERS.
Directeur en chef des Sociétés coopératives agricoles, Membre du Conseil de la Banque de Lettonie.

Luxembourg

- M. Emile MAYRISCH.
Président de la Direction des Acieries réunies de Burbach-Eich-Dudelange.
M. Léon LAVAL.
Ingénieur, Vice-président de la Chambre de Commerce du Grand-Duché de Luxembourg.
M. Pierre DUPONG.
Directeur général du Travail et de la Prévoyance sociale.

Nicaragua

- M. Antoine SOTILE.
Délégué permanent du Nicaragua auprès de la Société des Nations.

Norway

- M. N. RYGG.
Président de la Banque de Norvège.
M. Haakon FIVE.
Ancien Ministre de l'Agriculture, Député au Storting.
M. Gunnar JAHN.
Directeur en chef du Bureau central de statistique de la Norvège.
M. Hjalmar WESSEL.
Industriel, Directeur général de la Société anonyme "Borregard".
M. Wih. WILDMSEN.
Négociant (importateur).
Secrétaire :
M. H. Heiberg LUND.
Secrétaire à la Banque de Norvège.

New Zealand

- Sir George ELLIOT, O. B. E.
Chairman of the Bank of New Zealand.

Professor James HIGHT, M. A., Litt. D.
 Professor of History and Political Science and Dean of the Faculty of Commerce, Canterbury College, University of New Zealand.

Paraguay

M. Venancio B. GALEANO, LL. D., M. A., B. Sc.
 Chargé d'affaires du Paraguay à Londres.

Netherlands

M. H. COLIJN.
 Ancien Président du Conseil des Ministres, ancien Ministre des Finances, Membre de la Première Chambre des Etats-Généraux.
 M. Joan GELDERMAN.
 Industriel, Président de la Chambre de Commerce, à Hengelo.
 Le Docteur H. J. LOVINK.
 Membre de la Seconde Chamber des Etats-Généraux, ancien Directeur général de l'agriculture aux Pays-Bas, ancien Directeur du Département de l'Agriculture, du Commerce et de l'Industrie aux Indes néerlandaises.

M. J. OUDEGEEST.

Secrétaire général de la Fédération syndicale internationale.

Le Docteur A. R. ZIMMERMAN.

Ancien Bourgmestre de la Ville de Rotterdam, ancien Commissaire général de la Société des Nations pour l'Autriche.

Experts :

M. E. DE KRUYER.

Ingénieur, ancien Chef de la Division du commerce du Département de l'Agriculture, du Commerce et de l'Industrie aux Indes néerlandaises.

M. M. P.-L. STEENBERGHE.

Docteur en droit, Industriel, Membre du Conseil de l'Industrie.

Le Docteur A. N. MOLENAAR.

Secrétaire général de la Fédération des employeurs néerlandais, Membre du Conseil de l'Industrie.

M. P.-J.-S. SERRARENS.

Membre du Bureau de la Fédération ouvrière catholique romaine des Pays-Bas, Secrétaire général de la Confédération internationale des Syndicats chrétiens.

M. H. AMELINK.

Secrétaire de la Fédération des Syndicats chrétiens des Pays-Bas.

M. L. MEYERS.

Chef de la Division des douanes au Ministère des Finances.

M. A. TH. LAMPING.

Consul au Ministère des Affaires étrangères.

Secrétaire :

M. VAN WOERDEN.

Attaché au Service consulaire.

Persia

M. AMD.

Ministre plénipotentiaire et Envoyé extraordinaire à Rome.

Le Docteur GHADIMY.

Directeur de l'Office de Perse à la Société des Nations.

M. MOLITOR.

Administrateur général des Douanes.

Expert :

Le docteur KRTABGI Klian.

Poland

M. Hipolit GILWYC.

Ancien Ministre de l'Industrie et du Commerce, Vice-Président du Syndicat des forges polonaises, Administrateur délégué de la Banque du Commerce à Varsovie,

M. Franciszek DOLEZAL.

Sous-secrétaire d'Etat au Ministère du Commerce et de l'Industrie.

M. Herman DIAMAND.

Député.

Son Excellence M. Franciszek SOKAL.

Ministre plénipotentiaire, Délégué permanent à la Société des Nations, ancien Ministre du Travail; et de l'Assistance sociale.

M. Jan STECKI.

Sénateur, Président de l'Union des Producteurs agricoles de Pologne:

Note : Le Gouvernement polonais a fait savoir que, dans le cas où l'un des membres désignés ci-dessus se trouverait empêché d'assister aux séances, il sera remplacé par une des personnes mentionnées ci-dessous, conformément au règlement de la Conférence.

M. Felix MLYNARSKI.

Vice-président de la Banque de Pologne.

M. Edmond TREPKA.

Député, Directeur de l'Union des industries chimiques en Pologne.

M. Julian CYBULSKI.

Directeur de l'Union des industries minière et métallurgique de Haute-Silésie.

M. Zygmunt CHMIELEWSKI.

Directeur de la Caisse centrale des coopératives agricoles.

M. Rawita Christian OSTROWSKI.

Président du Comité permanent du Bois.

Experts :

M. Leon BARINSKI.

Juriconsulte du Ministère des Affaires étrangères.

M. Roger BATTAGLIA.

Membre du Comité consultatif économique, Directeur de l'Association de l'Industrie de la Confection.

M. Esden TEMPSKI.

Président de la Chambre d'Agriculture de Poméranie.

M. Wacław FAJANS.

Ancien Sous-Secrétaire d'Etat au Ministère des Finances.

M. Jozef GIERYSZTOR.

Professeur à l'Ecole polytechnique.

M. Jerzy GOSCIŃSKI.

Député, ancien Ministre de l'Agriculture.

M. Tadeusz GWIAZDOWSKI.

Conseiller de la Délégation Polonaise auprès de la Société des Nations.

M. Etienne KRÓLIKOWSKI.

Chef de division au Ministère de l'Agriculture.

M. Stanisław LANDRÉ.

Directeur du Département du Commerce au Ministère de l'Industrie et du Commerce.

M. Leon LITWINSKI.

Conseiller commercial de la Légation de Pologne à Bruxelles.

Le Comte Leon LUBIŃSKI.

Sénateur, agriculteur.

M. OKOŃSKI.

Professeur à l'Ecole polytechnique, Président de l'Union de l'Industrie mécanique.

M. PONTATOWSKI.

Député, Vice-Maréchal de la Diète.

M. SKOKOWSKI.

Conseiller ministériel au Ministère du Travail et de l'Assistance sociale.

M. WARTAJSKI.

Député.

M. J. ZAGLĘNIOZNY.

Président de l'Union de l'Industrie sucrière.

M. ZWOLIŃSKI.

Chef de division au Ministère de l'Industrie et du Commerce.

Secrétaire général :

M. Stanisław LEPKOWSKI.

Docteur en droit, Conseiller au Ministère des Affaires étrangères.

Secrétaire général adjoint :

M. Antoine ROMAN.

Conseiller au Ministère des Affaires étrangères.

Secrétaires :

M. A. G. BENIS.

Secrétaire de Légation.

M. Paweł MORSTYN.

Secrétaire de Légation.

Secrétaire particulier de M. Gliwie.

M. SZYMANOWSKI.

Portugal

M. Francisco Pinto DA CUNHA LEAL.

Ingénieur, Gouverneur de la Banque d'Angola, ancien Président du Conseil et Ministre des Finances.

M. Francisco Antonio CORREIA.

Directeur de l'Institut supérieur de commerce, ancien Ministre des Affaires étrangères et des Finances.

M. Jorge Botelho MONIZ.

Commerçant, ancien Directeur général des Approvisionnements, ancien Directeur de la Fédération des syndicats agricoles.

Secrétaire :

M. José DE LIMA SANTOS.

Roumanie

M. Eugène NECULCEA.

Ministre plénipotentiaire, ancien Professeur universitaire, ancien Directeur général au

Ministère des Finances, ancien Délégué commun de la Grèce, de la Pologne, de la Roumanie, du Royaume des Serbes, Croates et Slovènes et de la Tchécoslovaquie à la Commission des Réparations, Membre de la Commission économique et financière de la Société des Nations.

M. Barbu CATARGI.

Député, Délégué suppléant de la Roumanie à la Société des Nations.

M. N. MURGASIANU.

Sénateur, ancien Secrétaire général au Ministère des Finances, ancien censeur à la Banque nationale de Roumanie, membre du Conseil d'administration des Chemins de fer roumains.

M. I. GIGURTU.

Ingénieur, Député, Directeur général de la Société minière "Mica".

M. G. STEFANESCU.

Député, Avocat.

Experts :

M. Const. I. KARADJA.

Consul général.

M. Emile MARIAN.

Agronome, Directeur général de la Société roumaine pour la sélection des céréales, Membre de la Commission internationale d'Agriculture de Paris.

M. Grégoire GAFENCU.

Directeur du journal économique et financier *Argus*.

Secrétairé :

M. C. KARADJA.

Consul général.

Salvador

M. Arcadio SANDOVAL.

Secrétaire de la Délégation permanente à la Société des Nations, ancien Consul général du Salvador.

Kingdom of the Serbs, Croats and Slovenes

Le Docteur Slavko SEČEROV.

Député.

Le Docteur Otto FRANKESCH.

Professeur à l'Université de Zagreb.

M. Vlada ITTCH.

Industriel, Vice-Président de la Chambre de l'Industrie à Belgrade.

M. Ivan AVSENEK.
Industriel.

Experts :

- M. Radnilio BOUDREUR.
Inspecteur au Ministère des Finances.
- M. Georges CURÉEN.
Secrétaire général de la Confédération des corporations industrielles.
- Le Docteur Milan LAZAREVITCH.
Inspecteur au Ministère du Commerce et de l'Industrie.
- M. Donchan GEORGEVITCH.
Chef de section au Ministère des Affaires étrangères.
- M. Svetislav MARODITCH.
Secrétaire de la Chambre de commerce de Belgrade.
- M. Valémar LOVNAVITCHÉK.
Docteur en droit, Secrétaire de la Chambre de commerce et de l'Industrie de Zagreb.
- M. Ivan MOHORITCH.
Secrétaire de la Chambre de commerce et de l'Industrie de Ljubljana.
- M. Vojislav BÉSSAROVITCH.
Secrétaire de la Chambre de commerce de Sarajévo.
- M. Milan KREKITCH.
Membre du Secrétariat central des Chambres ouvrières.

M. Bogoslav LAZITCH.

Secrétaire au Ministère des Finances.

Secrétares :

- M. Milivojé B. GAVRILOVITCH.
Secrétaire au Ministère des Affaires étrangères.
- M. Donchan DRASCHIKOVITCH.
Attaché au Ministère des Affaires étrangères.

Siam

- Son Altesse le Prince CHAROON.
Ministre du Siam à Paris.

Sweden

- M. Anders ÖRNE.
Directeur général des Postes, Sénateur, ancien Ministre des Communications.
- M. Oscar RYDBECK.
Directeur en chef de la Banque "Sknadinaviska Kredit-aktiebelaget"
- M. Gustav CASSEL.
Professeur à l'Université libre de Stockholm.

M. V. G. LUNDPYK.

Conseiller commercial, Directeur en chef de la Fédération des industries suédoises.

M. J. O. JOHANSSON.

Trésorier de la Confédération générale du Travail.

Experts :

M. Christian GÜNTHER.

Chef de la Division commerciale au Ministère des Affaires étrangères.

Le Docteur Erik SJÖSTRAND.

Conseiller social, Représentant de la Suède auprès du Bureau international du Travail.

Le Docteur Ernst HÖJER.

Chef de la Statistique agricole de Suède.

Secrétaire :

M. Per WIKMAN.

Secrétaire au Ministère des Affaires étrangères.

Switzerland

M. Walter STUCKI.

Directeur de la Division du commerce au Département fédéral de l'Economie publique, à Berne.

M. Léopold DUVOIS.

Président de la Société de Banque Suisse, à Bâle, membre du Comité financier de la Société des Nations.

Le Docteur Ferdinand PORCHET.

Conseiller d'Etat, Chef du Département de l'Agriculture, de l'Industrie et du Commerce du Canton de Vaud, à Lausanne.

Le Docteur Ernest WETTER.

Vice-Président du Directoire de l'Union suisse du commerce et de l'industrie, à Zurich.

Le Docteur Max WEBER.

Secrétaire de l'Union syndicale suisse, à Berne.

Experts :

M. Joseph SCHERRER.

Conseiller national, Président de l'Union ouvrière chrétienne sociale suisse, à Saint-Gall.

M. Rodolph BAUMANN.

Ancien conseiller national, Directeur de l'Union Helvetia ; Président de la Fédération des sociétés suisses d'employés.

M. CATTANI.

Ingénieur, Secrétaire de la Société suisse des constructeurs de machines, à Zurich.

Le Docteur J. CAGLIANTI.

Président de la Société suisse des entrepreneurs, à Zurich.

Le Docteur O. STEINMANN.

Secrétaire de l'Union centrale des associations patronales suisses, à Zurich.

Secrétaire :

M. H. DE TORRENTÉ.

Secrétaire de la Division du commerce au Département fédéral de l'Economie publique, à Berne.

Czechoslovakia

M. J. DVOŘÁČEK.

Ingénieur, ancien Ministre du Commerce.

Le Docteur F. HODÁČ.

Professeur d'économie politique, Président de la Confédération des organisations patronales tchécoslovaques.

M. Ferdinand KLINDERA.

Ingénieur, Président de "Centralkooperativ" et de l'Union centrale des coopératives agricoles.

M. Rodolphe TAYEBLE.

Député, Secrétaire général de la Confédération des syndicats.

Le Docteur Charles URBAN.

Ancien Ministre du Commerce.

Note : Le Gouvernement tchécoslovaque a fait savoir que, dans le cas où l'un des membres désignés ci-dessus se trouverait empêché d'assister aux séances, il sera remplacé par une des personnes mentionnées ci-dessous, conformément au règlement de la Conférence.

Le Docteur V. IBL.

Conseiller de légation.

Le Docteur Kornel STRODOLÁ.

Sénateur, Président de la Chambre de Commerce, Bratislava.

M. Leopold SAŇKA.

Président de la Confédération des cheminotes socialistes-chrétiens, à Brno.

M. A. TUČNÝ.

Député, ancien Ministre des Travaux publics.

Experts :

Le Docteur A. BASCH.

Chargé des cours d'économie politique à l'Université de Prague et Directeur du Bureau d'études de la Banque nationale tchécoslovaque.

Le Docteur Zdenko FAFL.

Secrétaire de la Chambre du commerce et de l'industrie, à Prague.

Le Docteur B. HANSEK.
 Conseiller au Ministère tchécoslovaque de l'Agriculture.
 Le Docteur Cyril HORÁČEK.
 Chargé des cours d'économie politique à l'Université de Prague et sous-secrétaire au
 Ministère tchécoslovaque du commerce.
 Le Docteur J. KISLINGER.
 Membre du Conseil d'administration de la Fédération des industriels allemands en
 Tchécoslovaquie.
 Le Docteur François LENFELD.
 Secrétaire de la délégation permanente des Conseil d'agriculture à Prague.
 Le Docteur A. MAYER.
 Propriétaire à Víklantice.
 M. J. MAYER.
 Député.
 M. Adolf POHL.
 Député, Secrétaire de la Confédération des mineurs, à Teplice-Trnovany.
 M. Charles MĚCÍŘ.
 Ministre plénipotentiaire, Secrétaire général du Bureau international agraire.

Le Docteur L. RADIMSKÝ.
 Attaché au Ministère des Affaires étrangères.
 Le Docteur Joseph VANĚK.
 Secrétaire de la Fédération des industriels tchécoslovaques.
 Le Docteur Joseph WALTER.
 Secrétaire de la Chambre de commerce, à Liberec.
 Le Docteur Ernest ZUCKER.
 Industriel, Vice-Président de l'Association de l'industrie textile tchécoslovaque.
Secrétaire général :
 Le Docteur V. IBL.
 Conseiller de légation.

Turkey

Son Excellence HASSAN Bey.
 Député de Trébizonde, Vice-président de la grande Assemblée nationale, ancien Ministre des
 Finances.
 Son Excellence DJELAL Bey.
 Député de Smyrne, ancien Ministre de l'Economie publique, Directeur général de l'"Tch-
 bankassi".

Son Excellence Moustafa CHÉREF Bey.

Ancien Ministre d'Etat, Député de Bourdour.

Experts :

Rechid SAFVET Bey.

Ancien Conseiller d'Etat, Rédacteur en chef de l'*Economiste d'Orient*.

HAKKI Bey.

Inspecteur en chef des Douanes turques à Constantinople.

Ishak AVNI Bey.

Conseiller.

Secrétaire :

Faïk HUSSEIN Bey.

Deuxième secrétaire de la Section consulaire du Département des Affaires étrangères.

Union of Socialist Soviet Republics

M. Valerien OBOLENSKI-OSSINSKI.

Chef de l'Administration centrale statistique de l'U. R. S. S., membre du Conseil des Commissaires du Peuple de l'U.R.S.S.

M. Grégoire SOKOLNIKOFF.

Président adjoint de la Commission des plans et des projets de l'Etat de l'U.R.S.S.

M. Léon KHINCHUK.

Président de la Délégation Commerciale de l'U.R.S.S. à Londres.

M. Jean LEPSÉ.

Président du Syndicat professionnel des ouvriers en métaux.

Experts :

M. Boris BORILINE.

Docent d'Economie politique à l'Institut d'Economie nationale à Moscou.

M. Vladimir GROMAN.

Membre du présidium de la Commission des plans et des projets de l'Etat de l'U.R.S.S.

M. Michel KAUFMANN.

Directeur de l'Administration des traités et du droit au Commissariat du Peuple pour le Commerce extérieur et intérieur.

M. Eugène VARGA.

Membre du Conseil de la Représentation commerciale de l'U.R.S.S. à Berlin.

Le professeur N. N. LIOUBIMOFF.

M. A. A. KISSIN.

M. Léon EVENTOFF.

Professeur, Directeur de la Commission des plans et des projets d'Etat de l'U.R.S.S.

Secrétaire général :

M. Boris STEIN.

Directeur du Département de l'Europe centrale au Commissariat du Peuple pour les Affaires étrangères.

Secrétaire général adjoint :

M. Vladimir SCHAPIRO-SOOLINE.

Chef adjoint du Service du Protocole au Commissariat du Peuple pour les Affaires étrangères.

Secrétaire particulier de M. Obolenski-Ossinski :

M. Antoine SCHUSTER.

Secrétaire d'Ambassade.

Secrétaire particulier de M. Khrushchuk :

M. I. S. SWAYTCH.

Bachelier ès sciences économiques.

Personnel technique :

M. Alexandre DYORINE.

Secrétaire-expert du Président du Conseil des Commissaires du Peuple.

Mme Anastasie BAÏROULÉVITCH.

Mme Xénie BOISCHAKOFF.

M. Julien ROSENBLATT.

Correspondant spécial de l'Agence télégraphique de l'U.R.S.S. (TASS).

Uruguay

M. Julio Maria Sosa.

Membre du Conseil national d'administration, ancien Président du Conseil national d'administration, ancien Sénateur, ancien Député.

M. Antonio BACHINI.

Ancien Ministre des Affaires étrangères, ancien Député, Envoyé extraordinaire et Ministre plénipotentiaire à Berlin.

Son Excellence M. Enrique BUERO.

Ministre de l'Uruguay à Berne, ancien Sous-secrétaire d'Etat aux Finances, ancien Député.

M. Pedro Cosío.

Docteur ès sciences politiques, Directeur de la Banque populaire, ancien Ministre des Finances, ancien Ministre de l'Uruguay en Grande-Bretagne, ancien Député, ancien Inspecteur général des Douanes.

M. Hipolite GALLINAI.

Ancien Sénateur.

Venezuela

Son Excellence le Docteur C. PARRA-PEREZ.

Ancien Plénipotentiaire spécial près le Conseil fédéral suisse, Chargé d'affaires à Berne.

M. Manuel TIBERIO ARREAZA.

Docteur en droit, Professeur à l'Université de Caracas.

MEMBERS APPOINTED BY THE COUNCIL ON MARCH 9th 1927.

M. Arthur FONTAINE.

Président du Conseil d'administration du Bureau international du Travail.

M. G. DE MICHELIS.

Président de l'Institut international d'Agriculture, Rome.

Experts :

M. Louis DOP.

Vice-Président de l'Institut international d'Agriculture.

Le Docteur Giorgio CAPONE.

Rédacteur principal à l'Institut international d'Agriculture.

M. Ivan GRINÉSCO.

Docteur ès sciences agronomiques, Rédacteur principal à l'Institut international d'Agriculture.

M. Carlo DRAGONI.

Secrétaire général de l'Institut international d'Agriculture.

Mr. Henry John MAY, O.B.E. J.P.

Secrétaire général de l'Alliance coopérative internationale.

Mme E. C. VAN DORP.

Docteur en droit, Secrétaire du Comité national hollandais de coopération intellectuelle.

Le Docteur Marie-Elisabeth LÜDERS.

Membre du Reichstag, membre du Comité exécutif du "Normenausschuss der Deutschen Industrie", membre du "Reichskuratorium für Wirtschaftlichkeit".

Mrs. Barbara WOOTTON, M.A., J.P.

Principal of Morley College for Working Men and Women, Member of Central Executive Committee, Workers' Educational Association.

International Chamber of Commerce (Paris)

M. Etienne CLÉMENTEL.

Président-fondateur de la Chambre de commerce internationale, ancien Ministre des Finances, Sénateur.

Suppléant :

M. R. P. DUCHEMIN.

Industriel, Président de la Confédération générale de la production française, Président de l'Union des industries chimiques.

Mr. ROLAND W. BOYDEN.

Former unofficial American Observer on the Reparations Commission, Member of the firm of Ropes, Gray, Boyden & Perkins.

Le Docteur KARL KOTZENBERG.

Membre du Conseil économique du Reich, Membre du Präsidium du "Zentralverband des Deutschen Großhandels", Président du Conseil de l'Aviation allemande, Vice-président de la Chambre de commerce et d'industrie de Francfort, Membre du Conseil économique du Reich.

M. Gino OLIVETTI.

Député, Secrétaire général de la Confédération fasciste de l'industrie italienne.

The Rt. Hon. Walter RUNCMAN, M.P.

Member of the Privy Council, Former President of the Board of Trade, Director of the Westminster Bank Ltd., Chairman of the United Kingdom Temperance and General Provident Institution.

Experts :

M. Edouard DOLLÉANS.

Secrétaire général de la Chambre de Commerce internationale, Président du Comité de coordination des travaux de la Commission des entraves au commerce.

M. Arthur R. JELF.

Membre du Comité de coordination des travaux de la Commission des entraves au commerce.

M. Léon LAVAL.

Ingénieur, Vice-Président de la Chambre de Commerce.

M. Alexandre DE LAVERGNE.

Maître des requêtes honoraires du Conseil d'Etat, Délégué général de la Conférence générale de la Production française.

M. Basil MILES.

Commissaire administratif américain près la Chambre de Commerce internationale.

M. Jean PROIX.

Premier Secrétaire adjoint de la Chambre de Commerce internationale.

Dr. Gerhard RIEDENBERG.

Commissaire administratif allemand près la Chambre de Commerce internationale.

Le Docteur STEGERT.

Syndic.

Secrétaire général;

M. Pierre VASSEUR.

Secrétaire adjoint de la Chambre de Commerce internationale.

EXPERTS INVITED BY THE PRESIDENT OF THE CONFERENCE.

(Resolution adopted by the Council on March 9th, 1927.)

Sir Hubert Llewellyn SMITH, G.C.B.

Membre du Comité économique de la Société des Nations.

Marquis L. DE VOÛTÉ.

Président de la Commission internationale d'agriculture de Paris.

M. Jules BRUNET.

Président du Bureau international pour la publication des tarifs douaniers, membre du

Comité économique de la Société des Nations.

M. Francisco MAURO.

Président du Conseil de direction de l'Institut international d'organisation scientifique du travail.

Mr. Edward E. HUNT.

Membre du Comité international d'Organisation scientifique du travail.

Dr. E. C. SNOW.

Secretary-General of the International Council of Tanners.

Mr. PASCALL.

President of the Rotary International.

Mr. Geoffrey MANDER.

Member of the Rotary International.

M. J. RÉVEILLAUD.

Président de la Commission de répartition des dépenses de la Société des Nations.

M. George SCHMIDT.

Membre de Reichstag, Secrétaire de la Fédération allemande des Travailleurs agricoles,

Secrétaire de la Fédération internationale des Travailleurs agricoles.

The following persons were present as observers :

M. Carlos SERRANO (*Mexique*).

Attaché commercial à la Légation du Mexique à Paris.

M. Enrique NARVAEZ (*Mexique*).

Attaché commercial à la Légation du Mexique à Madrid.

M. Alfredo MARTINEZ BAEZ (*Mexique*).

Attaché commercial à la Légation du Mexique à Londres.

M. Julio POULAR. (*Mexique*).

Attaché commercial à la Légation du Mexique à Vienne.

M. Salvadrez PRIETO (*Mexique*).

Attaché commercial à la Légation du Mexique à Rome.

M. F. PHILLIPS S. (*Mexique*).

Attaché commercial à la Légation du Mexique à Buenos-Ayres.

M. Jules LECOCQ.

Secrétaire général de l'Organisation internationale des employeurs industriels.

M. Aloys HENTSCH.

Economiste, rapporteur du Sous-Comité économique de l'Union internationale des Associations pour la Société des Nations.

M. Francis DELAISI.

Economiste, membre du Sous-Comité économique de l'Union internationale des Associations pour la Société des Nations.